

旗

当

番

の

女

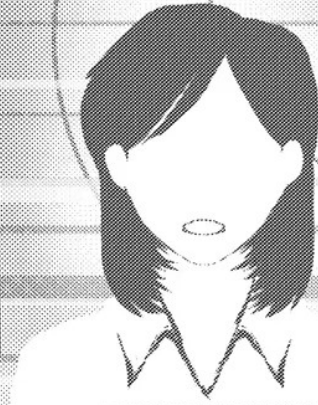
4



●●株式会社が
希望退職者を募り
従業員数を現在の半数に
削減する意向であると――

世界的な不景気は
一般家庭に
ジワジワとその波を
届かせています

veryday
NEWS



本日のニュース

海斗に港一くんとの
関係がバレてから
約2年の月日が流れた――

この春、
港一くんは高校3年生に。
海斗は高1、千波は中2。
私は間もなく40歳となる。

世の中は大きく移り変わり
景気の肌寒さを感じていたが
そんな中でも、
私と港一くんの関係は
変わらずに続いていた

2年続いた関係というと
壮絶なものにイメージする
かもしれないが、案外そんな
ことはなかった。

中学卒業、そして高校入学からの
高校生活……と人生の節目となる
タイミングが重なり
彼自身が多忙になったのもある。

そして海斗もこのことを
知り合いはおろか
家族にすら漏らさなかった。
流石に最初はギクシヤクした。
だが、時の流れは残酷にも
緩やかにキズを癒しはじめ、
今では多少のギクシヤクは
あるものの、
できる限り平静を
装ってくれている。



海斗のその対応を受け、被害が拡大しないという安心を覚えると共に、家族への罪悪感、そして「慣れ」すら感じていた港一との行為に対して改めて後ろめたさを実感することができた

そして…その全ての問題の元凶である港一との行為もこの2年で少し様態が変わってきている。

齋藤先生の奥さん！

あ…えと…
たしか…

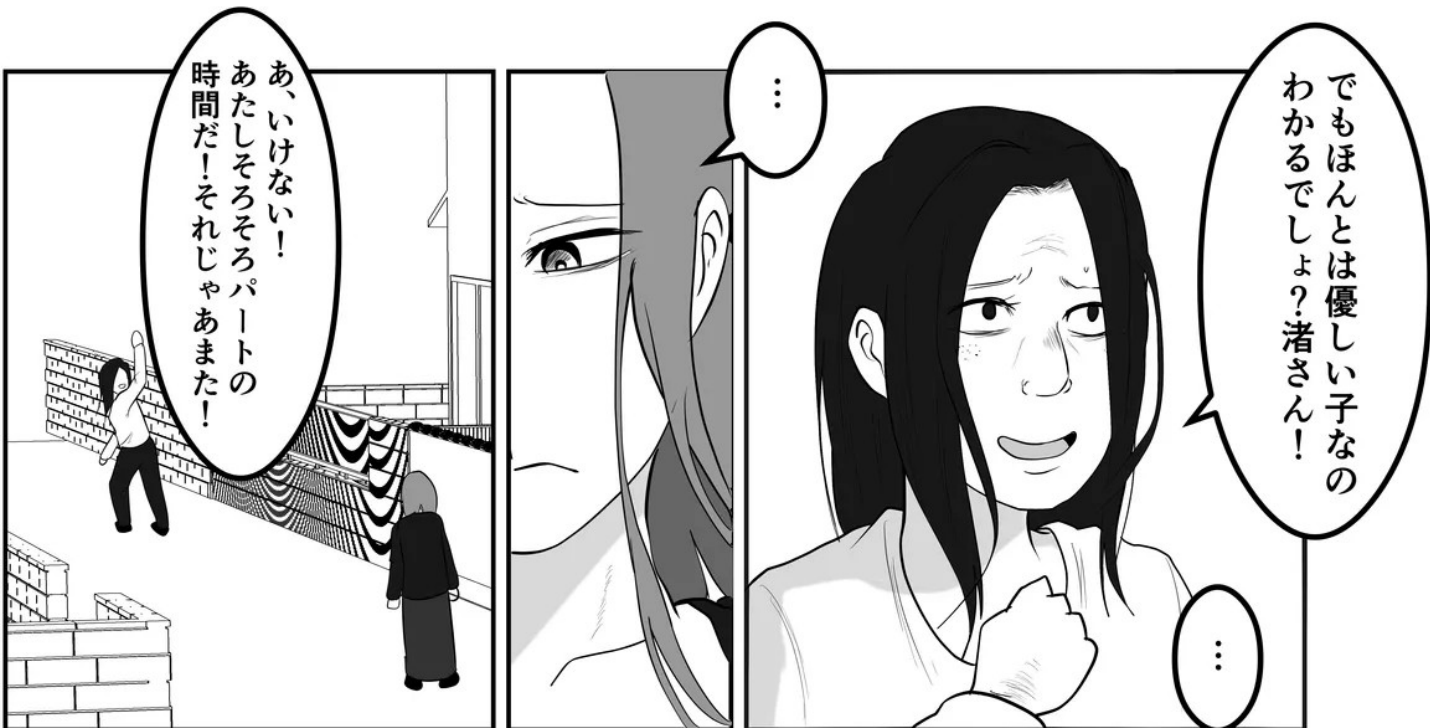
田中港一の母ですよ〜！

港一から聞いたわよ！最近齋藤先生のお子さんと仲良く帰りはお家でお世話になってるって！

…あいつ

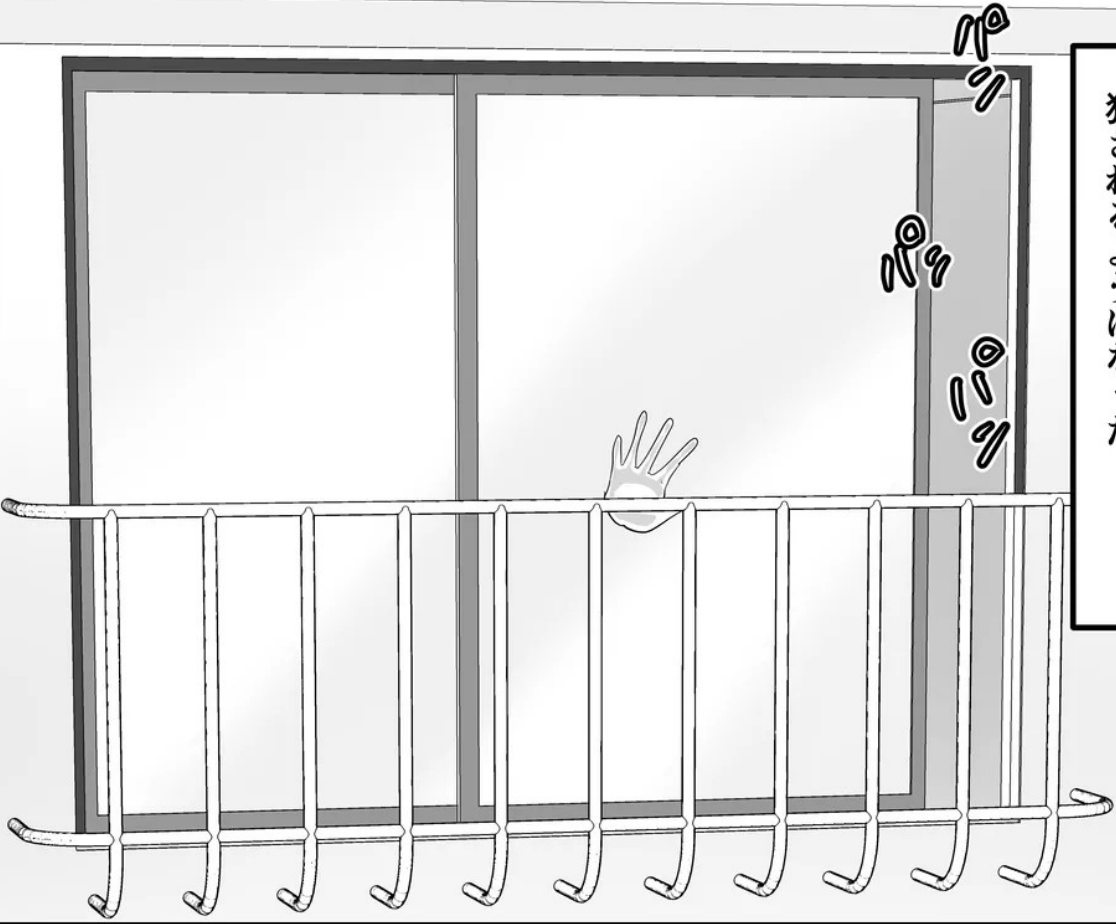
あの友達なんてできたことなかったからあたし嬉しくて…

は、はあ…



中学での体育祭以来、
屋外での行為はしていないが、
その代わりに彼の自宅で
時間の許す限り
犯されるようになった。

彼は、本当に
色々なことをしてきた



ちまっ...
窓閉め...

それこそ
夫とはしたことが
ないようなことも
たくさん経験させられた

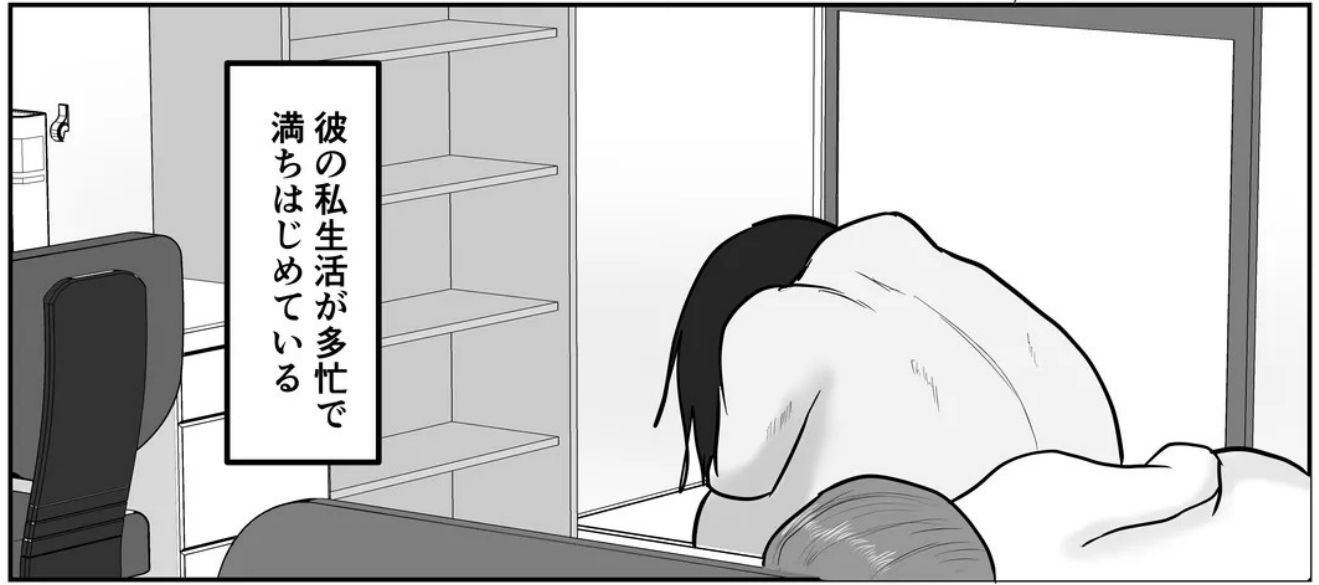


高校に入って彼は変わった。

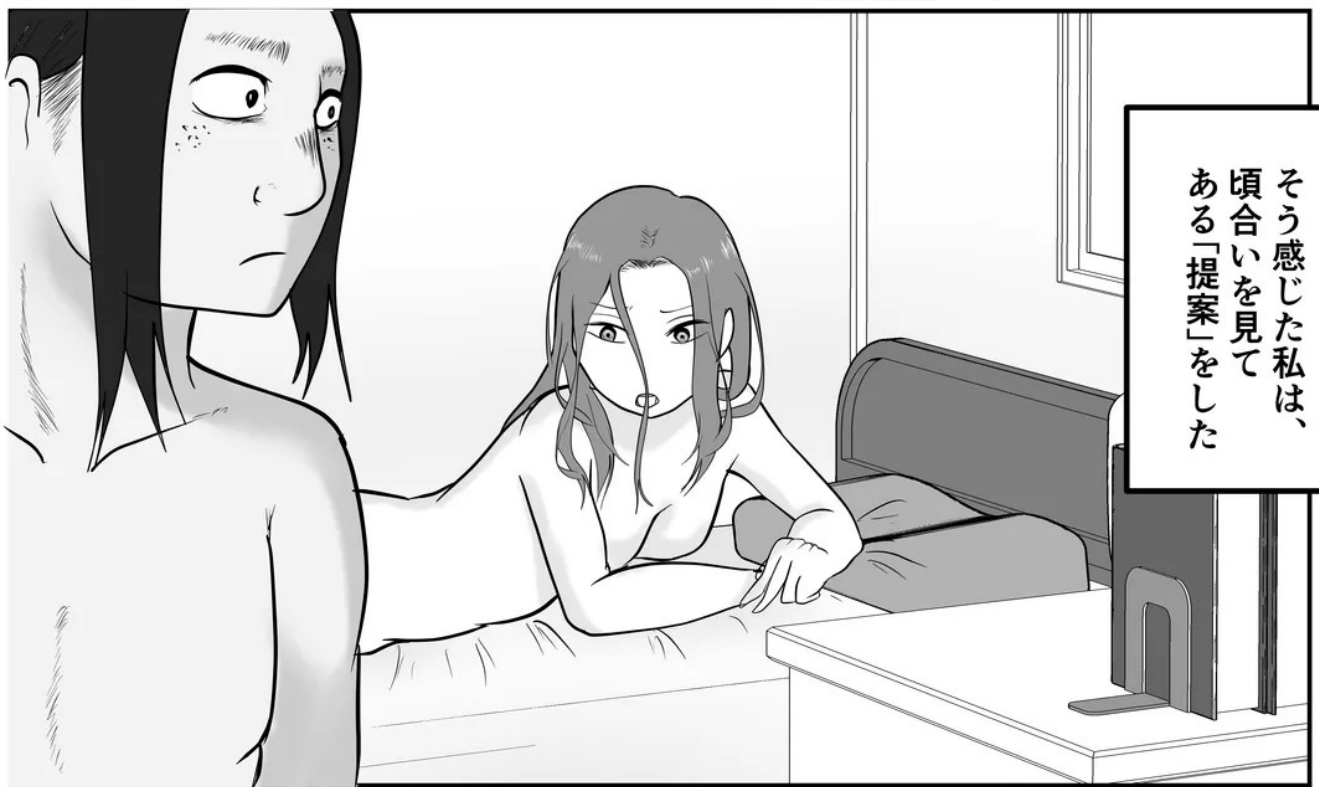


みるみるうちに
社交性を身に着けていき
見た目もどことなく
清潔感がでた。

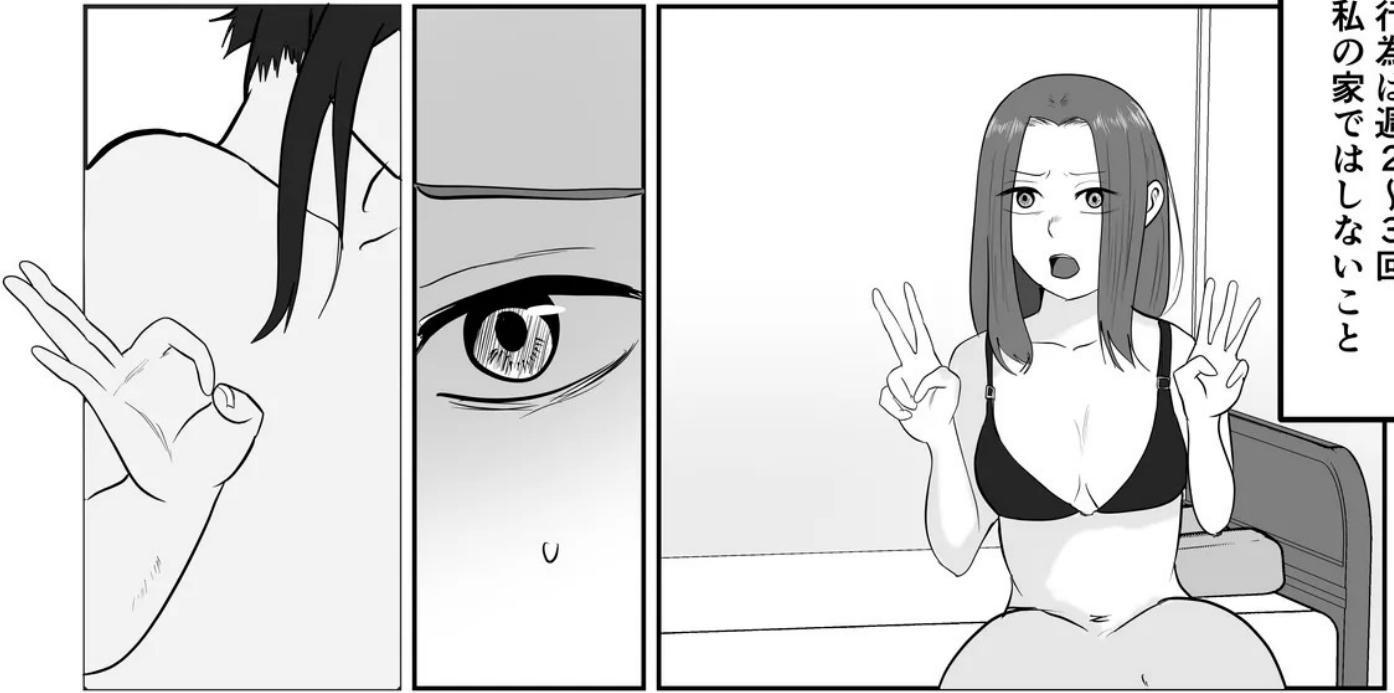
彼の私生活が多忙で
満ち始めている



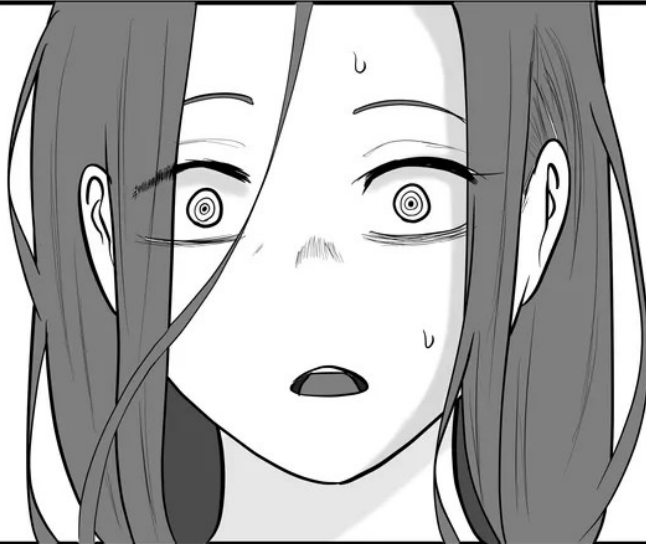
そう感じた私は、
頃合いを見て
ある「提案」をした



行為は週2〜3回
私の家ではしないこと

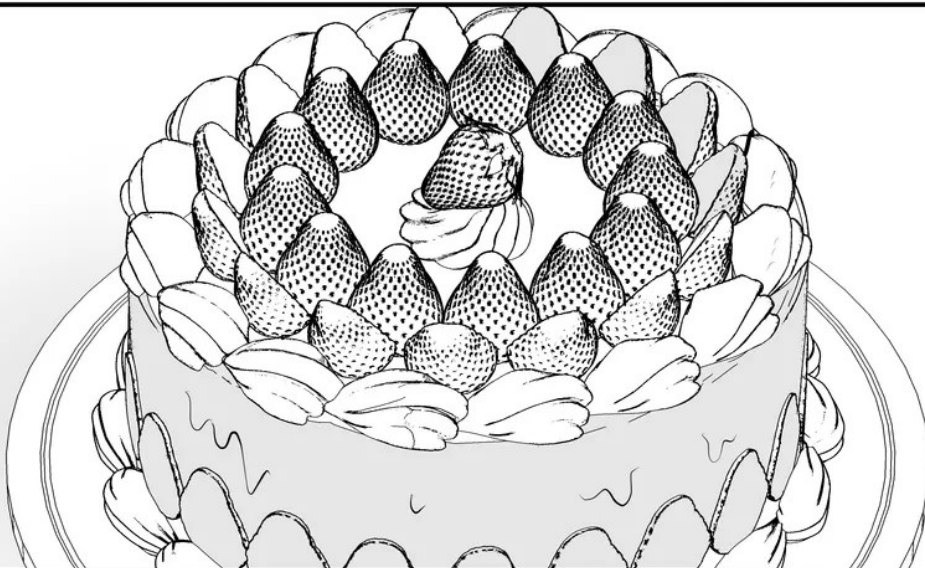


彼はその条件を
すんなりと受け入れた。



多少は反発される
と思っていたので
正直拍子抜けした。

彼の私に対する接し方は
まるで恋人のようで



とにかく優しかった

渚さん！
40歳の誕生日、
おめでとう〜！

お祝いに40回
イかせてあげるね

…あんたね、私もう
40のおばさんなのよ
少しは労わりなさいよ

渚さん40にはとても見えないよ
体力もあるし、腰の動きなんか
キレキレだしw

こうして誕生日もイベント事も祝うし、
デート紛いの行動だけで終わる日も増えた。

そんな日常に

一瞬このままでもいいかもしれない
とすら思ってしまうほどに…

うはっ
さっき38回目
いったばっかなのに
連続で39回目キタッ

最後はッ
最後は一緒にイコッ!?
あくイクイクイクッ

あ
あめ
ッ



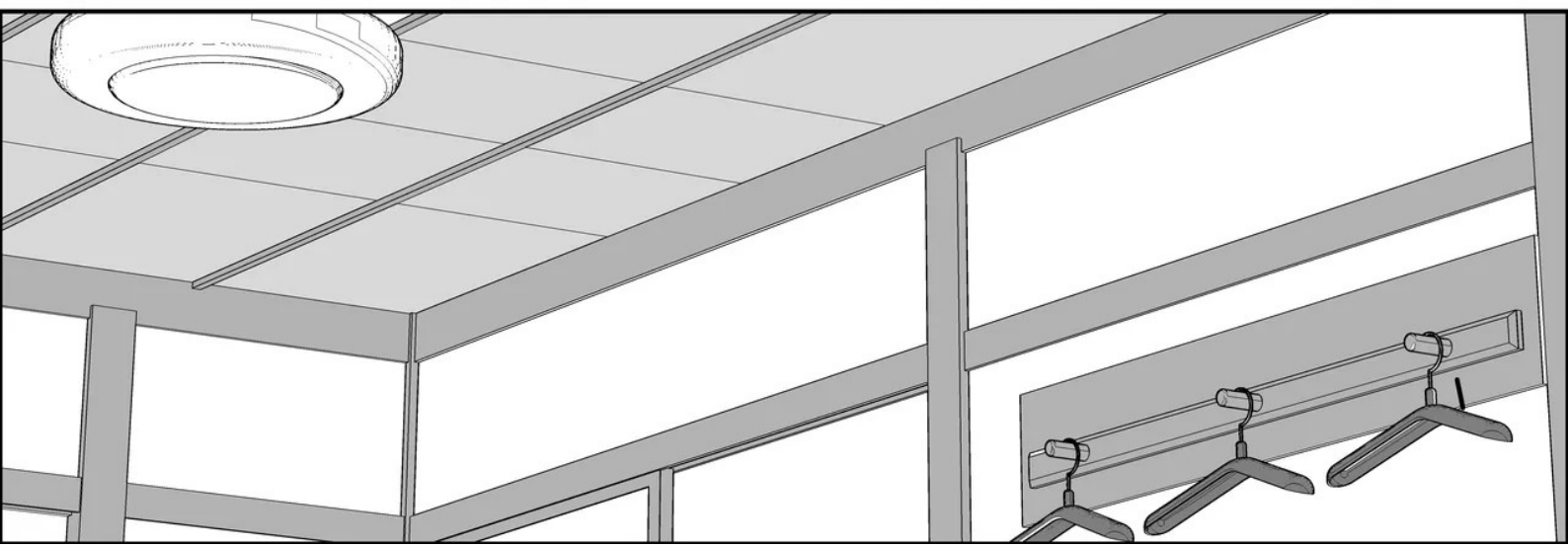
んあゝ

あゝ

40
ッ

渚ッ

誕生日おめでと〜ッ



なご なご

今日みたいな日は生でも
やらせてくれるし♡

渚も最近は従順に
なつてくれて嬉しいよ。
まるで恋人みたいだ。

じゅぽー
じゅぽー
じゅぽー

でも

でも…大丈夫

なにが恋人だ。
…大丈夫よ…
ちゃんと、残ってる。
…憎い。
私たちの幸せを壊した
こいつを、
今でもちゃんと憎んでる

じゅぽー
じゅぽー

齋藤海斗 卒業式

あーおーげーばー

とーおー

とーしー

あれ、海斗の母さん
どこいった？

…！

わか

…

知らねえよ

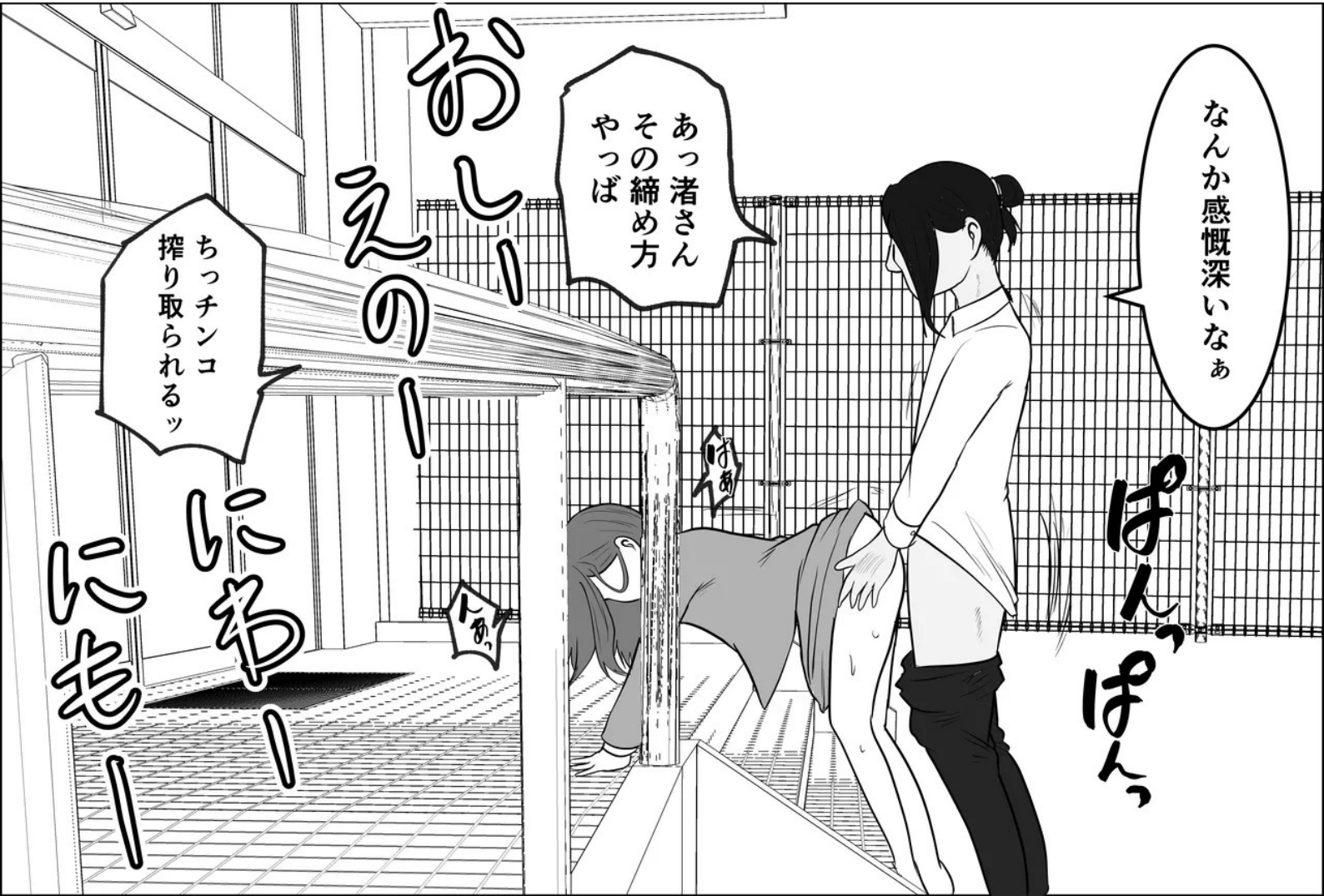
綺麗でいいよなあ
俺熟女好きなんかな？
渚さんに惚れかけてるわ

…

うるせえな
卒業式でする
話かよそれ…

おーん

あー…
海斗君卒業で
この学校ともこれで
ほんとにお別れか！



なんか感慨深いなあ

あつ渚さん
その締め方
やっぱ

おしー
えのー

ちっチンコ
搾り取られるッ

ぽん、
ぽん、

にゅー
にゅー



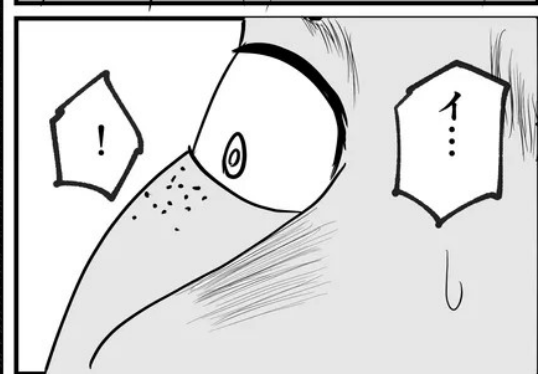
!!

ええ、ええ
折り返し遅れて申し訳ございません。
いまちようど息子の卒業式でして…



あつあつ
渚さんイキそ…

ちゃんと
外に出すの
…よ…



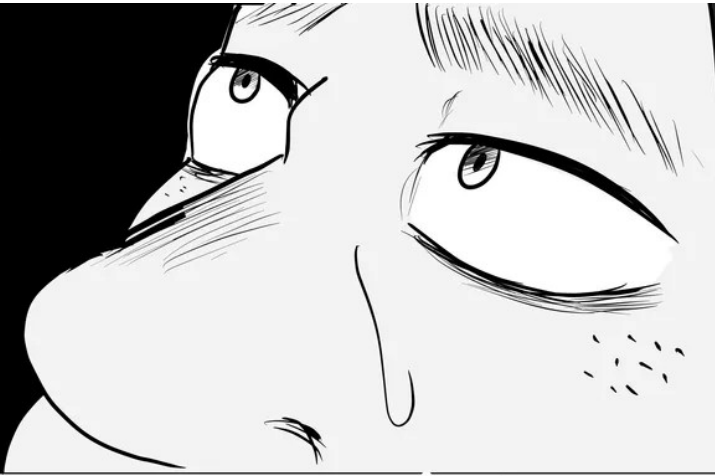
！

！

う…や…やべ…
まさか人來るとは…
これ…耐えられね…

でも…

いま抜いたら…
確実にバレ…



え!?

な、渚さん!?

やばいっ
やばいっ

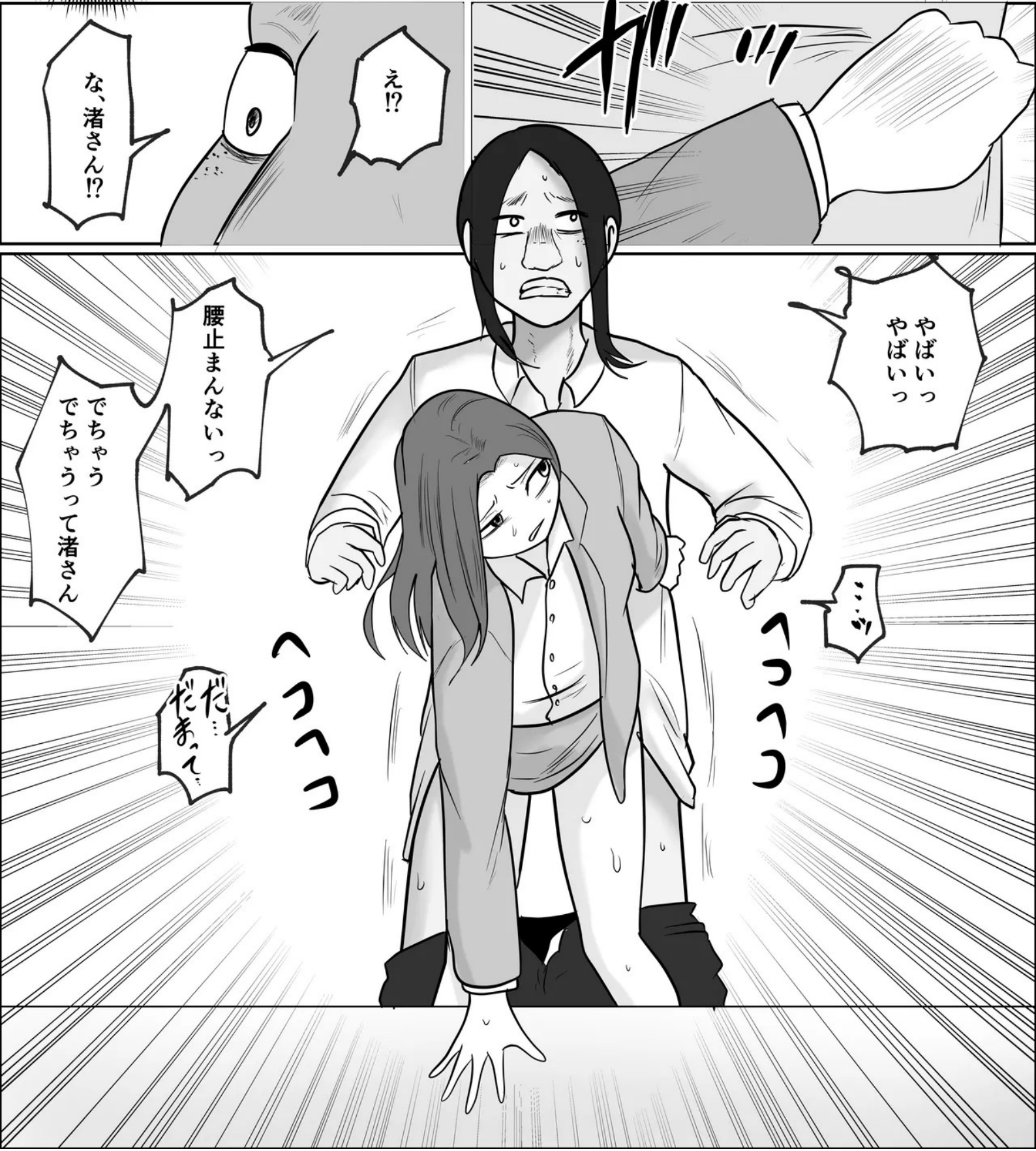
腰止まんないっ

でちゃう
でちゃうって渚さん

だ…だ…
だ…だ…

くくくく

くくくく





ア
ッ
ッ
ッ

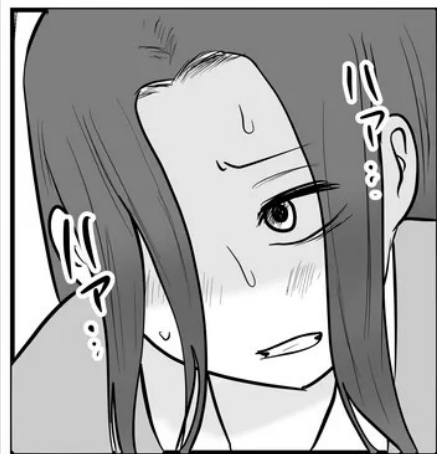
ア
ッ
ッ
ッ

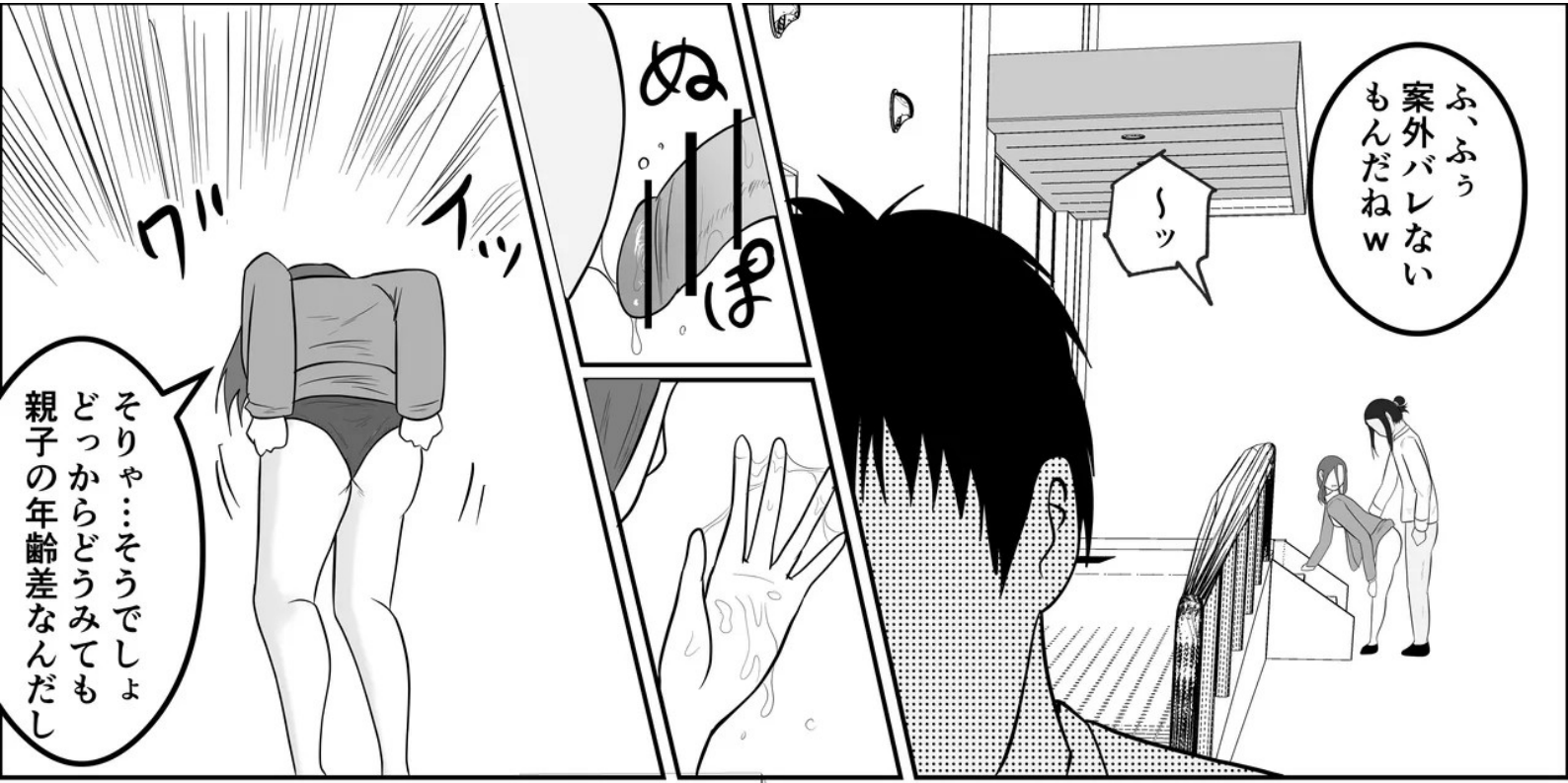
ア
ッ
ッ
ッ

ア
ッ
ッ
ッ

ア
ッ
ッ
ッ

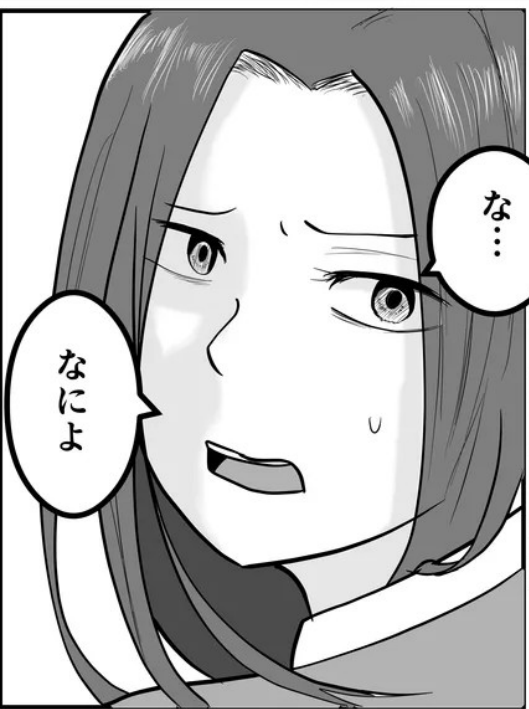
ア
ッ
ッ
ッ





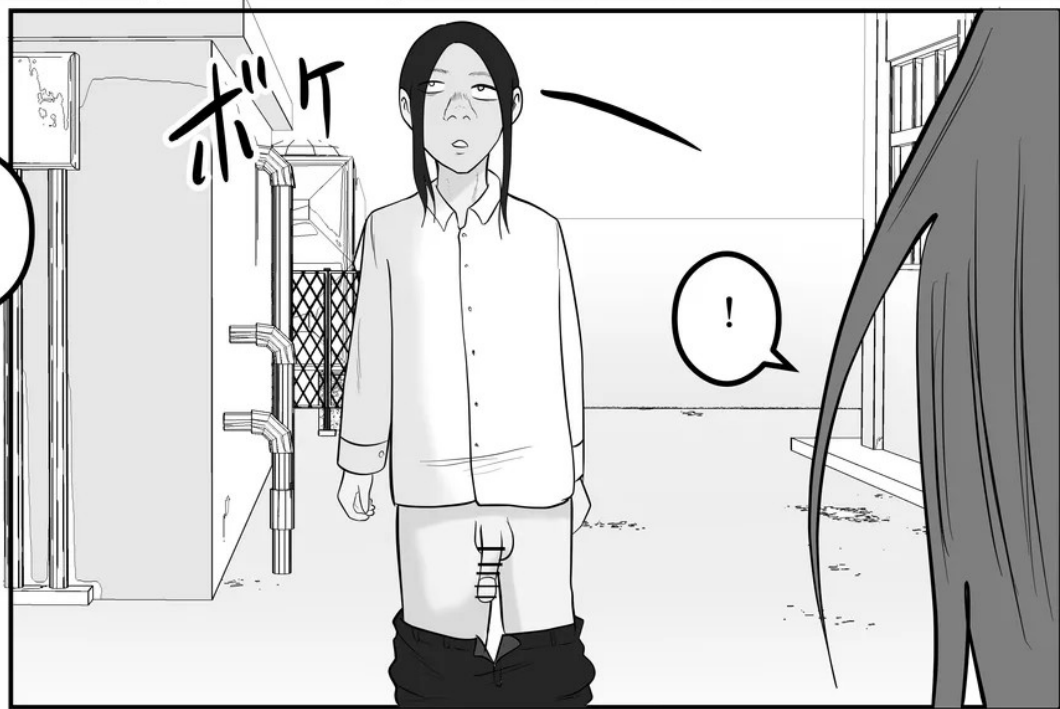
そりゃ…そうでしょ
どっからどうみても
親子の年齢差なんだし

ふ、ふう
案外バレない
もんだねw



なによ

な…



渚と学校…
もうこの組み合わせが
見れないのは残念だね



あ！でも
まだ千波ちゃんが
いるから

あんた千波の
催事にまできたら
ほんとぶっ飛ばすわよ

冗談冗談！
こうやって卒業した学校で
できるのも全部海斗君の
補助のおかげだし！
流石にもう来ないよw

じゃあまたね〜

あ〜もう
やっと解放された

こんなんじゃない、
海斗の卒業式に来たのか
港一くんとシにきたのか
わかんないわッ

さっき終礼のチャイムが
なったけど…
海斗、まだ学校に
いるかしらッ

保護者向け掲示板

たんぽぽ通信

教職課程希望者へ

君も先生に

君も先生に
なりたい！
君も先生に
なりたい！
君も先生に
なりたい！
君も先生に
なりたい！
君も先生に
なりたい！

教職課

渚と学校…
もうこの組み合わせが
見れないのは残念だね

海斗先輩！
ボタンください！

あ、ああ

ギョッ

かいとおお

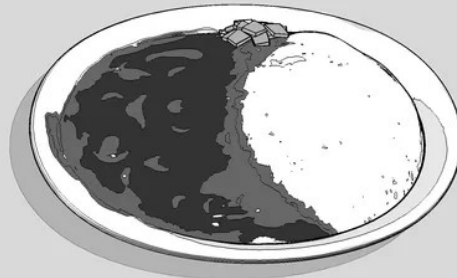
うぐええ！！

なあ！
俺たち！
卒業してもずっと友達
だからな！

どうせ、どっかで
あいつとやってんだろ
…母さん。

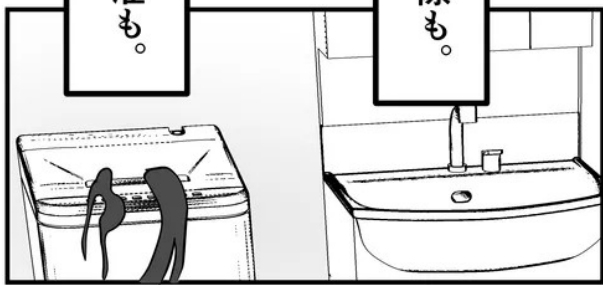
……

最近、母さんの作る飯が
適當になってきた気がする。



掃除も。

洗濯も。



なんか…



料理

適當に
なってきたね



えっそっそう？
おっかしいわね…



なあ？千波？

…ん
千波もバカだから
わかんない



そんなことねえぞ
渚の飯は世界一！

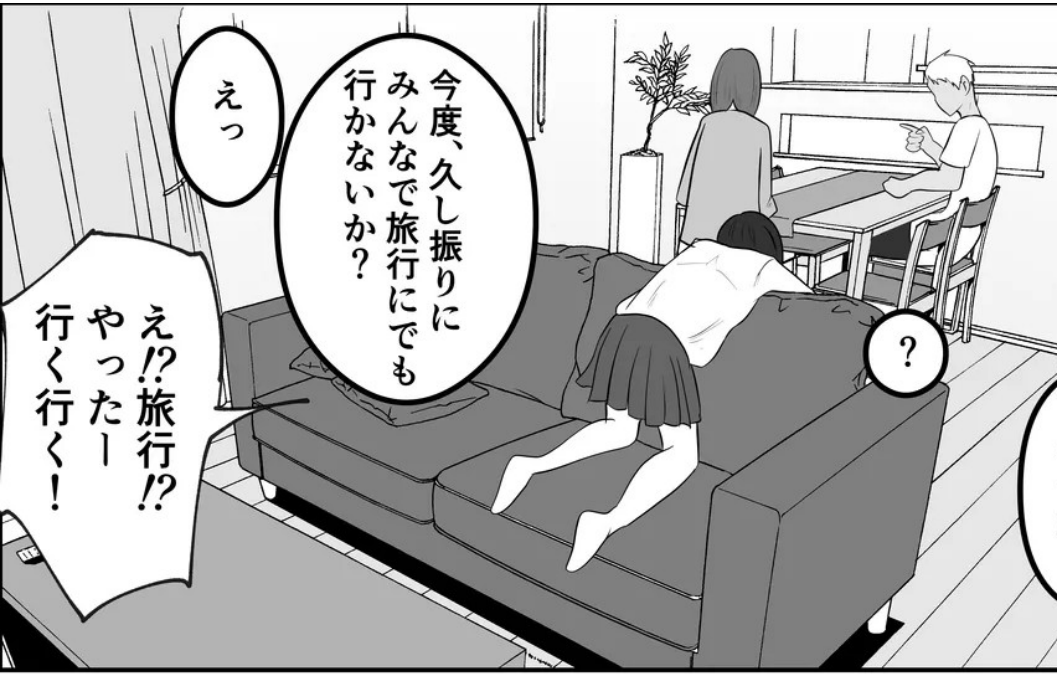
親父はバカだから
わかんねんだろ

ちっ
嫌味かよ…

…反抗期かなw

え、そ、
そうね…





え!? 旅行!?
やったー
行く行く!

えっ

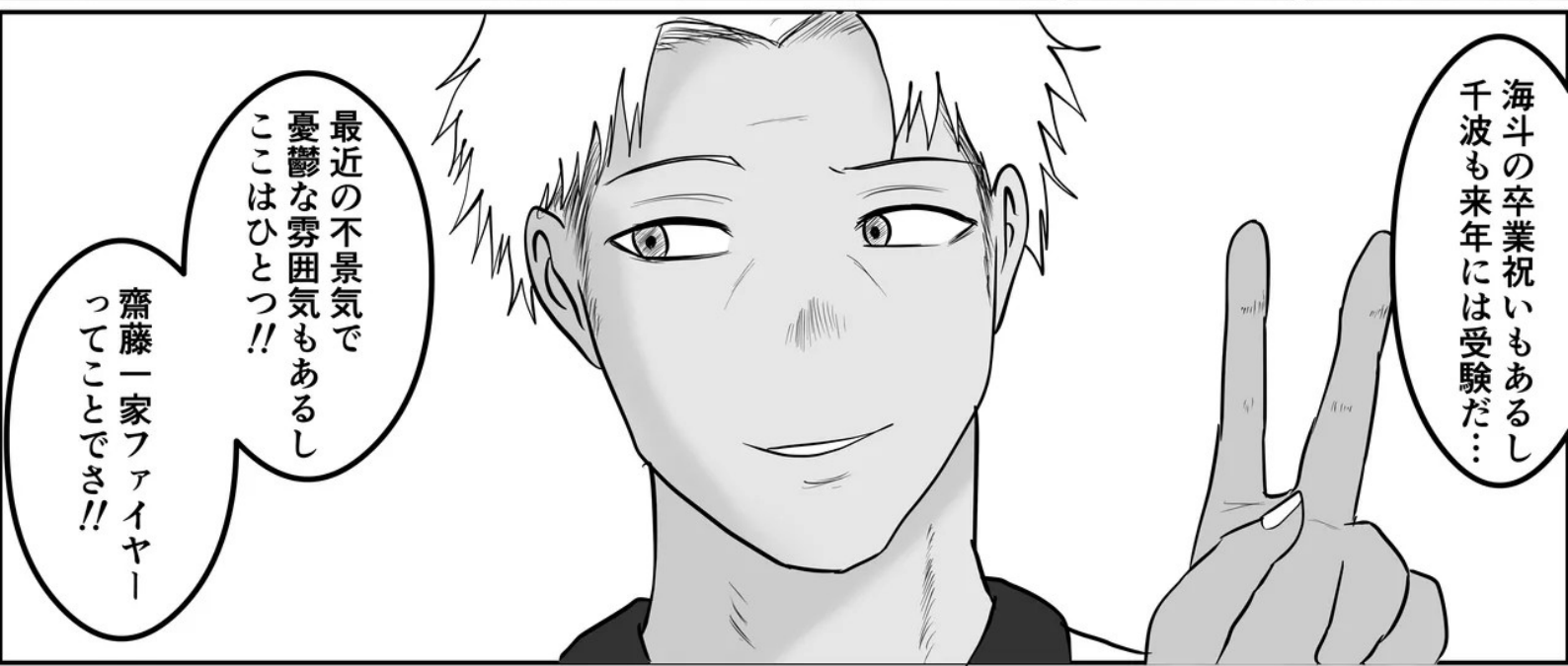
今度、久し振りに
みんなで旅行にでも
行かないか?

?

…そうだ!



……



海斗の卒業祝いもあるし
千波も来年には受験だ…

最近の不景気で
憂鬱な雰囲気もあるし
ここはひとつ!!

齋藤一家ファイヤー
ってことでき!!



てく てく



じゃあ旅行先と日程は
今後家族会議で決めよう

ちーなーみ!
今日はもう遅いんだから
早く寝なさい!

……



えーやったー
どこいくどこいく!?
U●J!? T●L!?



ふんふん

齋藤千波

海斗が父方の血を濃く
継いでいたとするなら
彼女は母の血を濃く
継いでいた……



性格こそ
母ほど快活ではないが

人の喜怒哀楽

心の機微

環境の変化

人間関係

まだ幼く、
言語化できないまでも
そういつたものを
肌で感じる能力
に長けていた

そんな彼女が
最近感じていた……

母と兄の異変

二人の間で共通の何かがあったか
二人それぞれに別の何かがあったか

おそらくは前者で
あるという直感

そしてそれは
自分含む家族にも
言えないような秘密



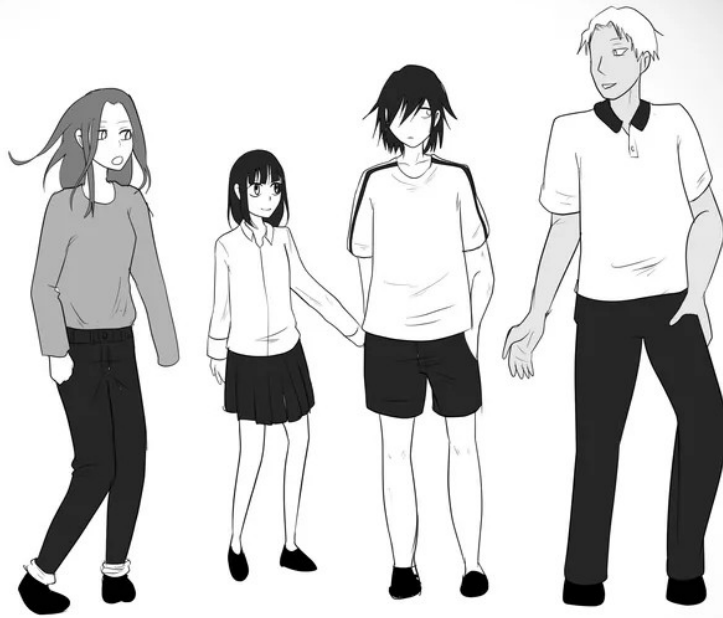
千波は意図的に意識を避けてはいたが、

海斗の異変を感じ始めたのと同時期に彼の性癖が変化したのも彼女は看破していた

「おそらく二人だけの秘密」「渚の異変」「海斗の性癖」…
臆気ながら、彼女はその秘密の輪郭を捉え始めていた…

つまり、母と兄の「性的な関係」

しかし、自分達は「家族」だ
そんなことはありえない
という…



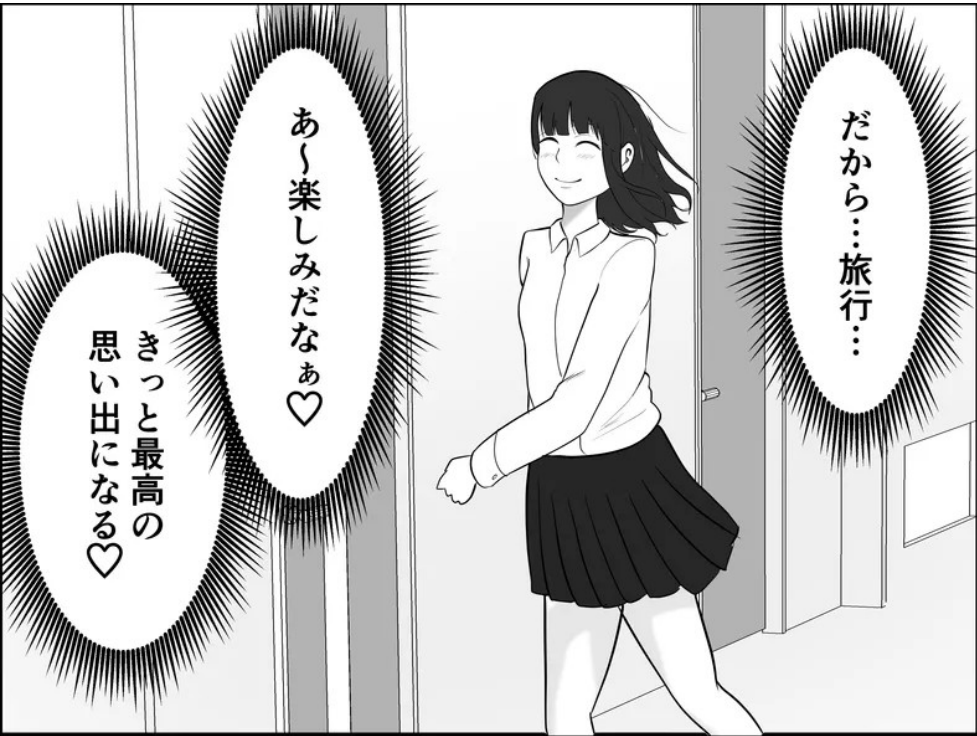
動物的な倫理観が彼女をその答えへ導くのを阻害していた

そもそも本人にも自覚ができないレベルに臆気で直感的な感情の源泉…

しかし…
論理的思考と

感情的思考の狭間で

彼女の心中は不安定になっていた



だから…旅行…

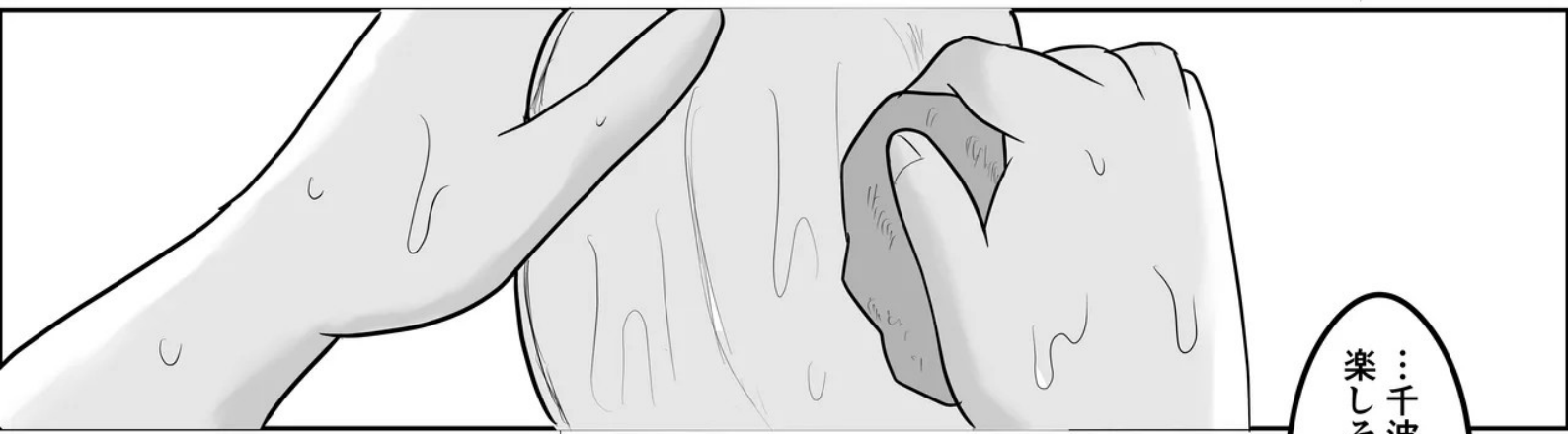
あゝ楽しみだなあ♡

きっと最高の
思い出になる♡



最近、
よくわかんないけど

なんか家族が
見えない何かで
ギクシヤクしてるような
「気」がしてた…



…千波、久しぶりに
楽しそうだったな



ようし!

明日から仕事
頑張るぞ!!



でも大丈夫なの?
いまだこ行くにも
結構かかるわよ笑



!…ええ
確かにそうね



うっ…
か、家族の為だ
頑張るさ!

…

仕事…

そ、そうだと
仕事で思い出した

あなた、私そろそろ
仕事し始めようかなって
思ってるんだけど…

え、なんで？
旅行が高いとはいえ…
流石に金は足りてるだろう？

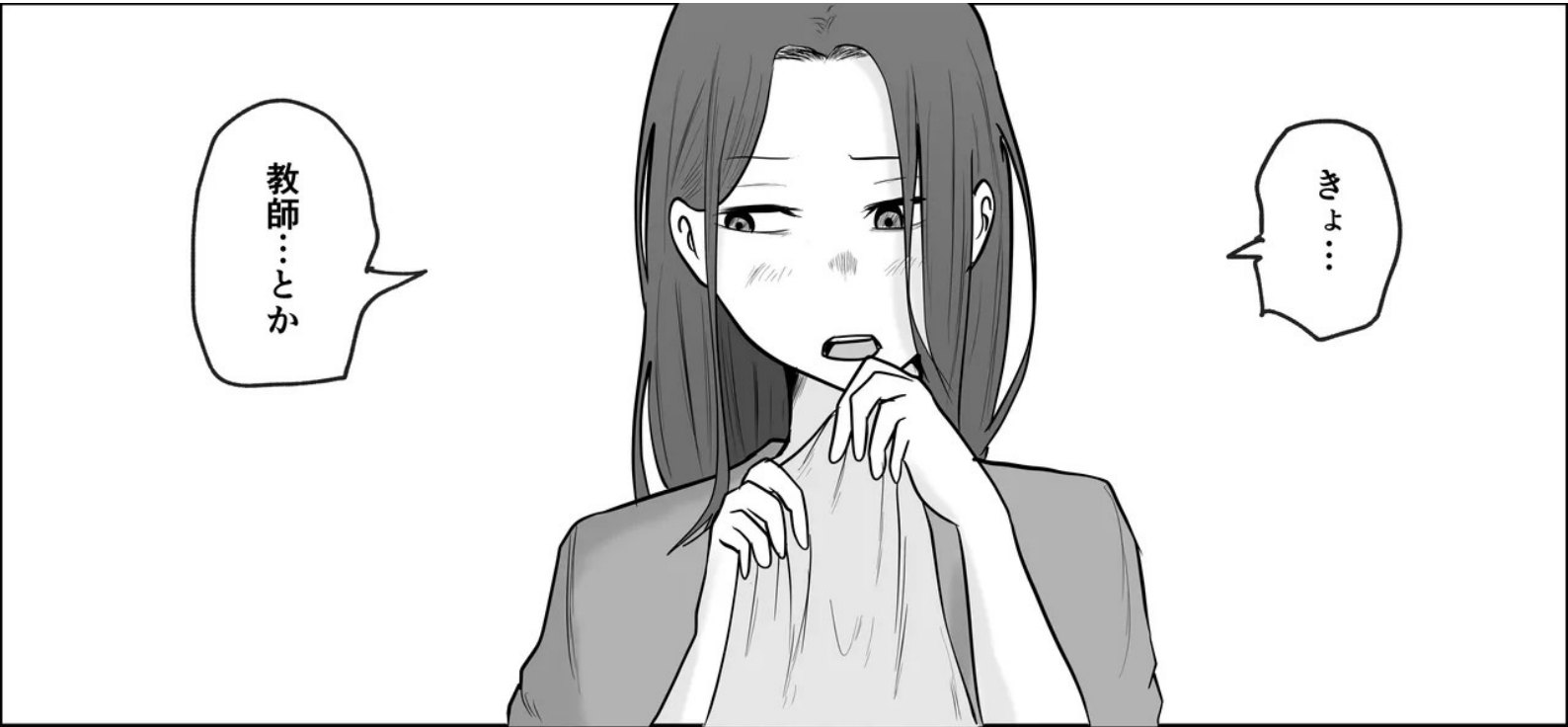
そうだけど…
ほら、さっきあなたも
言ったでしょ
最近不況で
いつ何が起るか
わからないじゃない？

それに何より、子供に
手が掛からなくなってきた分、
暇なのよ私

ん…
まあそうだな

金はあって困るものでもないし
もしかしたら俺より稼いじゃう
かもな！がはは！

で、なんの仕事するんだ？



教師…とか

きよ…



俺はてっきり
仕事ってパートか
なにかだと…

え…
ふ、復職?



いや…その…
悪い虫が付くのが
ちょっと心配だよ…

…なによ?

んんん…
まあ…
…それなら…



だ…だめかな?

いや、そういう
ことじゃなくて



…悪い虫だった人が
なにいってんのよ

うっ…



てか採用試験あるだろ
さすがにもう…

い、言ったでしょ
暇だって!
勉強しなおすのよ!



この板挟みの現状…
家族を裏切る感覚…

そんな状況から
少しでも
解放されたいと
思ってしまった
いたのかもしれない

…でももしかしたら
心のどこかで

暇…
もちろんそれも理由の
一つではあった。

もちろん

港一くんとの
関係を
終わらせれば
全て解決する話…
なのだけど…

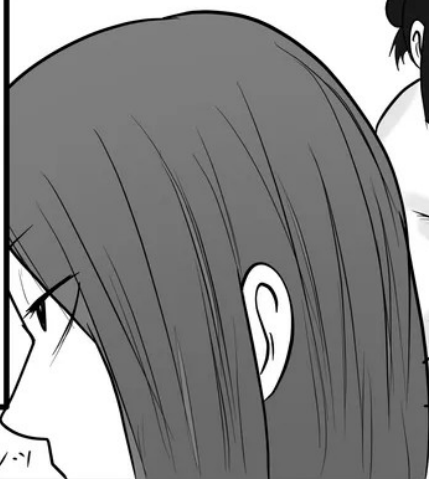
渚さん
勉強教えてよ

…なのだけど

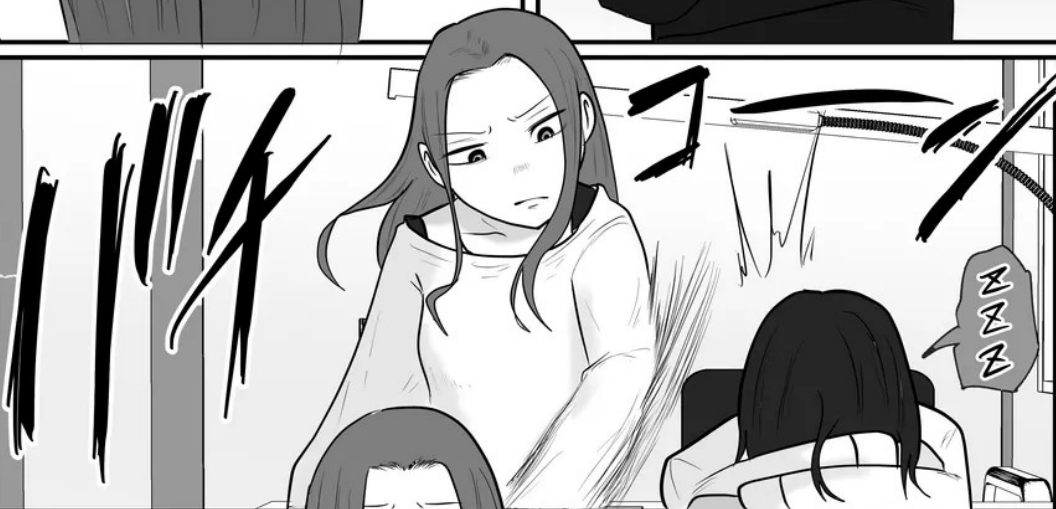
彼は学年でも
テストの順位は
悪い方だった



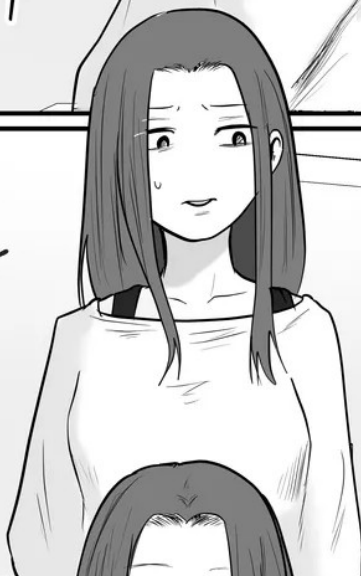
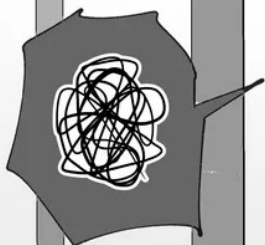
でも彼は…
勉強が嫌いなだけで
実は頭がよかった。



私が教えることならと、
進んで勉強をし



90点以上
生SEX



どんどん
成長していった

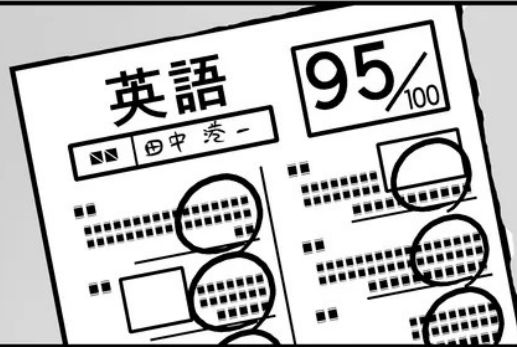




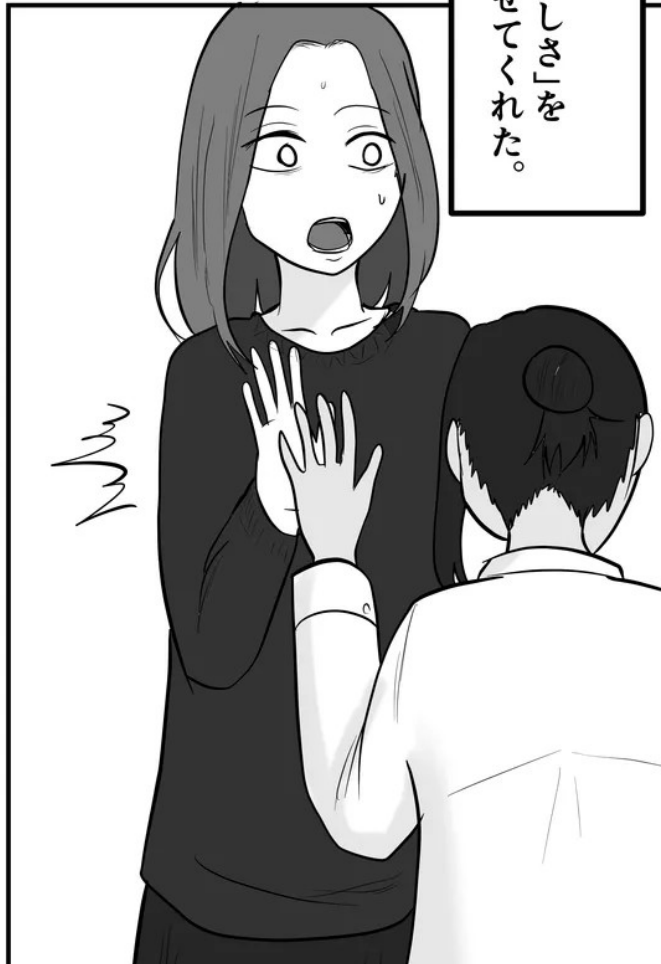
…楽しかった。



教職から離れて
かなり経つ私に



あの頃の、
「教える楽しさ」を
思い出させてくれた。



もう一度教壇に立ちたいと
思わされた。

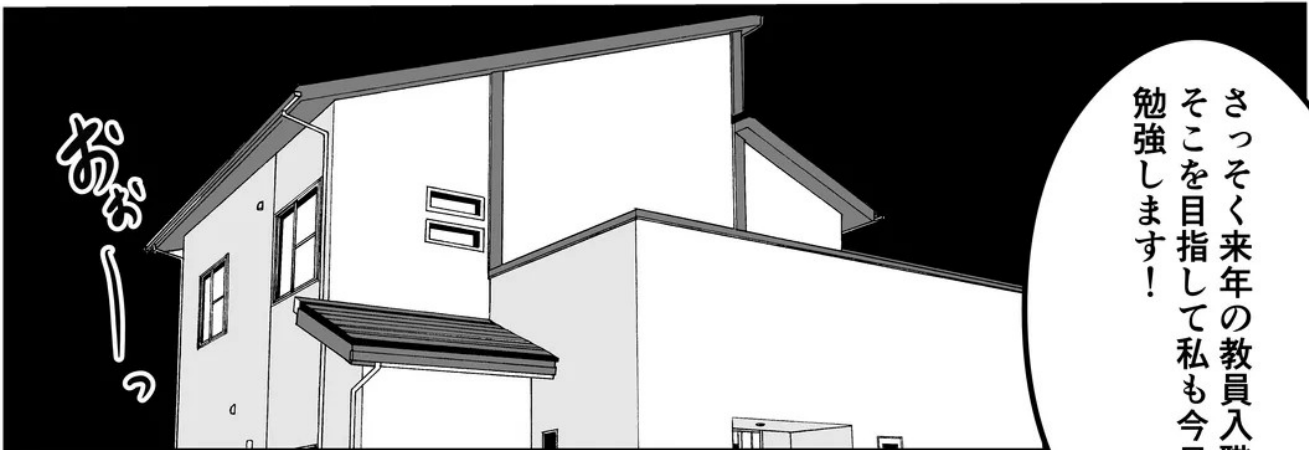
も、もちろん！

仕事すればする回数も
少なくなるってというのが
一番の理由なんだけど！

あっ

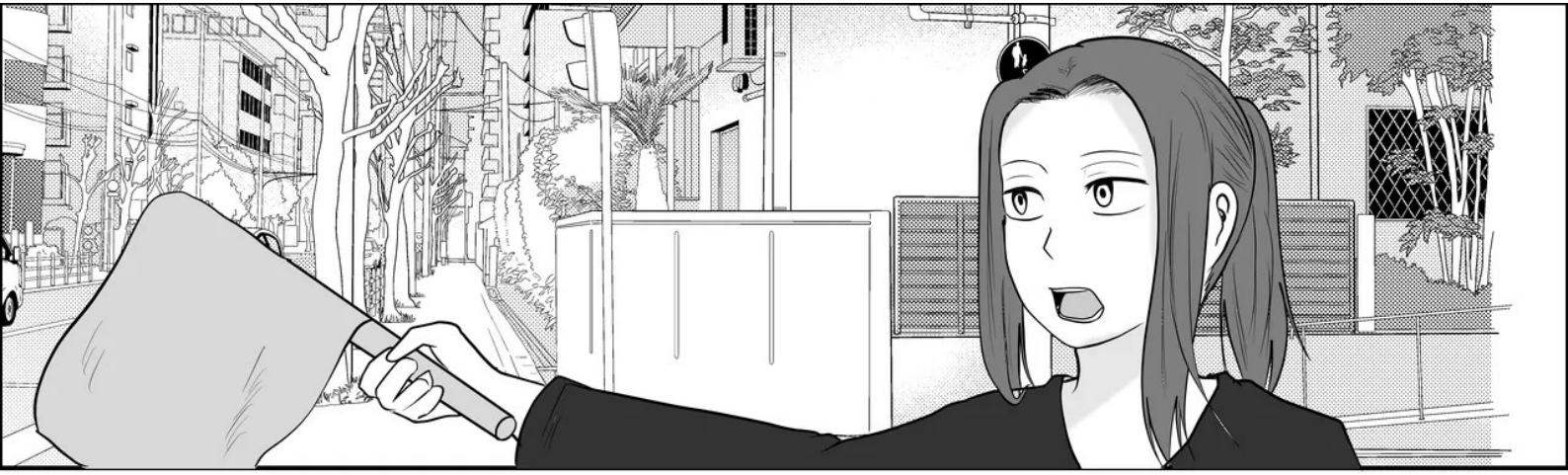
あっ

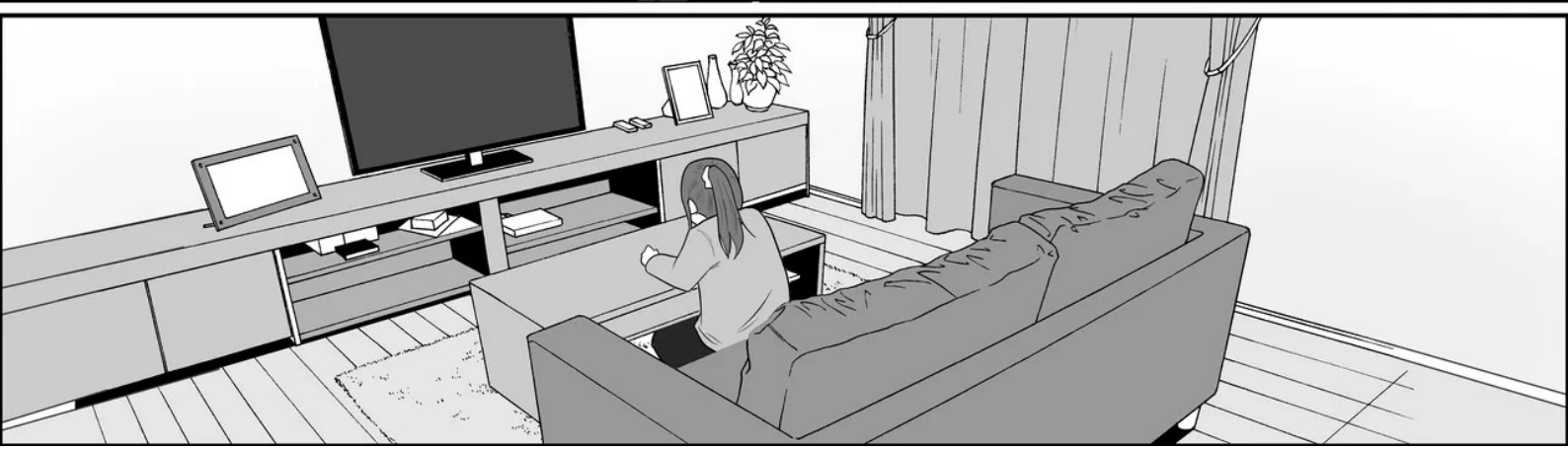
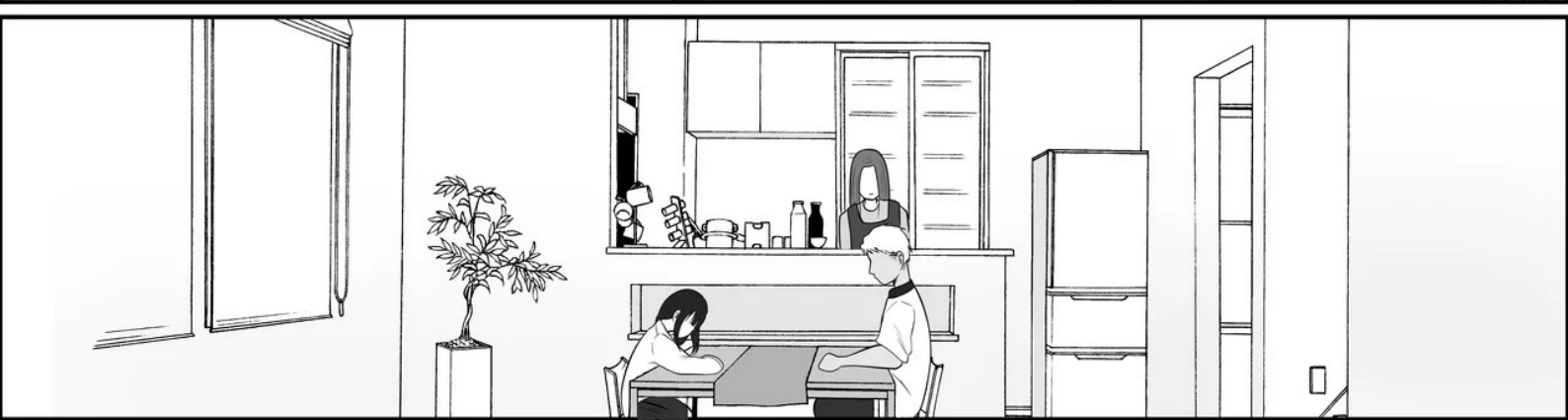
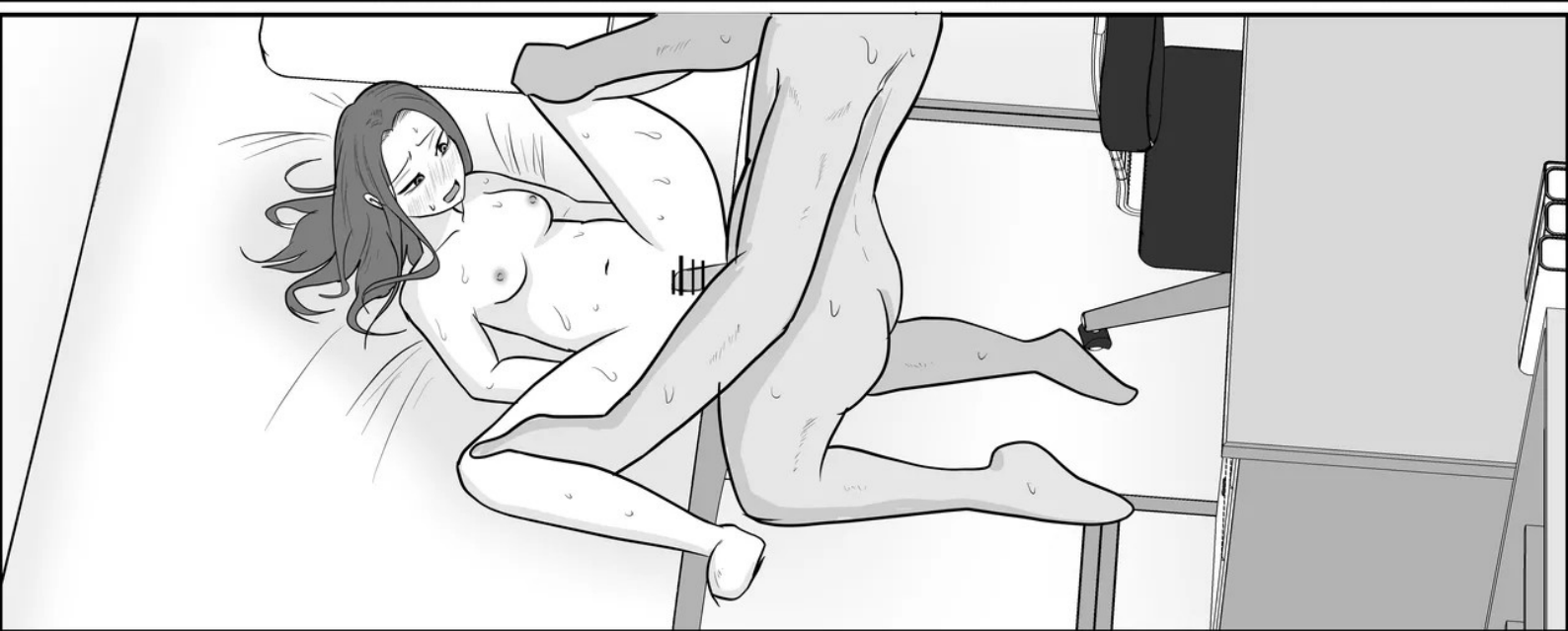
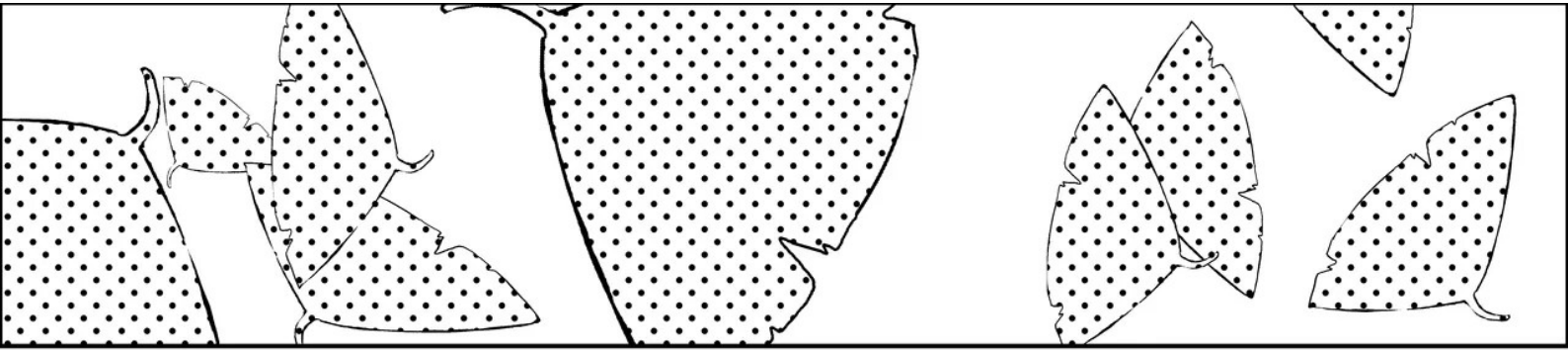
あっ
あっ

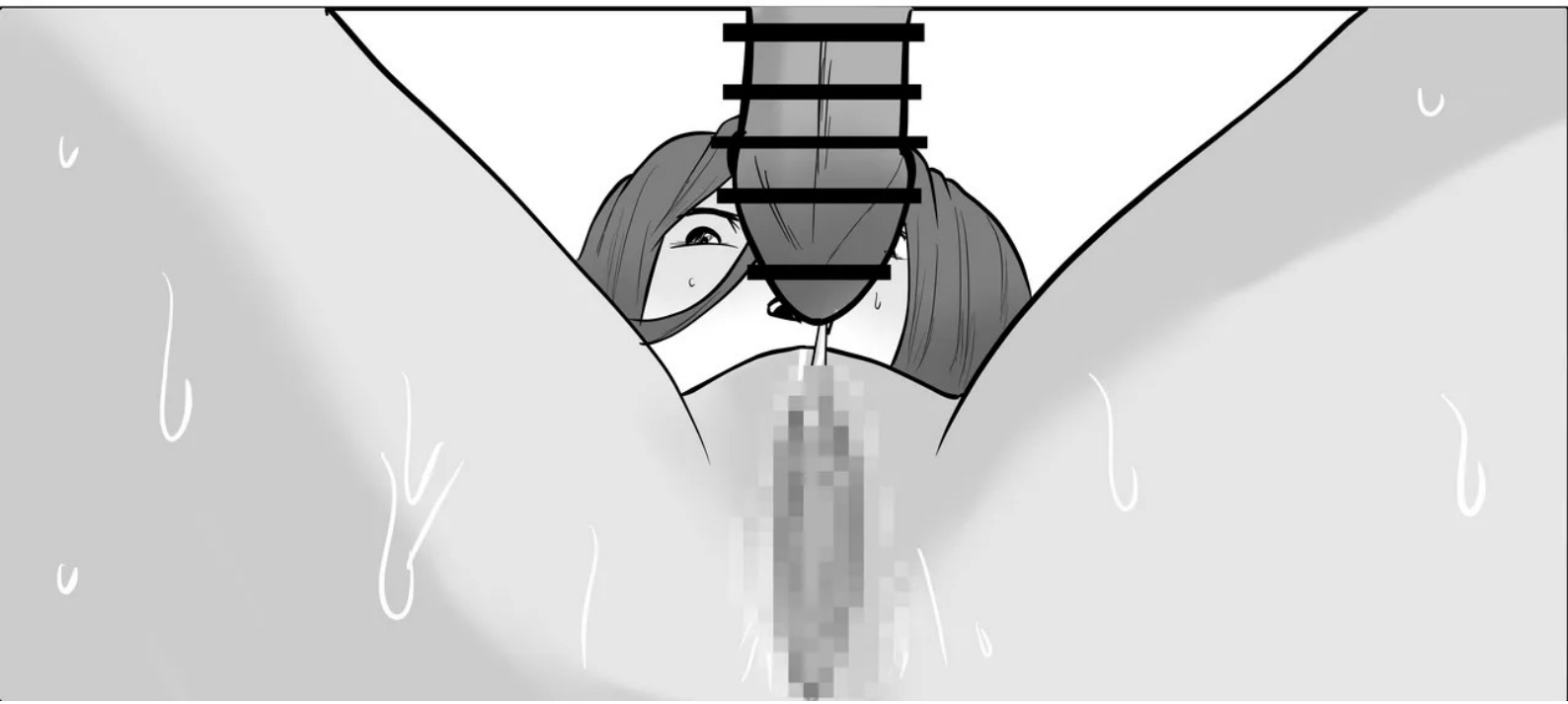
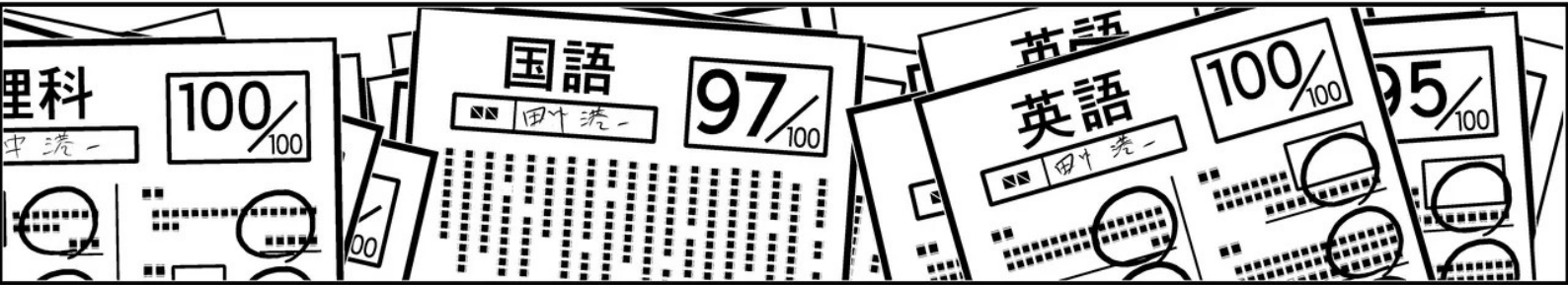
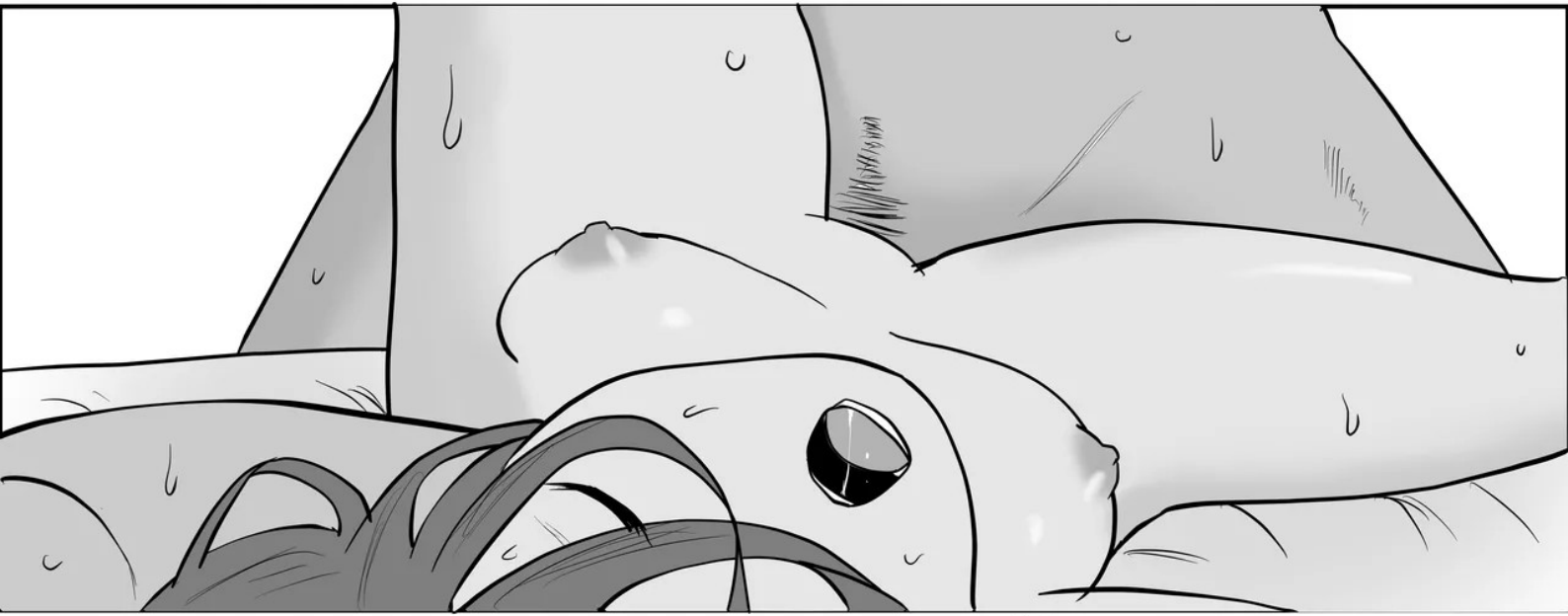
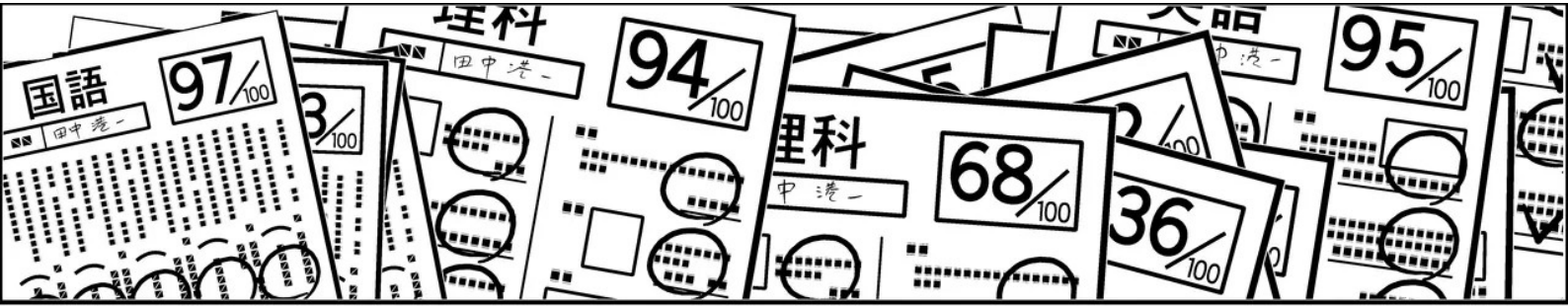


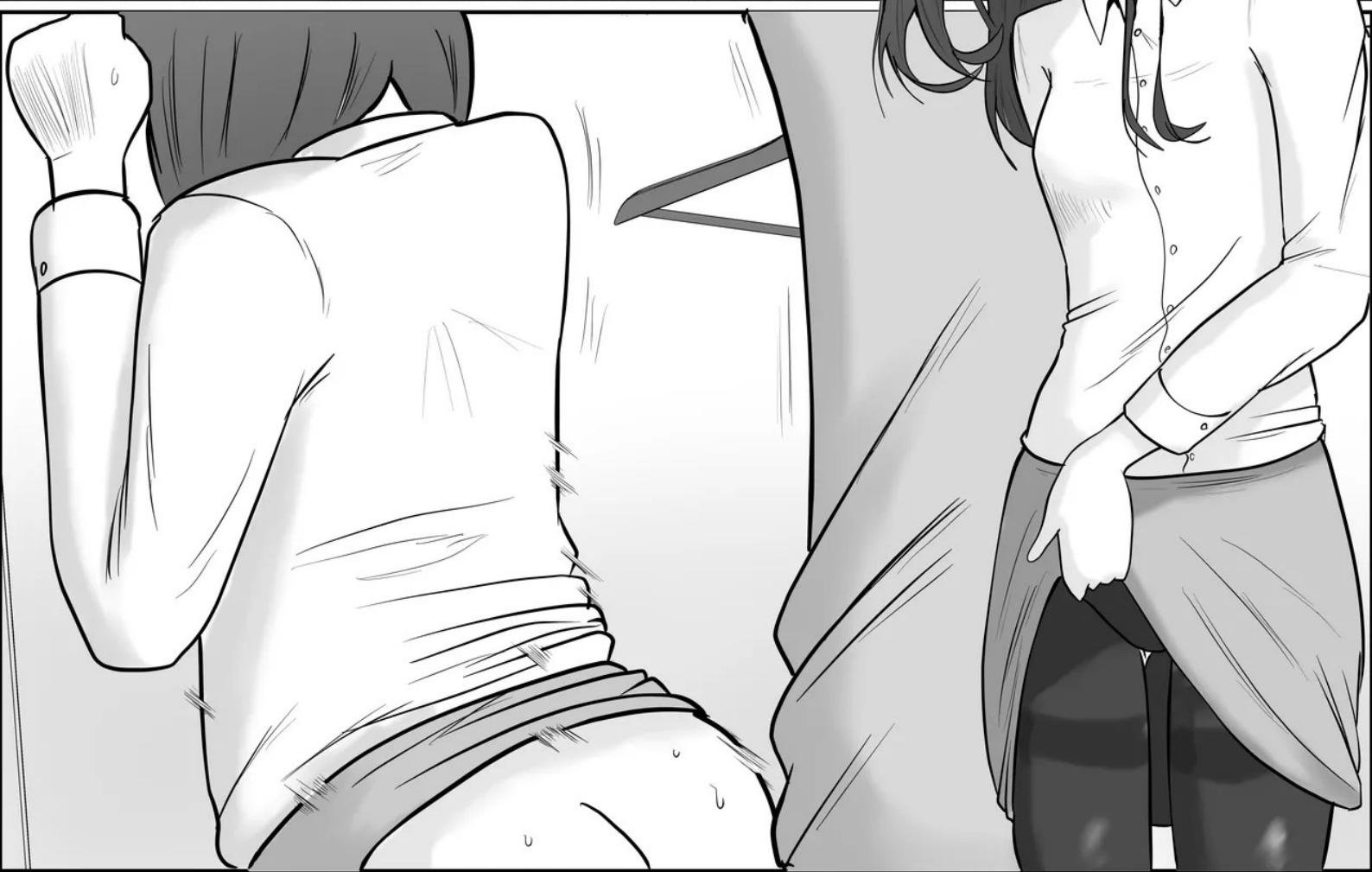
あっ

さっそく来年の教員入職！
そこを目指して私も今日から
勉強します！



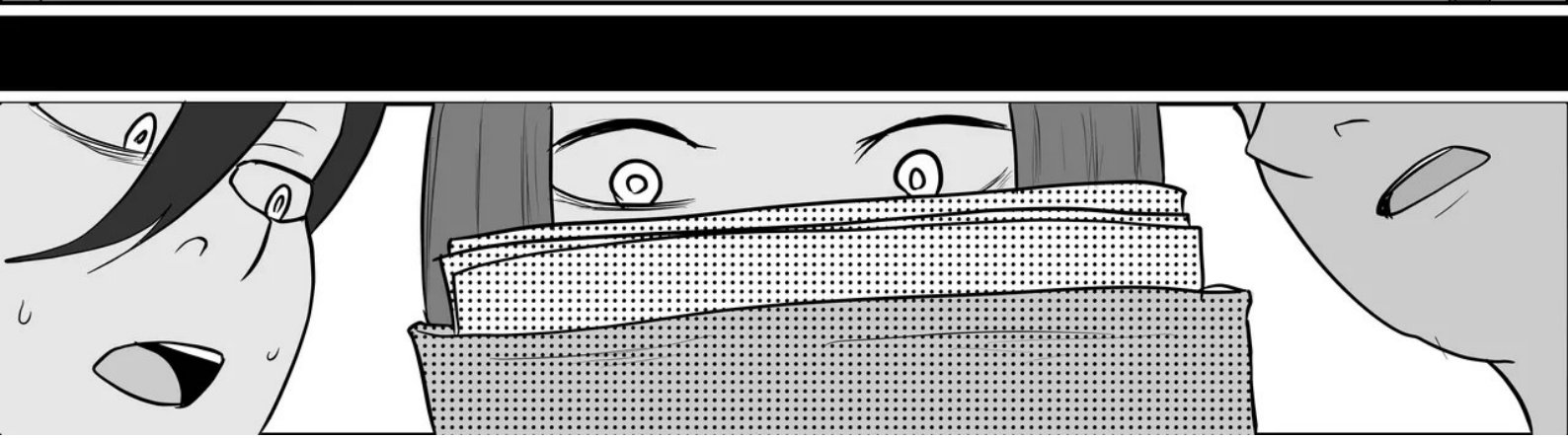
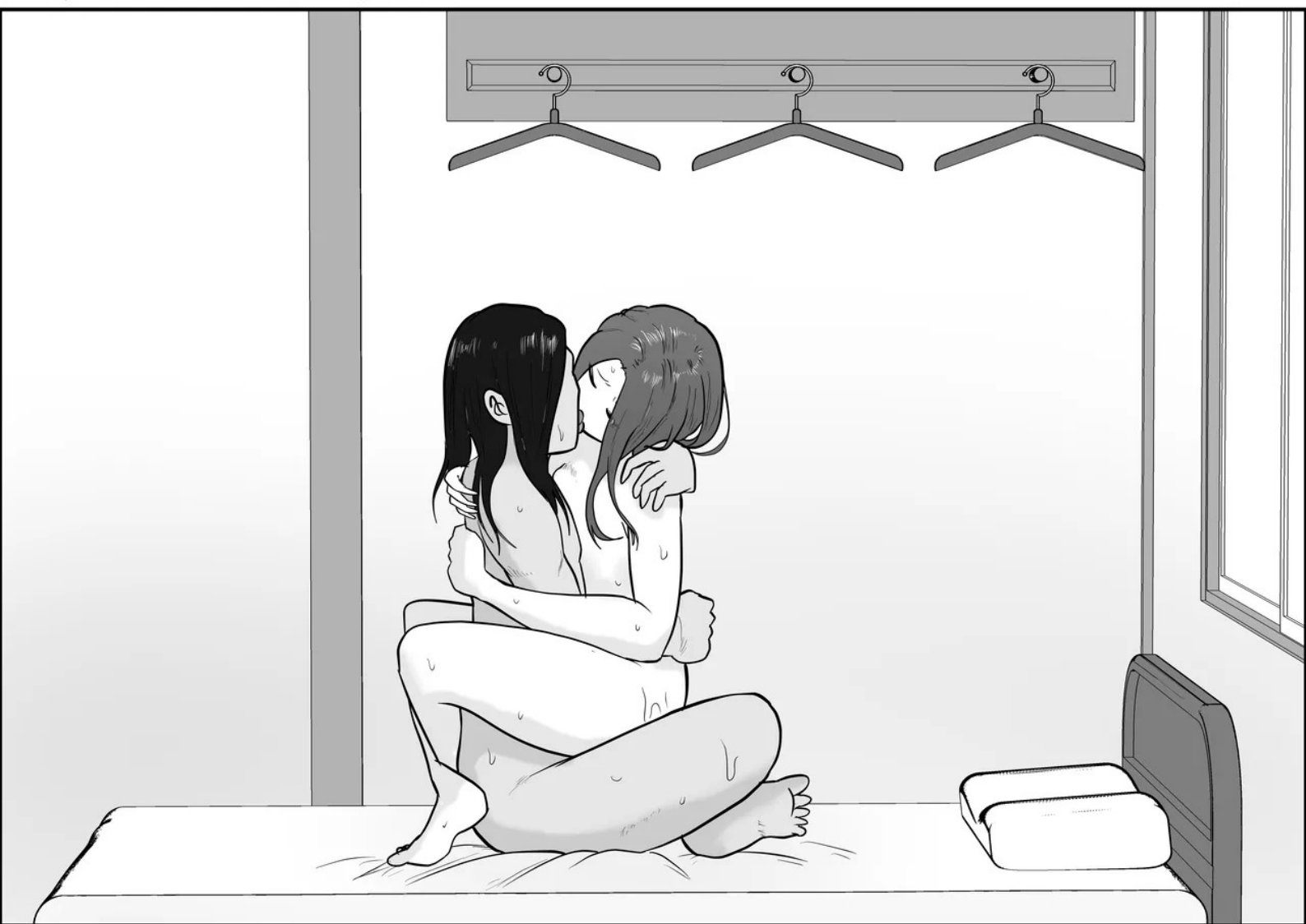
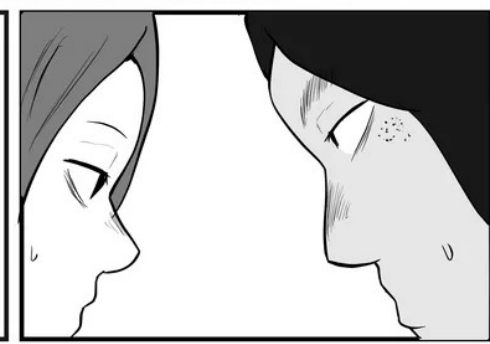
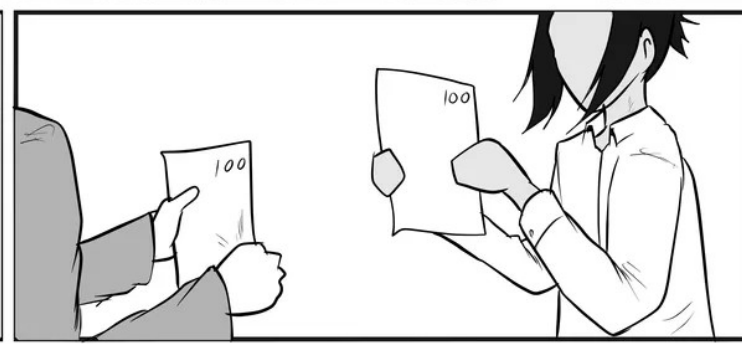
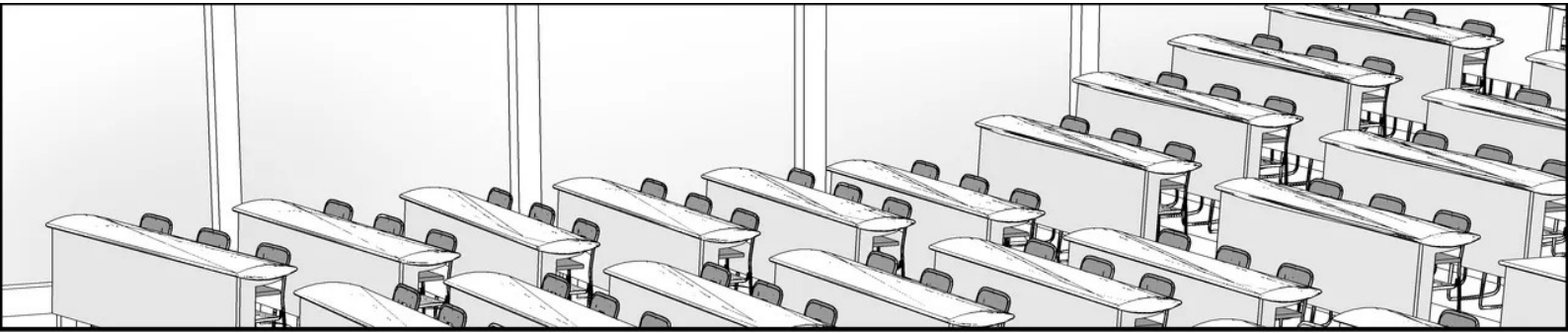


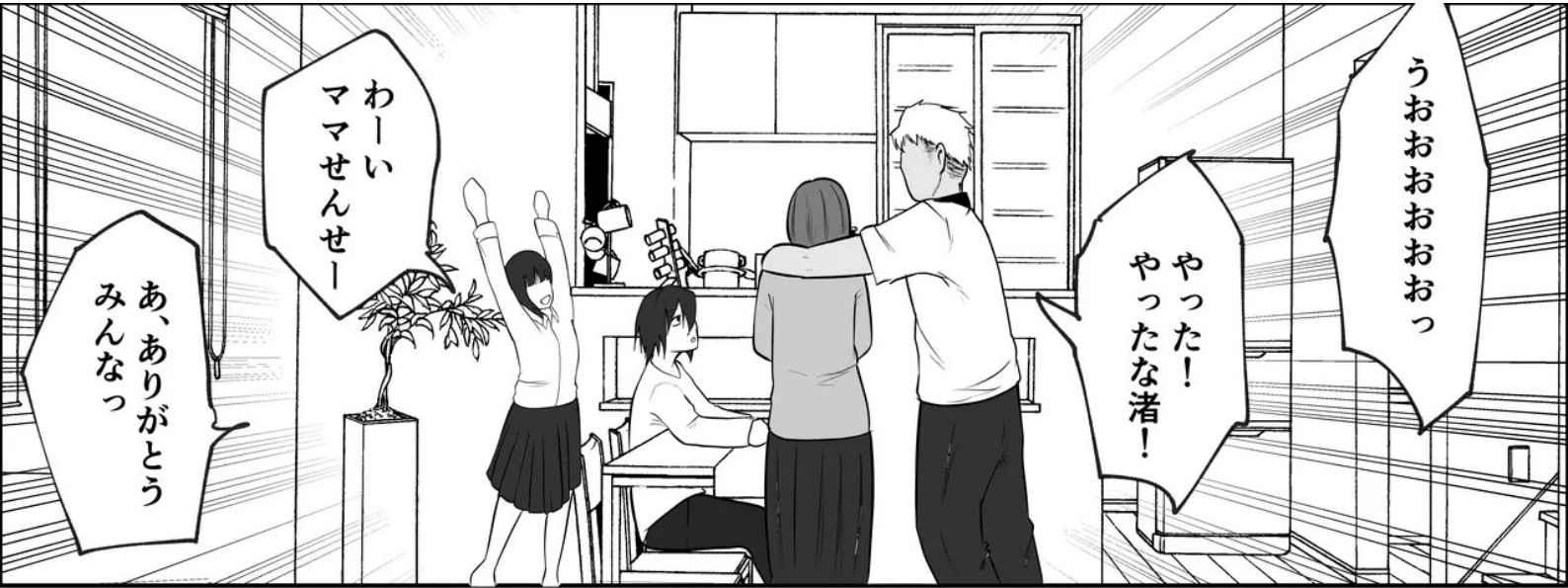




徳高校教員採用試験会場





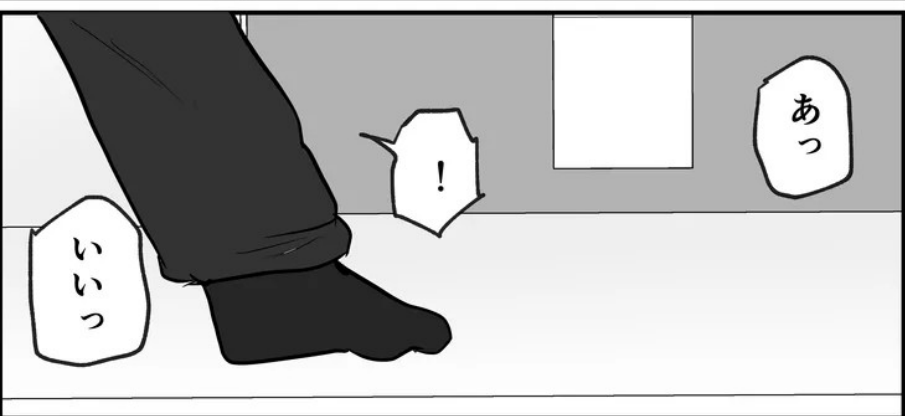
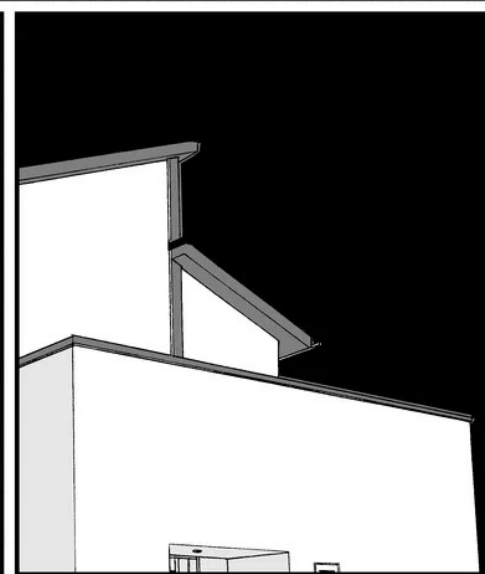
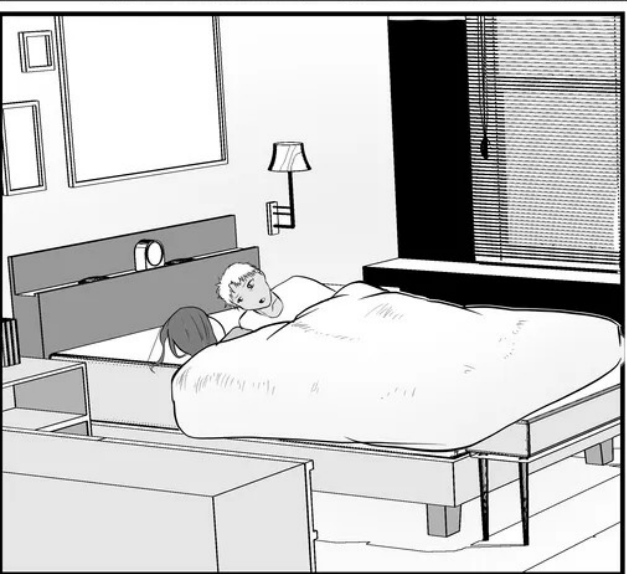


わーい
ママせんせー

あ、ありがとう
みんなっ

やった!
やったな渚!

うおおおおおっ



あ

いっ
いっ

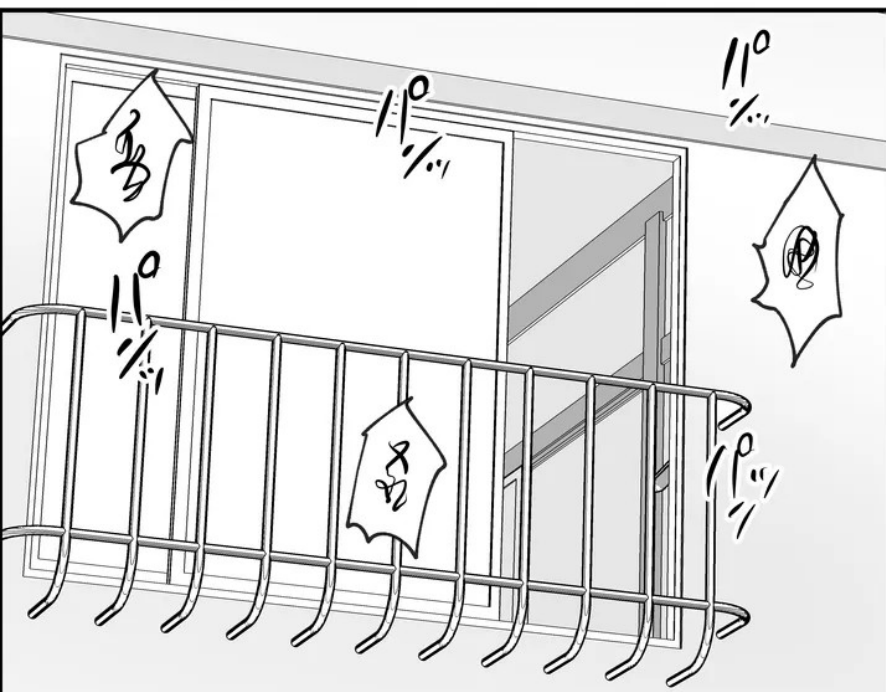


なあ渚...
来年から仕事始まるし...
もうなかなかする
機会もないしさ



航っ





んんああああああッ

だめだめ
港一くんッ

だめっ

ああはああああッ

イクイクッ

ビッ
クッ

ビッ
クッ

いっ
イクッ

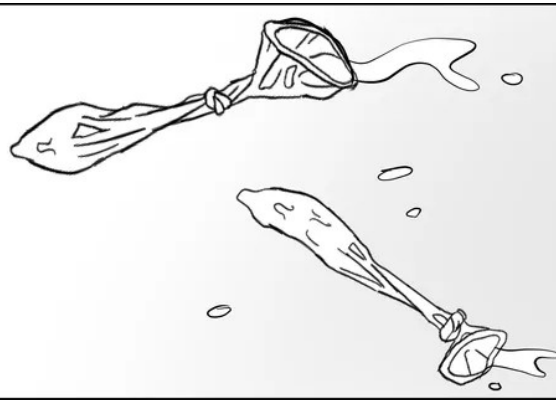
イツ…グッ

グ
クッ

イク
クッ



改めて
おめでとう
渚さん



隣町の●●中学校
だったっけ？

まさか一発合格するなんて…
しかも人手不足で
正式な入校前に
今月から非常勤講師
として働くんでしょう？
さすが頭いいなあ

…別に…まあ、
あなたのおかげも
多少はあるかもね

でもこれからは
あんまりやる時間
作れなく
なりそうだね

ふん、
いい気味ね

フイツ

…でも、まあ
そんなことも
ないんじゃない

一か月後…

渚は無事に
教師への復職を
果たした…

そこから
数日後のある日

ええ〜と
確か前任者から引き継いだ
のがこのページまでで…

あつ
クラスメイトの名前も
覚えておかなくちゃね

あ〜…

この子は…

あれ、え…え!!
この子もしかして
遠藤さん家の息子さん?
もうこんなにな大きくなったの!?

安藤くん
飯田さん
遠藤くん…

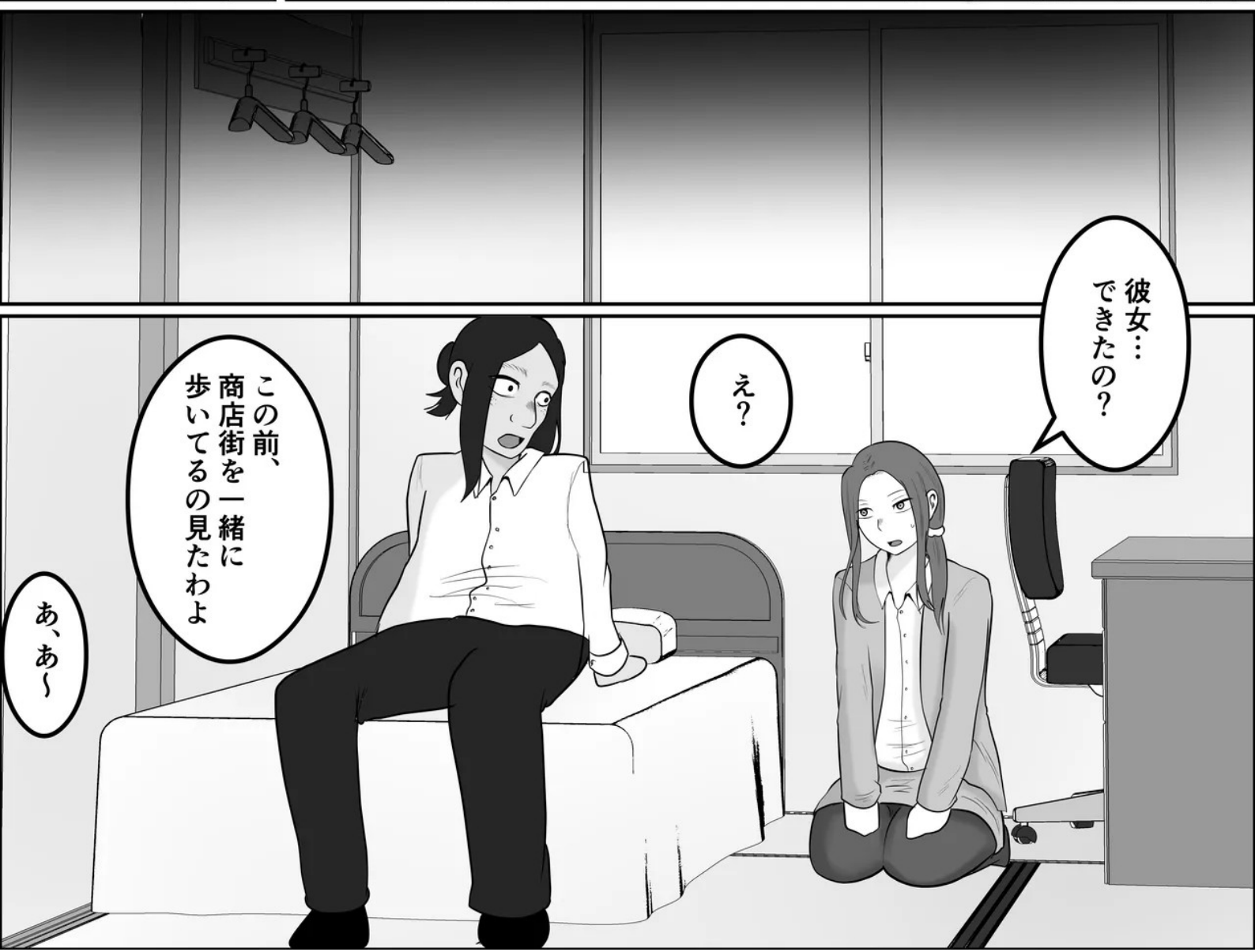
楽しい!!

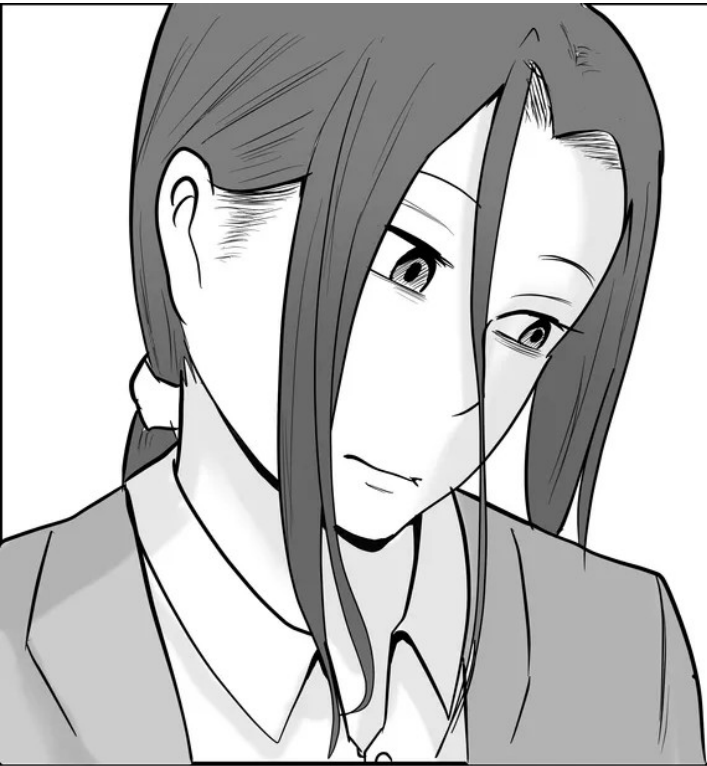
あの子は…

佐藤さん
須永くん

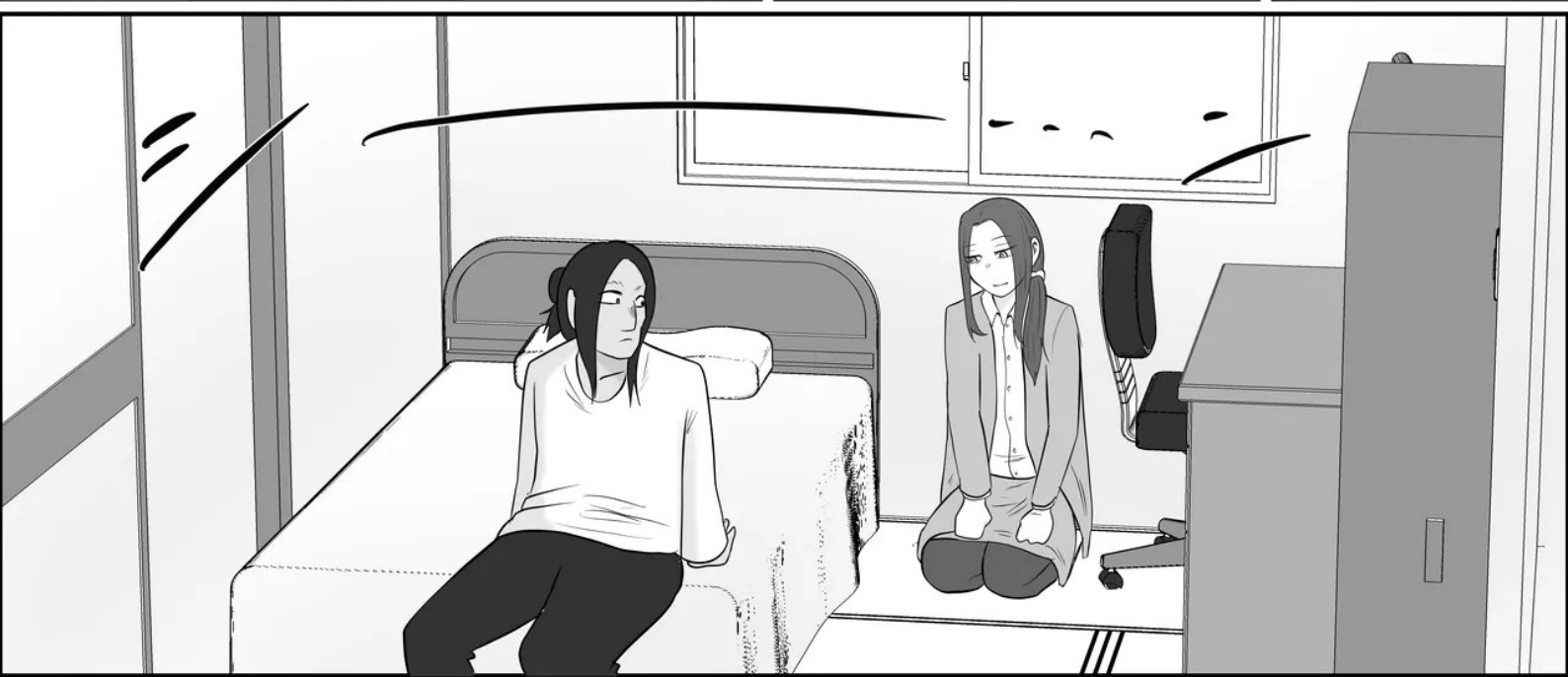
野久保さん
聖澤くん

平野さん…
え、え、この子は同じ通学路の
夏希ちゃん??





まあ…ね



だって渚さん
最近仕事ばっかで
全然俺に構ってくれないし…

好きだのなんだの…
よくもまああんな
体のいい言葉吐けてたものね

私と関係を持ってる最中も
やることやってたってことね！



まさか…
ずっと切望していた終わりが
こんな突然…

…まあ…
年頃の男の子だもの
…こんなもん…よね

へへへえ
選べる立場ってわけね
いい御身分ですわ

はあ…でもようやくね…
ここまで長かったし、散々な目に
あってきたけど…いい加減
あんたも現実みえてきた
ようで嬉しいわ

もう会うこともないわね
せいぜいお幸せにー

やるのは続けるよ



は た

…

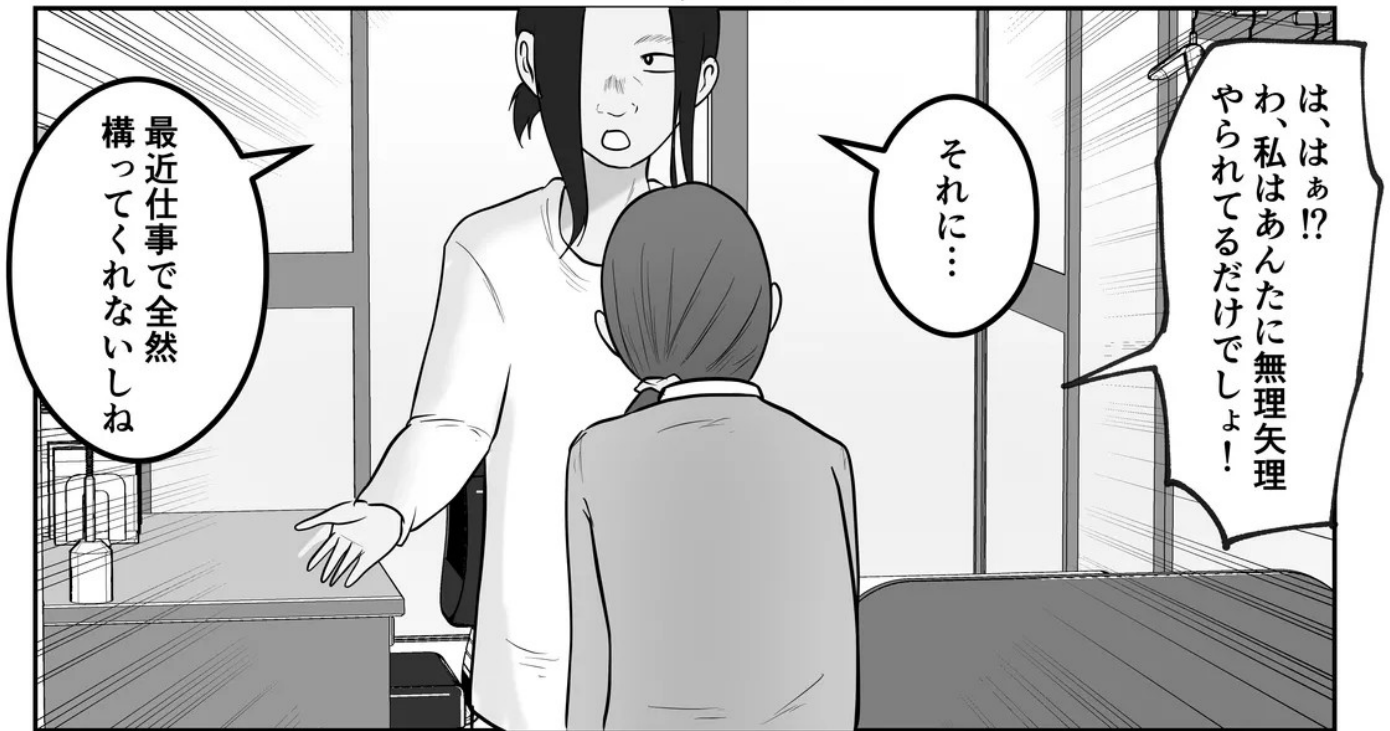
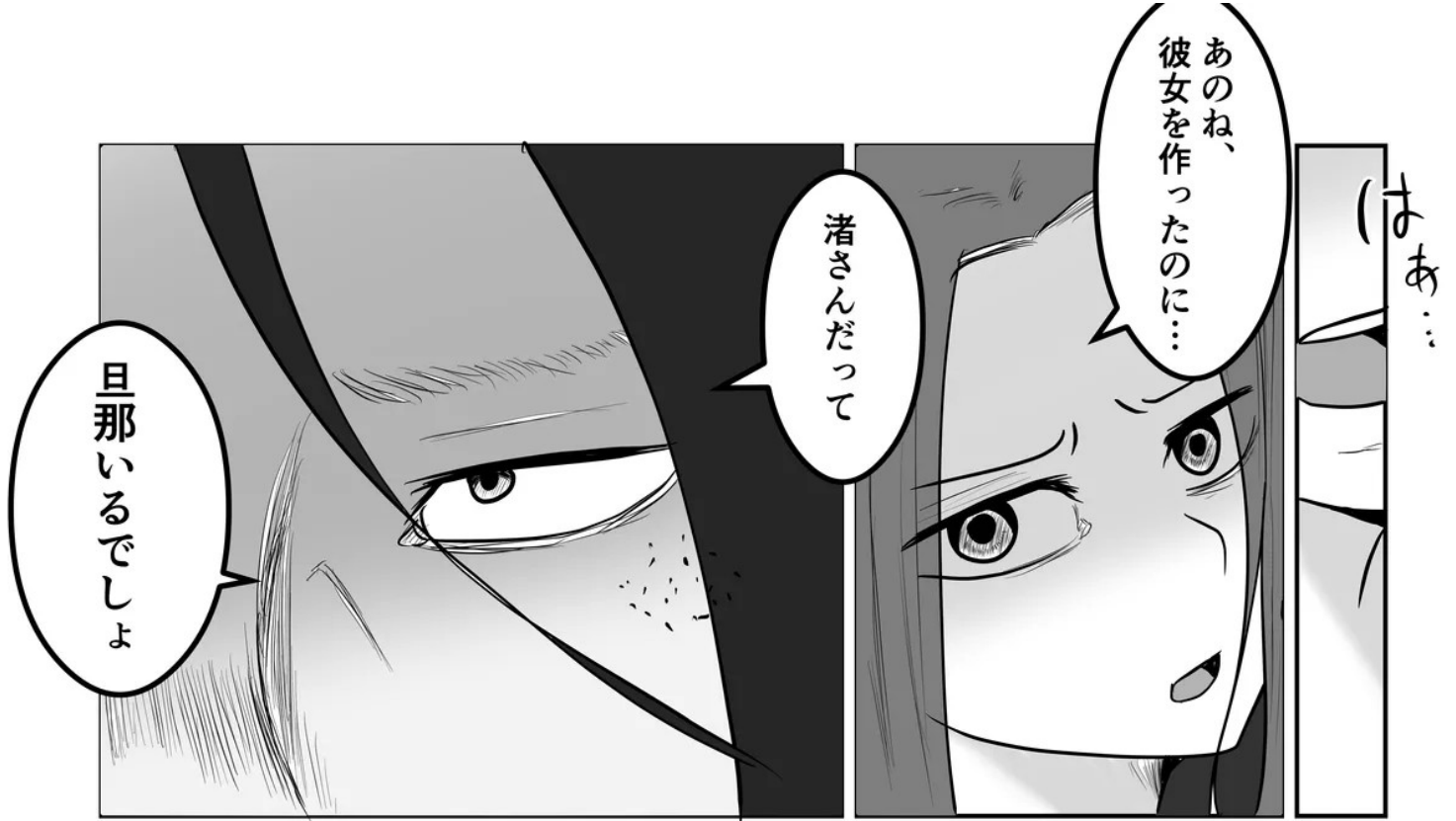
は、はあ？
な、なんでー

なんでって

彼女とすれば
いいじゃない！

それはそれ





…時間作ってよ。
渚さんならどうとでも
言い訳できるでしょ。

なんなら、海斗君とか
利用してさ…

ふっふざけないで！

とにかく

時間作ってよ
俺たちがやる
時間を…

なに？
話って…

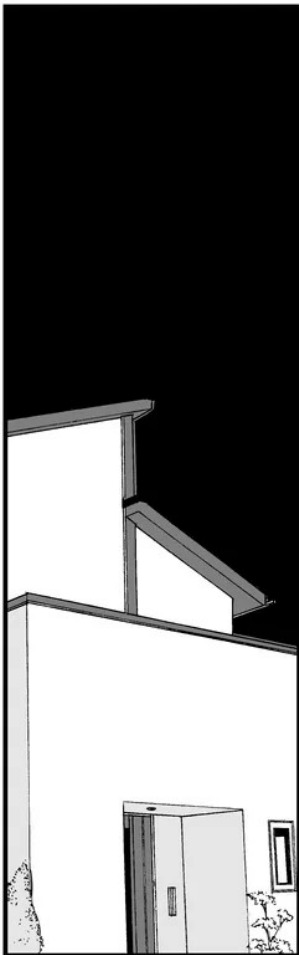
ど…土日…め

……

なんだよ
はつきりいえよ

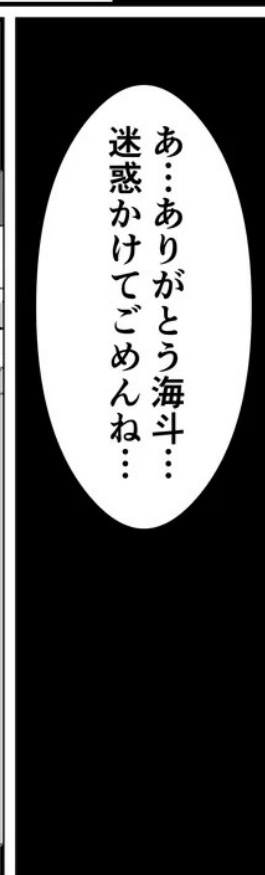
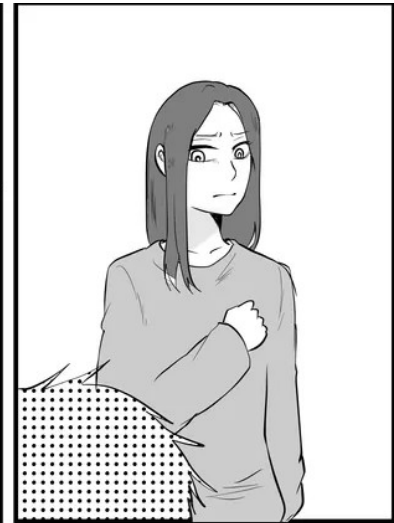
と…十日…

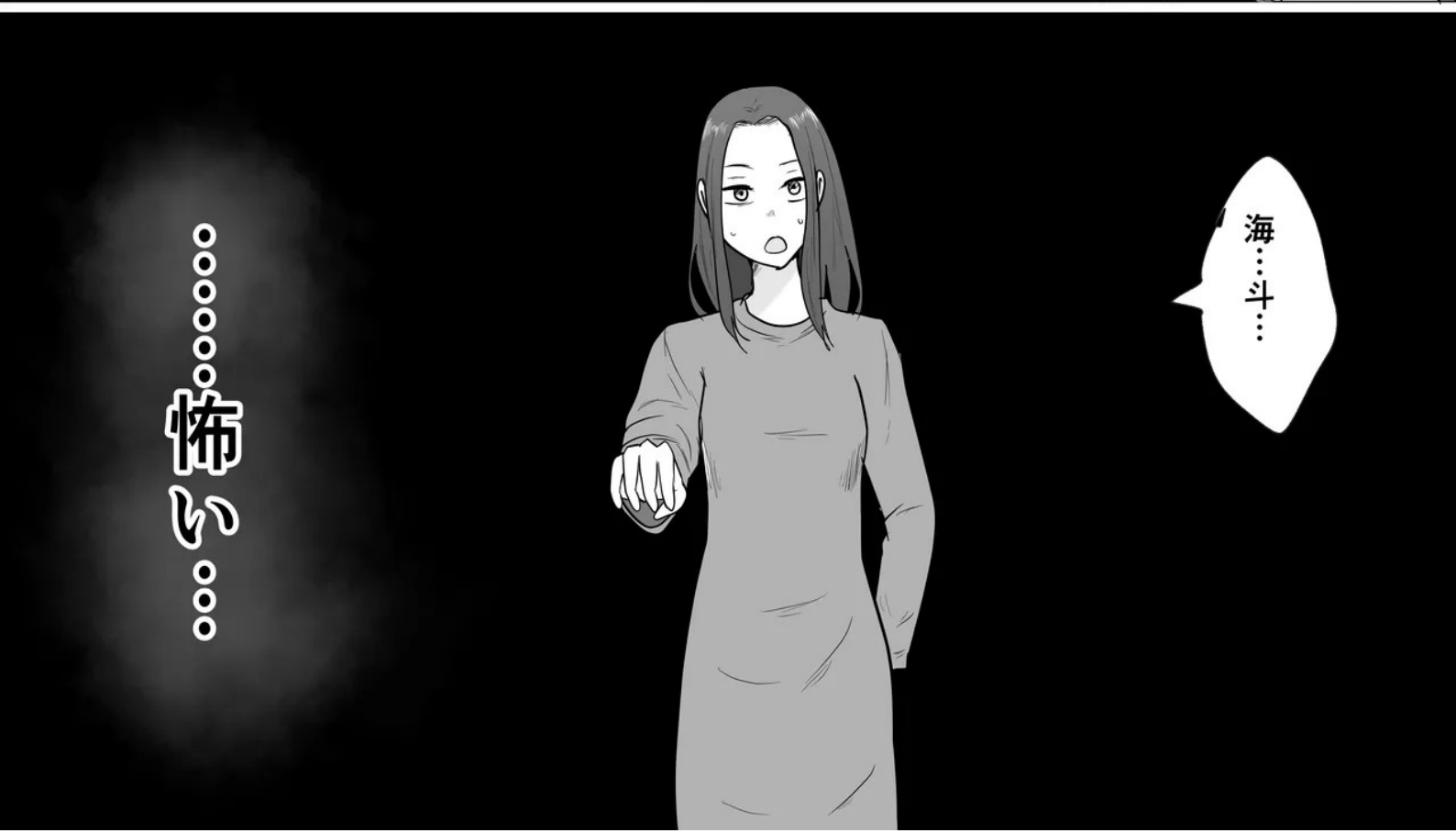
部活とかの顧問になった
ってことで…パパと話すから…
口裏…併せて…くれ…ない？





え…





最近…
自分がどうしたいのか

なにがしたいのか…

本気で分からなく
なってしまう時がある

自分の中に…
なにかドス黒いモノが
潜んでいるような…
そんな感覚…

いや、わかっているの…
ちゃんと考えれば…
…いやいや違う！
そんなこと考えるまでもなく
簡単にわかるはずでしょ…

でも…

でも…

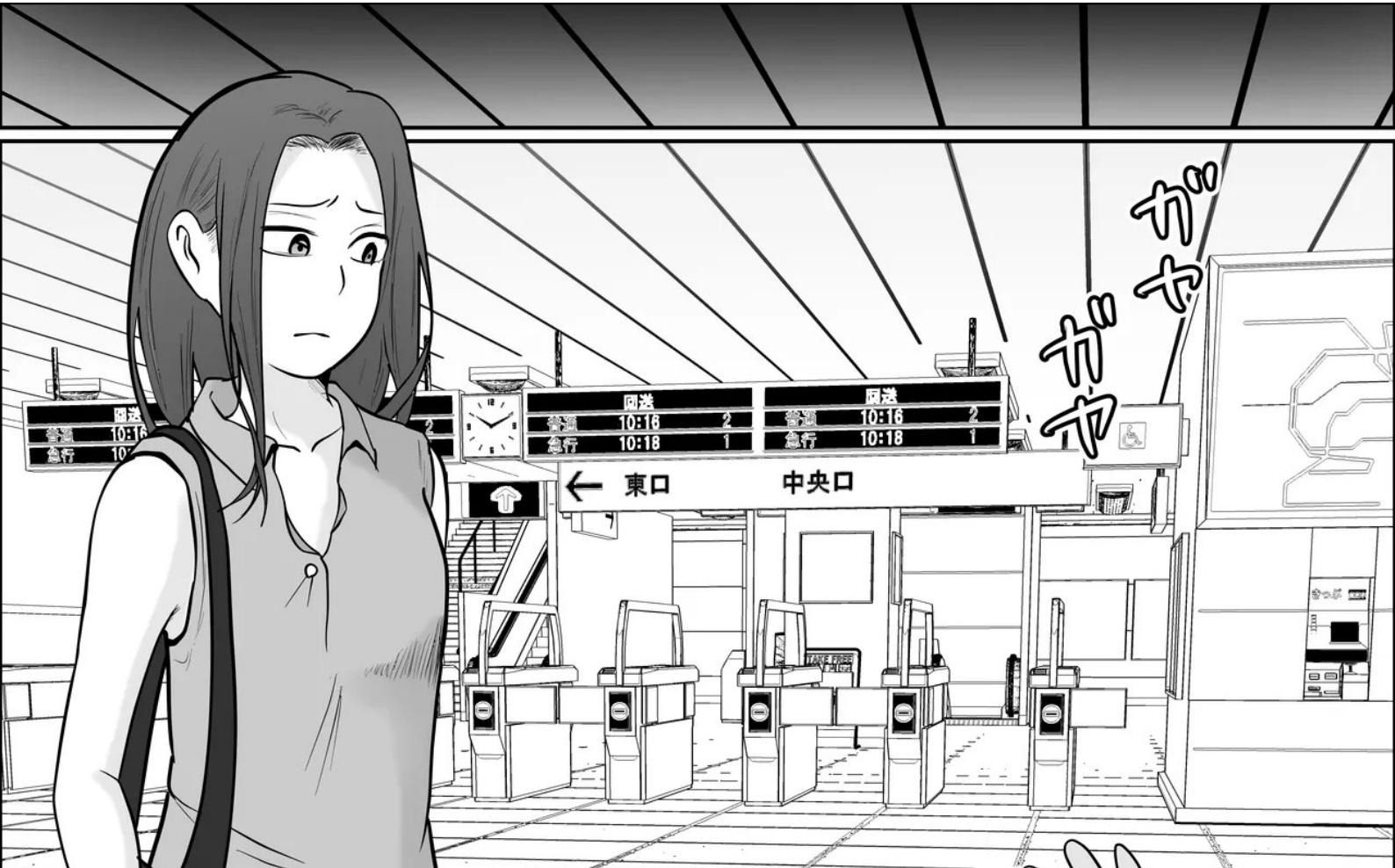
最近…こんな自問自答を
頻繁にしている…

『私…本当は何を考えているの？』

怖い…

私は…

自分が怖い…

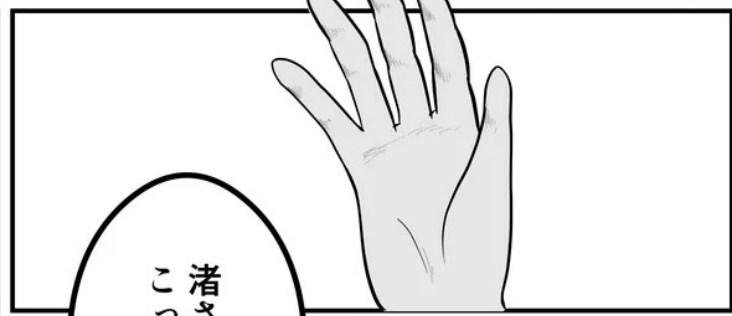
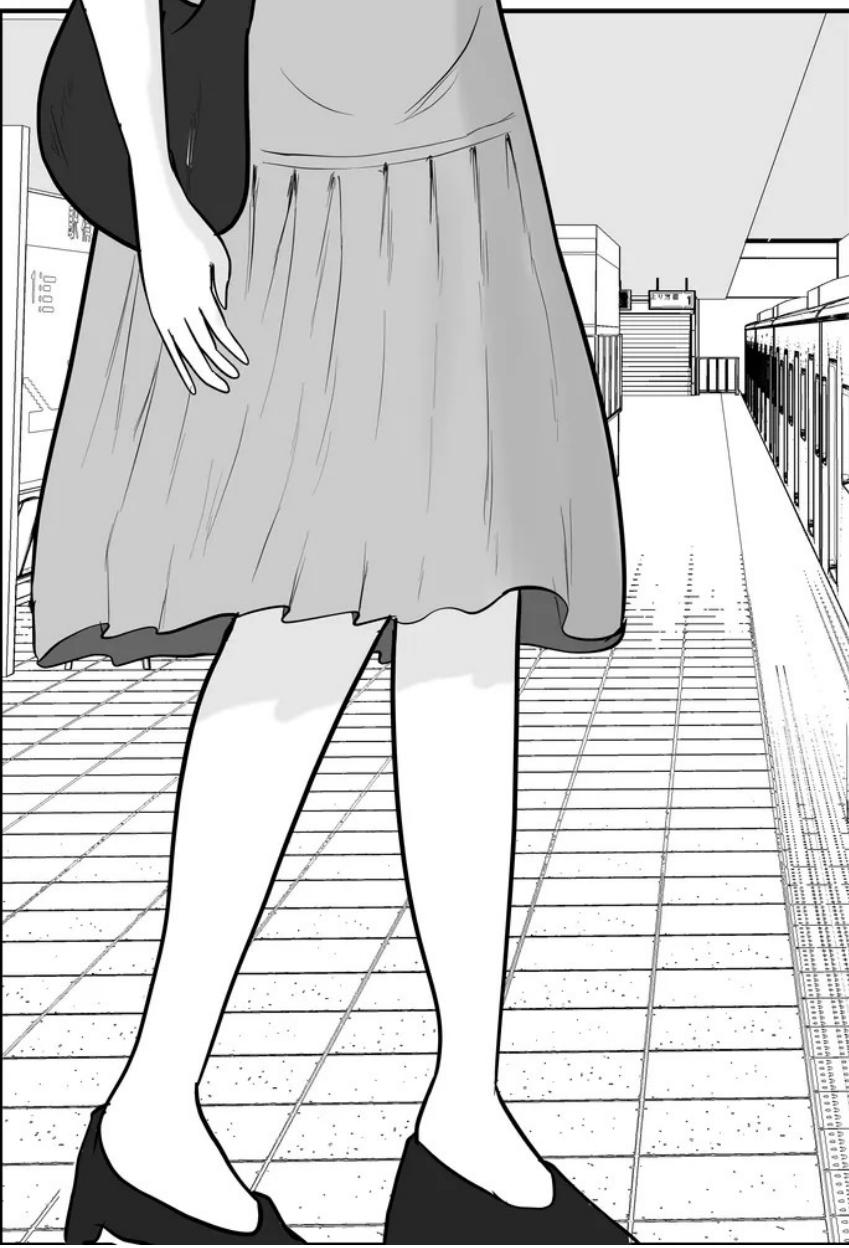


同送	同送	同送	同送
普通 10:16	普通 10:16	普通 10:16	普通 10:16
急行 10:18	急行 10:18	急行 10:18	急行 10:18



← 東口 中央口

ガガガ



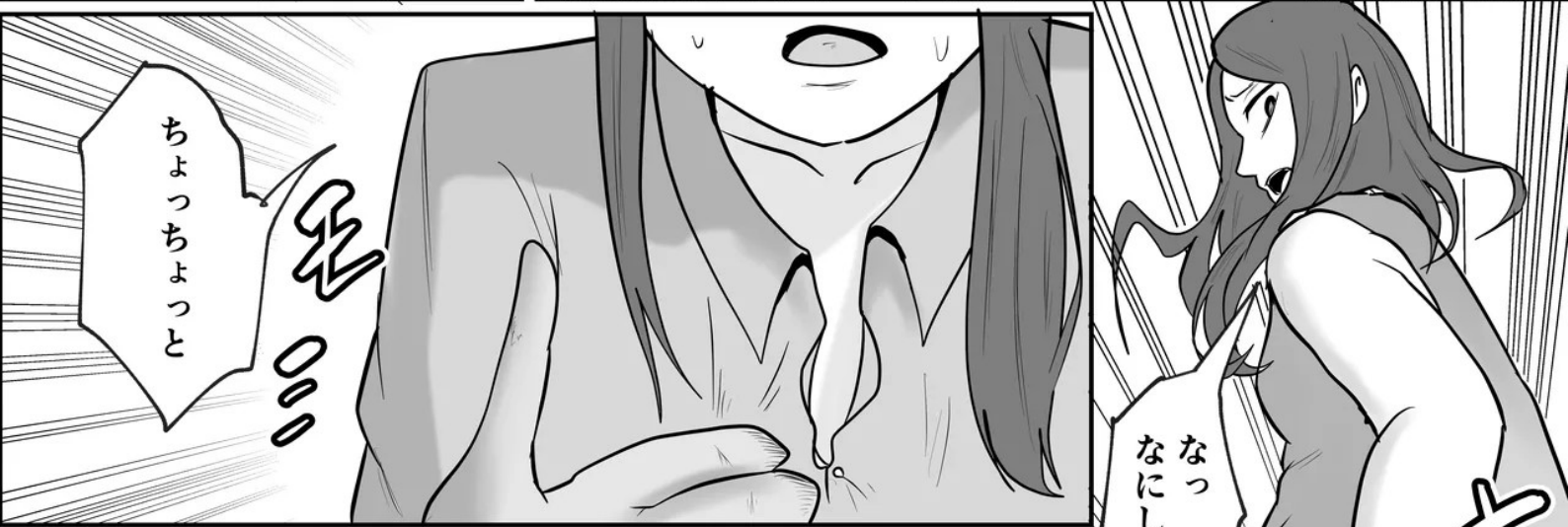
渚さん
こっちこっち





…だからなによ

渚さんと遠出するの
なんだかんだ初めてだね



ちよっちよっ

なっ
なにしているの



んんん



なんか興奮してきちゃって

こーんな
清楚みたいなの
服着てるくせに
いまから俺と
不倫するんだって
考えたらさあ

あ、あんたが
こういう服が良いって
しつこいから
着てやったんでしょ

あれ〜そうだったけ？

とぼけないで
ほんとにぶつわよ

でも、めっちゃ似合ってる
一軍女子って感じ♡

…ッ



ばっバカなこと
言わないで!

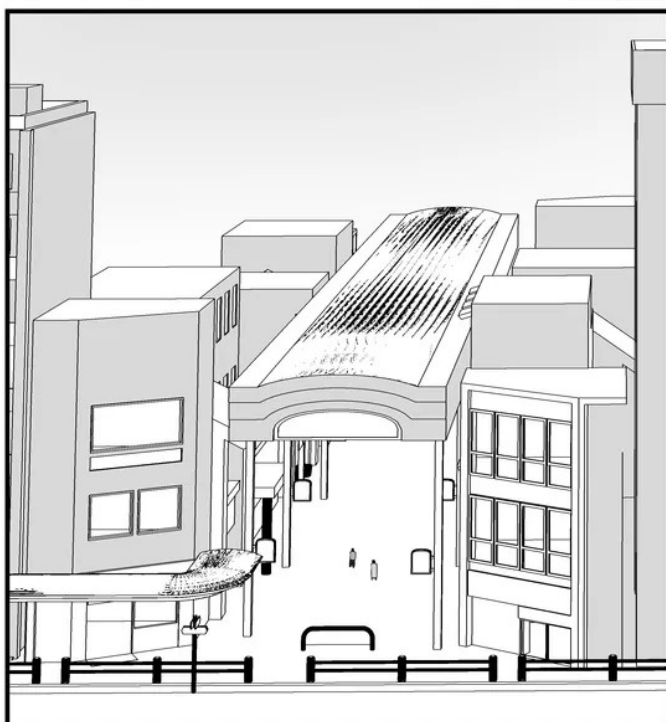
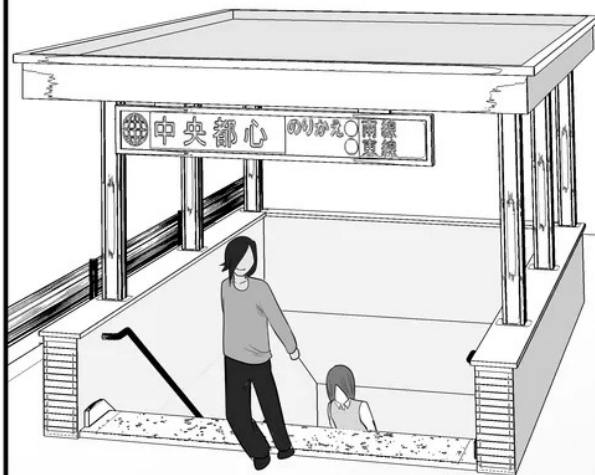
冗談だよ冗談
痴漢してるだけで
緊張して
心臓張り
裂けそうだよw

...

ていうか...
い、一体どこ行くつもり?

夕飯までには
帰らないといけない
こと、忘れて
ないでしょうね?

大丈夫大丈夫!
デートプランは
ちゃんと立ててるから
俺に任せてよ!





INFOMATION	
7:00-17:00	¥5,900~
3:00-19:00	¥5,900~
7:00-19:00	¥6,900~
サービスタイム(2h)	¥3,900~

…なにがデートプランよ…結局ただやりたいだけじゃない

でゆふふふまあやりたいのはそうだけど…いいから入ろうよ

うわーすげーなんかヨーロッパみてえ

渚ラブホとか来たことあるの？

…何回かは

へえ〜齋藤先生？

べ、別に誰でもいいでしょ!?

え、もしかして俺みたいなのとか? w

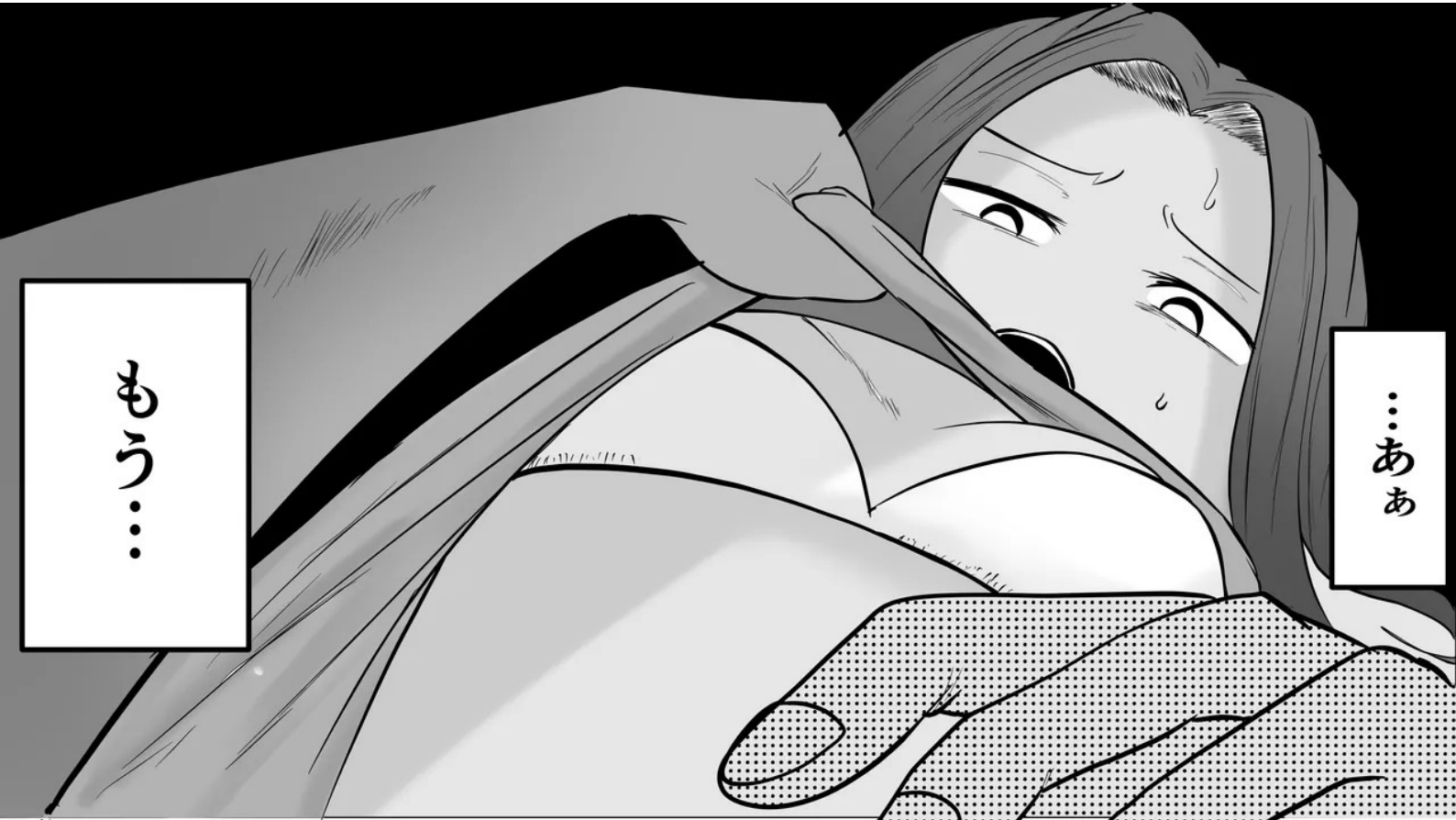
…ッ
学生の時の
彼氏よッ

へえ〜!
てことは齋藤先生とは来たことないんだ! 齋藤先生ともしたことないことを俺はできるんだね♡

ちよ、ちよっと!
なに始めようとしてんの?
身体洗って!

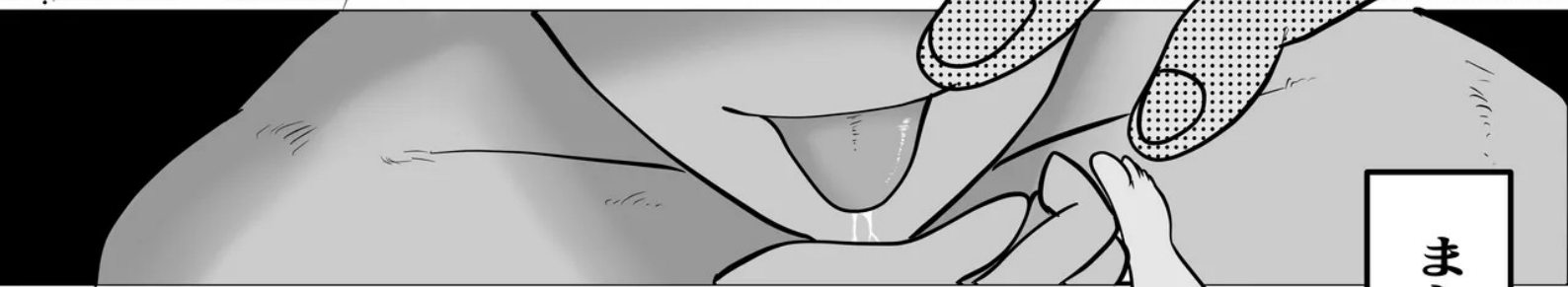
ちよッ
ちよっと!

またまたあ
いっつもそんなことしてないじゃん
電車からずっとムラムラしてるから
とりあえず一発やらせてよ♡

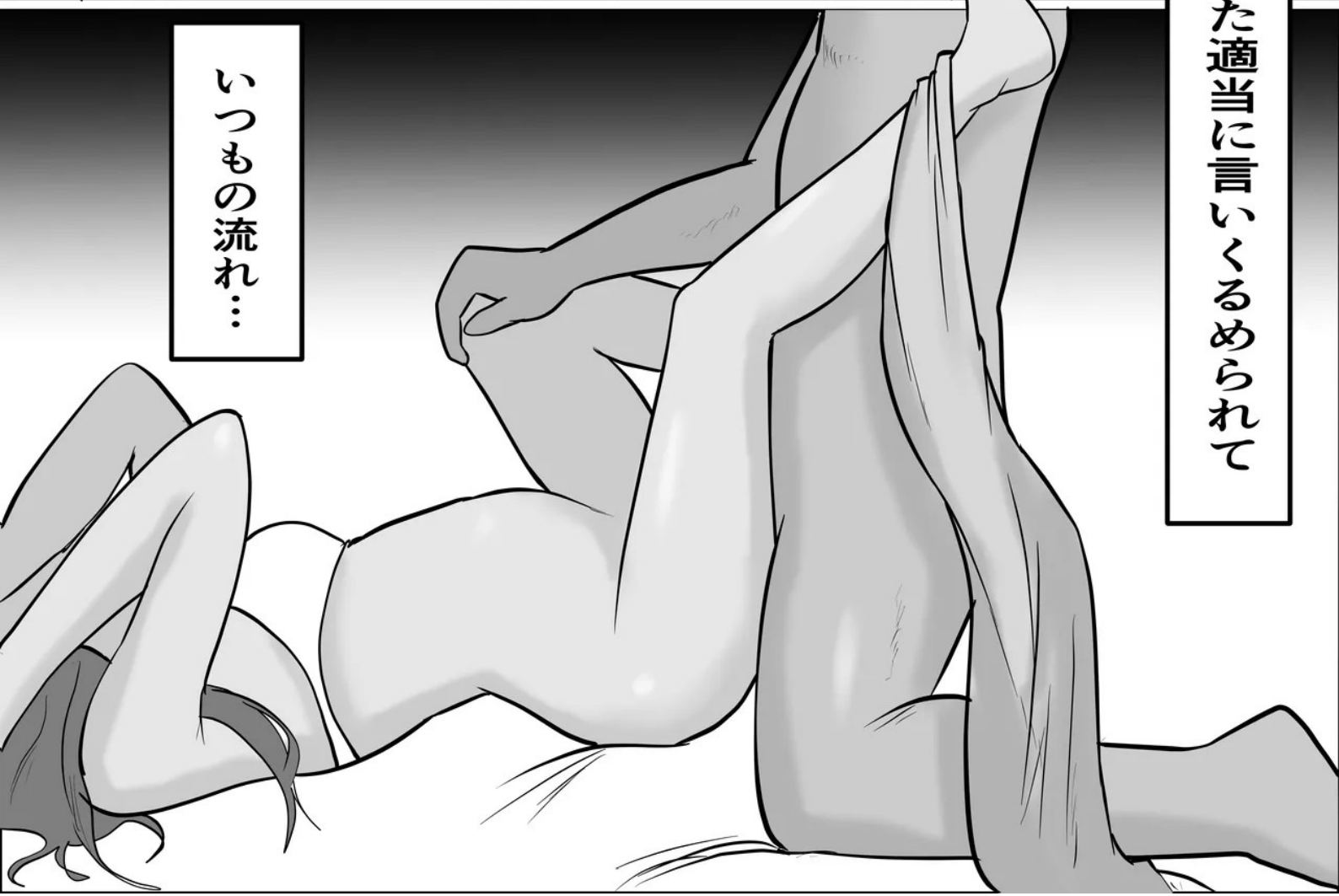


もう...

...ああ

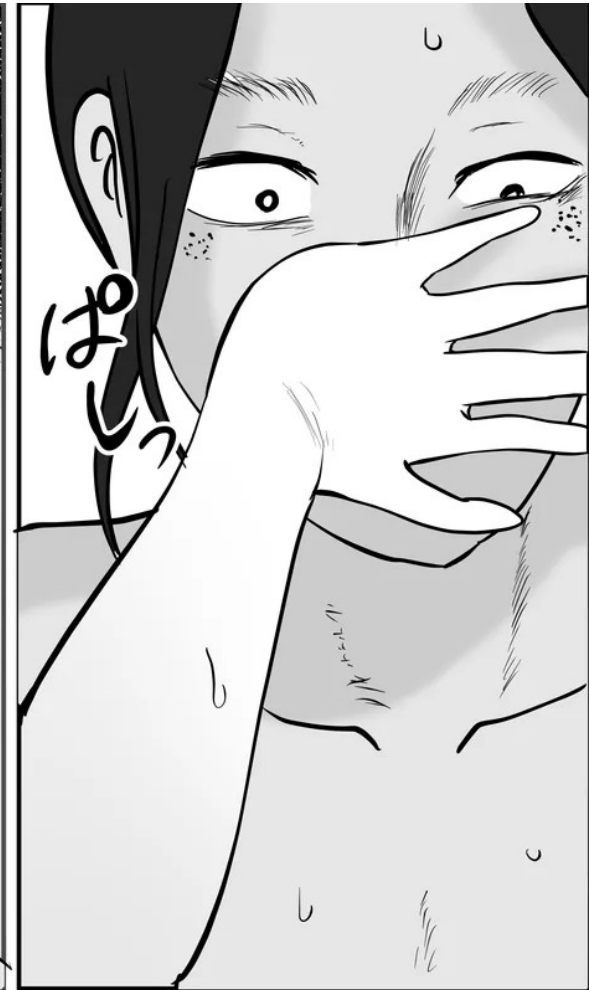


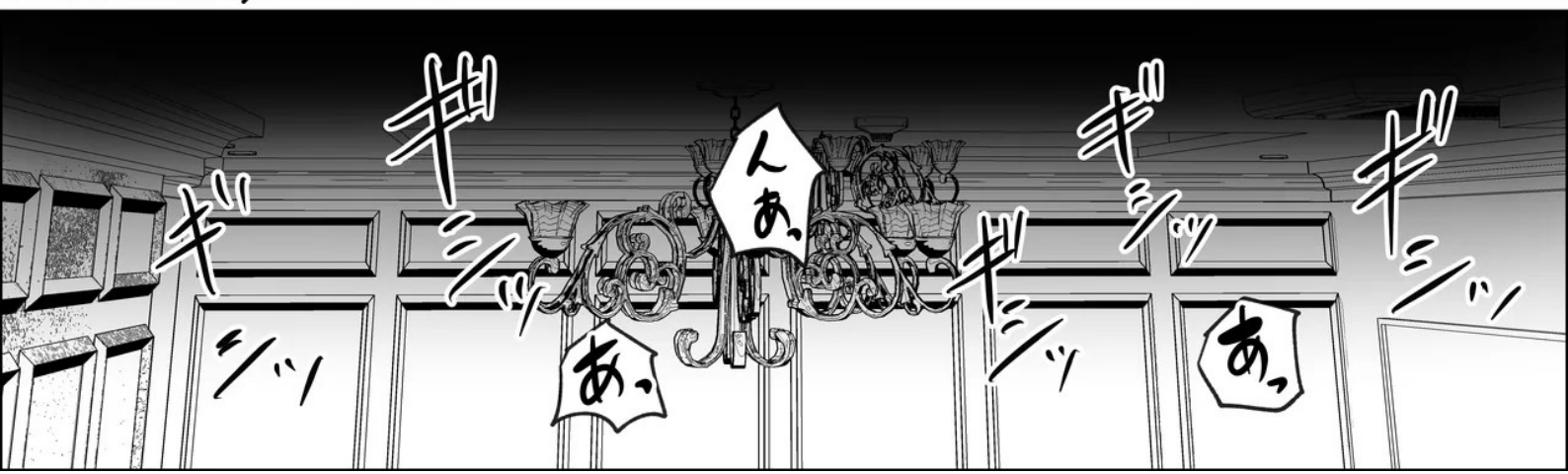
また適当に言いくるめられて

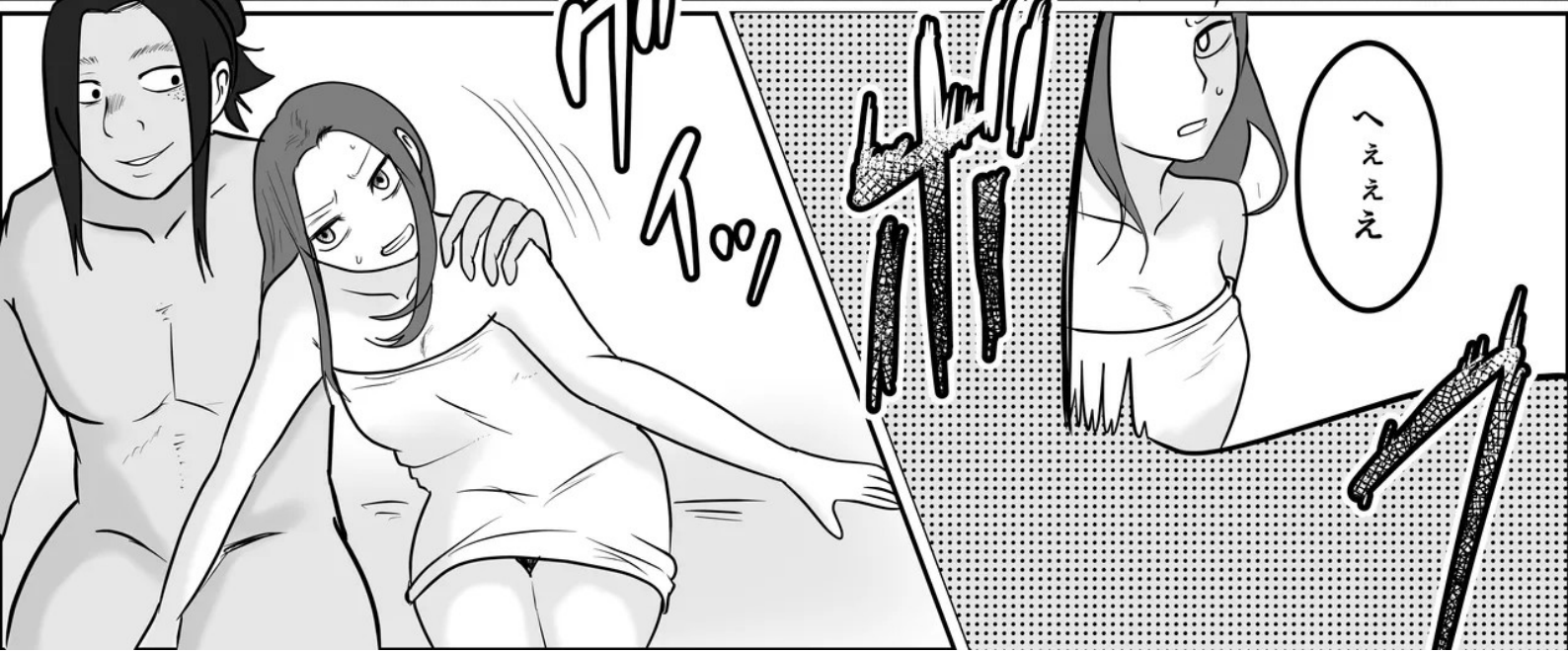
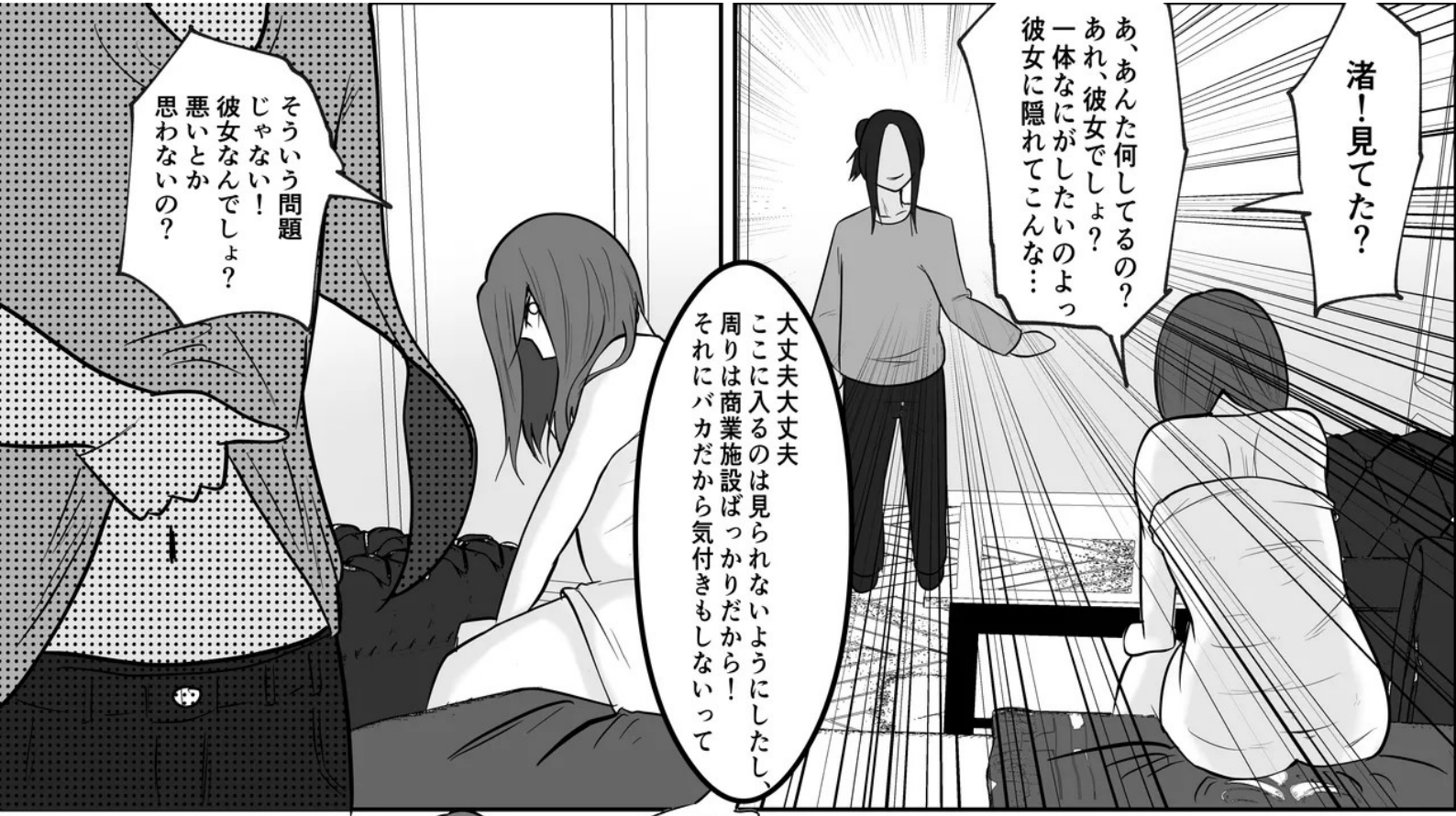


いつもの流れ...

また適当に言いくるめられて









これはちがつ

!?

こんな
ぐしょぐしょにしようか？

チヤア



...こんな

!!



!!

ゴゴゴ

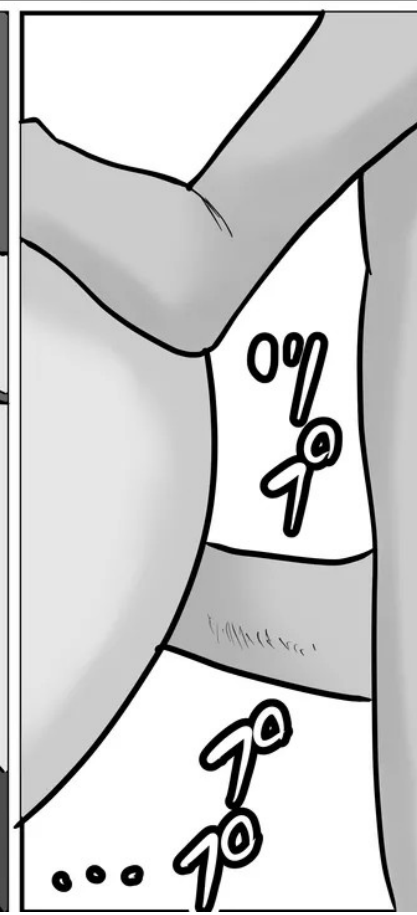
あんた…人の思いを
こんなな踏みにして…
いつか絶対痛い目に遭うわよ…

ふふふ
いやあだつてさあ

アイツ、
なかなかやらせて
くれないんだもん…
自業自得だと思わない？

渚からレクチャー
してあげてよw
俺とのセックスは
こうやるんだって！

うげっ

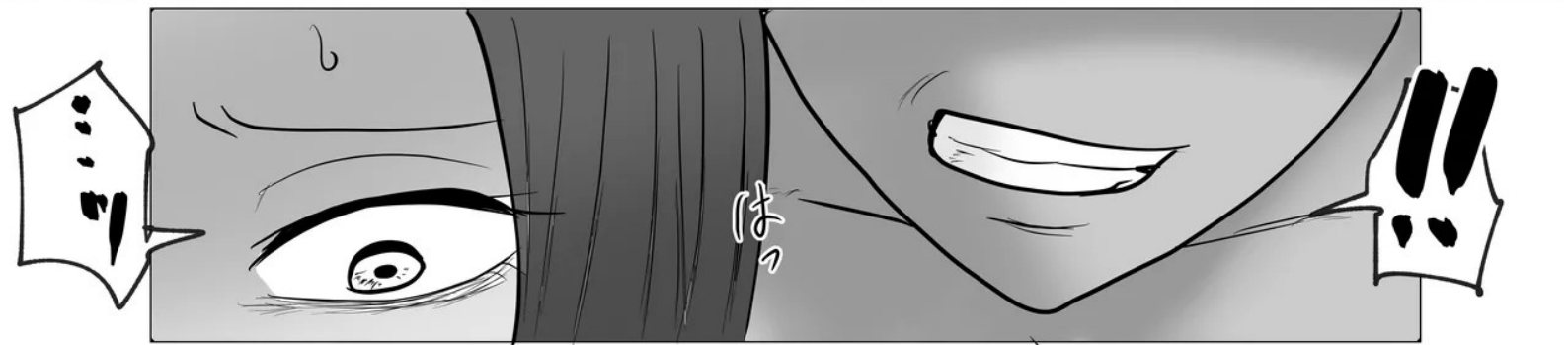




あつ、渚さんちよつと
腰の反りが足りないかな

あつ

ぐっぐめんっ



はっ

はっ

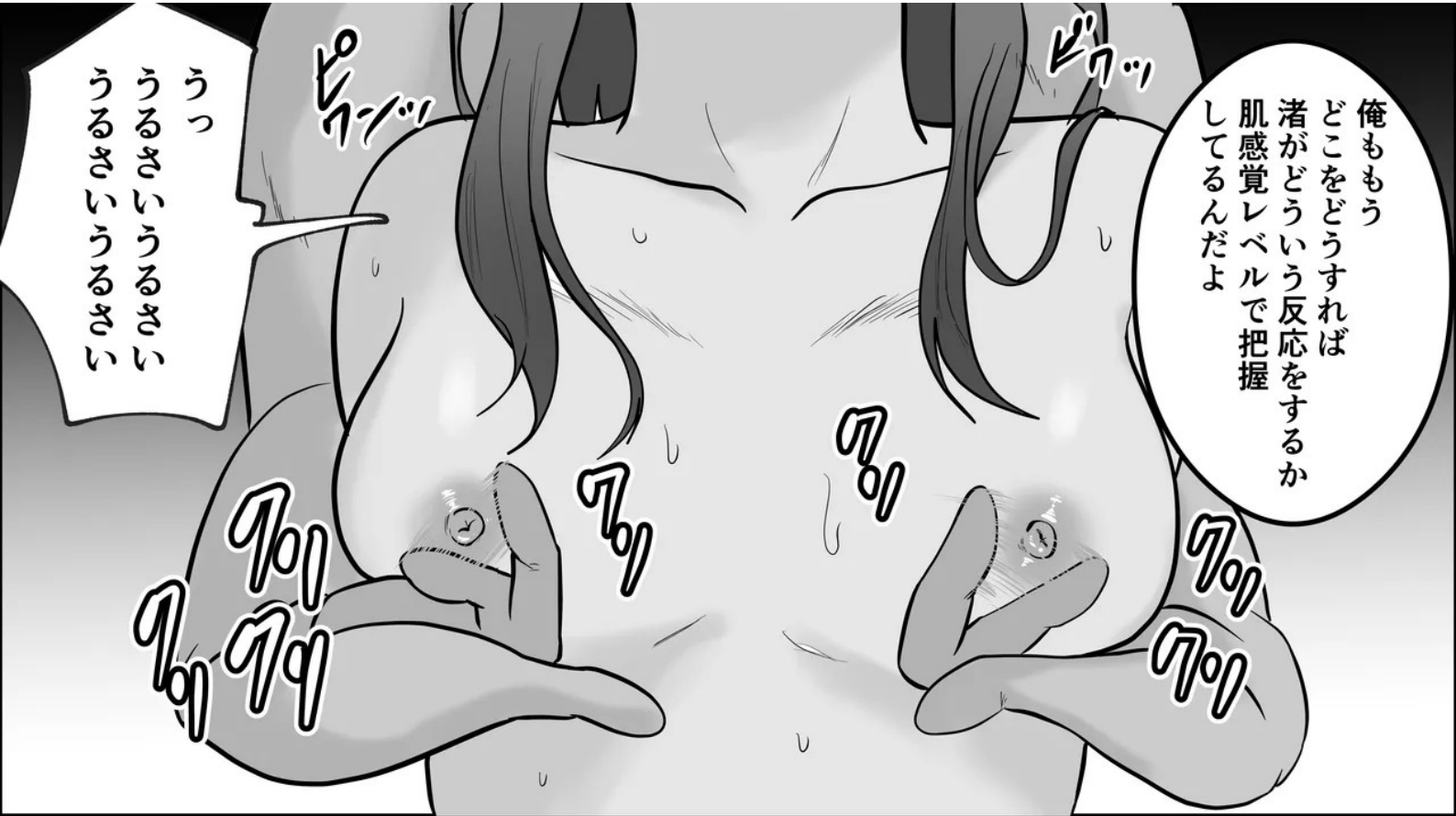


……もうさ
素直になりなよ

はあ

はあ

この通り、
条件反射するレベルで
身体はもう俺との
関係に染まっちゃって
るんだしさあ



俺ももう
どこをどうすれば
渚がどういふ反応をするか
肌感覚レベルで把握
してるんだよ

うっ
うるさいうるさい
うるさいうるさい

ちよ…
調子に乗…

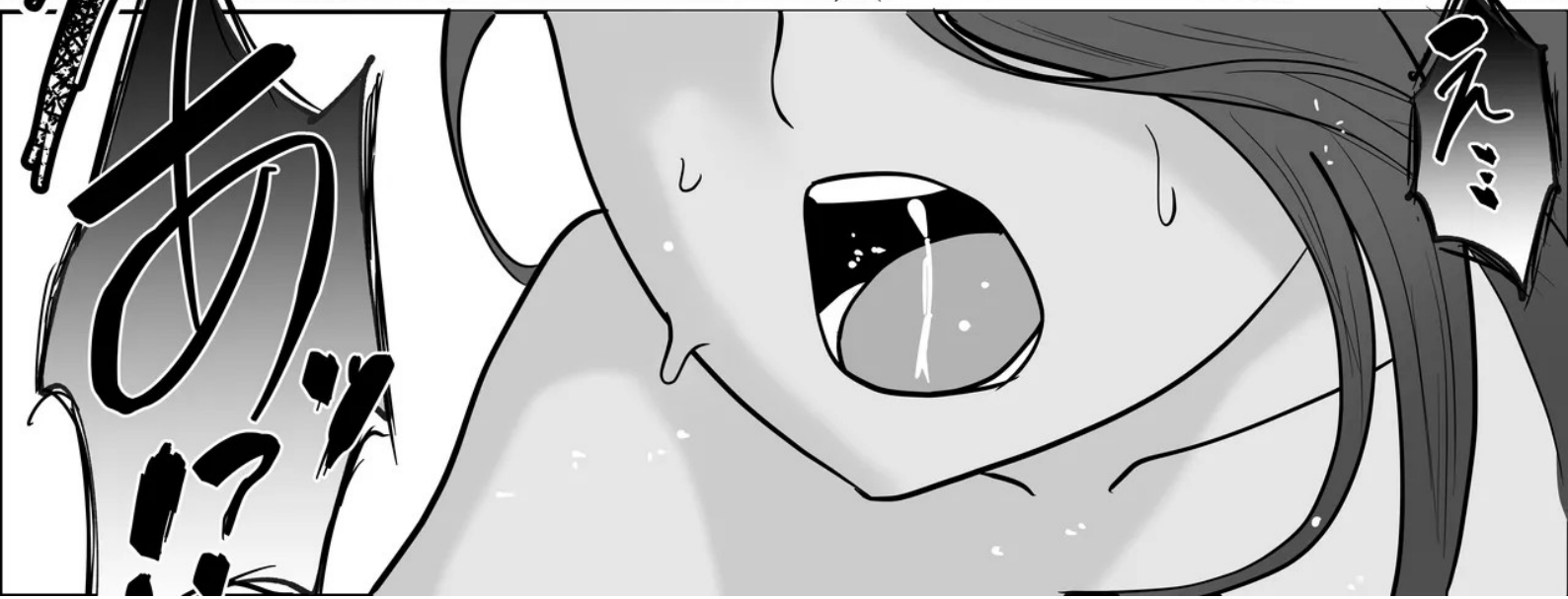
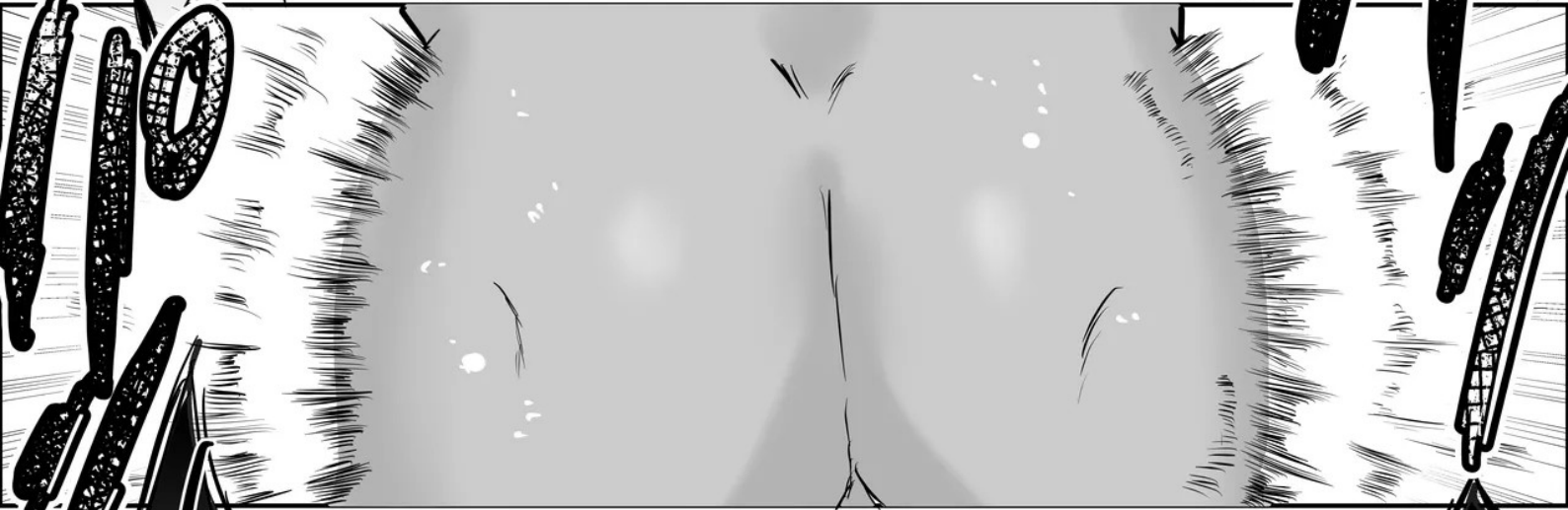
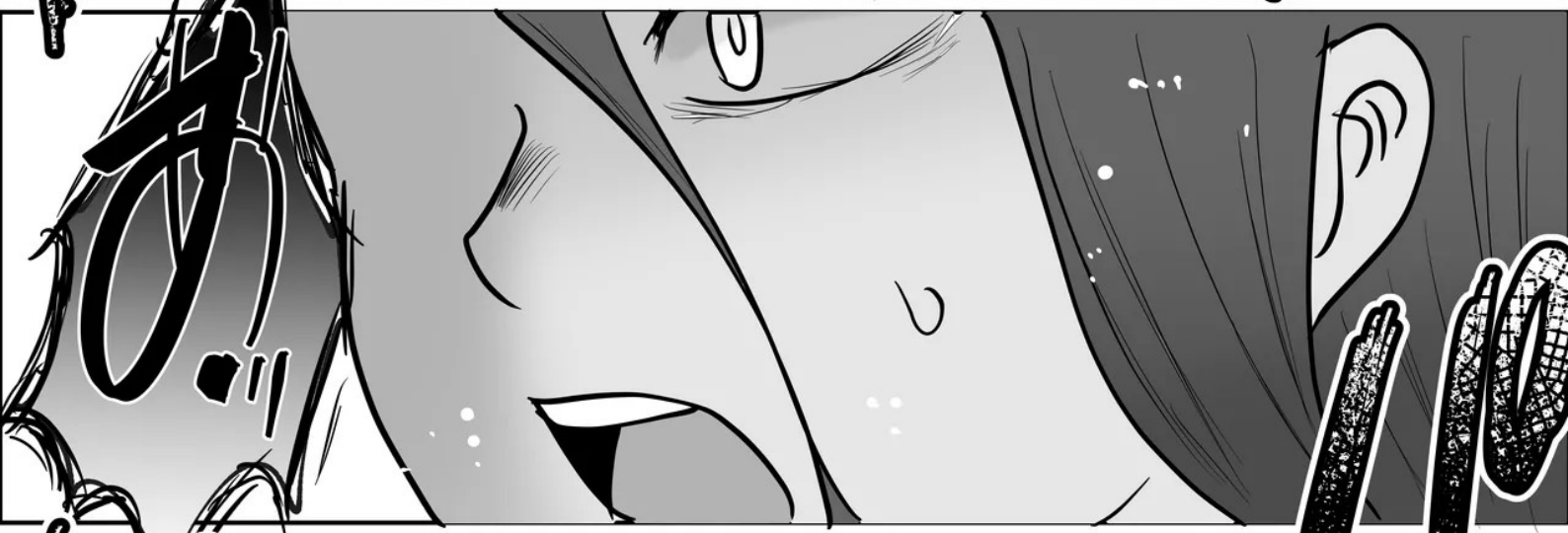
例えば…
声、出さない
ようにしても
口から洩らし
ちやう突き方…
してあげるよ

試して
みようか？

いい機会だから教えてあげるわ
女の人ね…男の人が気持ちよく
なるように、感じてる演技をする
時だってあるのよ…

私だって例外じゃないわ
いくらあんたが私の身体を
知り尽くそうと…
こんな愛のないセックスで
本当に気持ちよくなることなんて
絶っっ対にあり得ないわ

ふううん





えっ…?
えっ…えっ
えっえっ?

えっ…



声…ださないうように
してるのに…
突かれる度…回が開いて
喉奥から声が漏れるッ

なに…これ?

まるで相槌を打つかのよう

11 突き毎に律義に...

【それ以上は痛い】
【それ以下は気持ちよくない】

力いっぱい、
思い切り突かれているのに...

そんな...痛みと、
快感のバランス—

「このタイミングで
つかれたらまずい」

ズルルル

「逆に…
それ以外なら
全然耐えられる」

そんな…

コ

ア

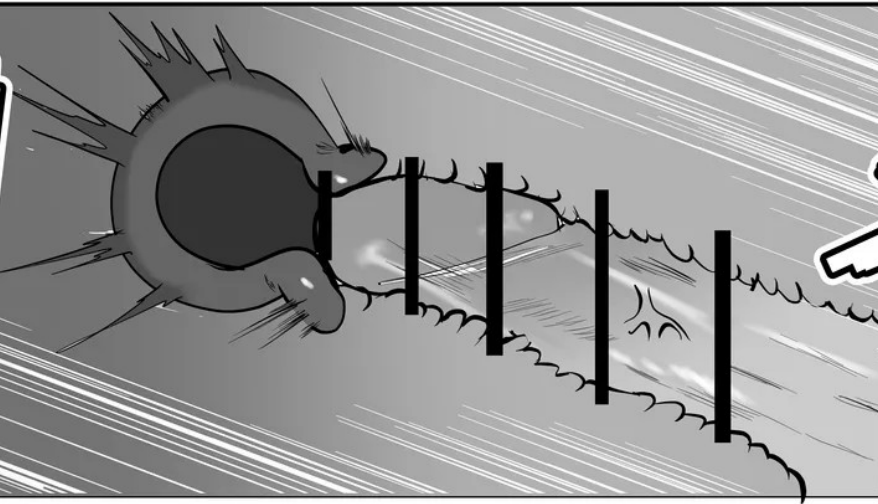
絶妙で…

完璧な
タイミングで

ひく

キッぽん
キッぽん

突かれる!!!





フゥフゥフゥフゥフゥ?

どうして
わかるの?!

普段から
何も悟らせなからいっ
パレなびようたつて...
気持ちよくなつていっ
気持ちいいと思つてる風だ...
いつでも彼を欺けるように...

声の
胸内の動き...
ありとあらゆる反応を
変えたりしてたのに

こんなんも
好きでしょ?

700

こっこれもッ!!
むしろさつきより
刺激がつよ...ッ

!?

あ
!?

だ
ッ

!!
動きが変わつ...!!

100

キ
キ
キ

キ
キ
キ

愛のないセックス
では感じない…か
名言だねえ…
俺もそう思うよw
ねえ？渚さんw

まったく…
いつまで子供扱い
してんだよ

…もう俺は
渚が思ってるほど
子供じゃないんだよ

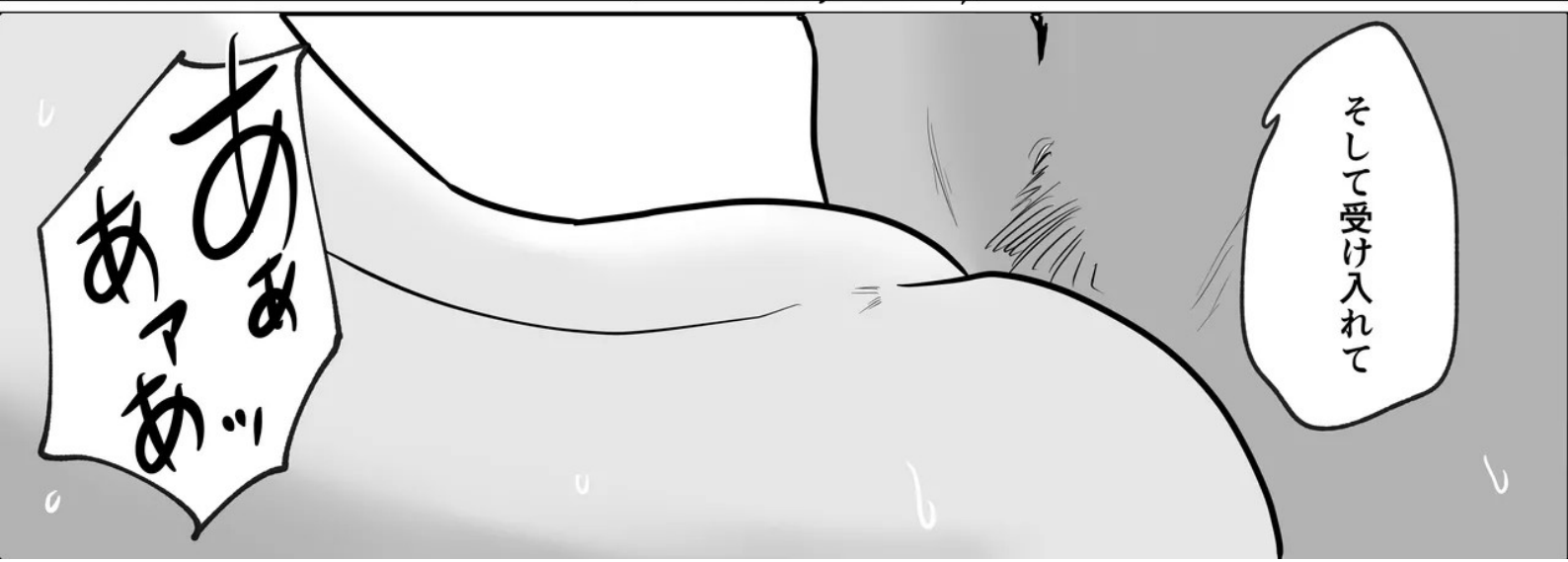
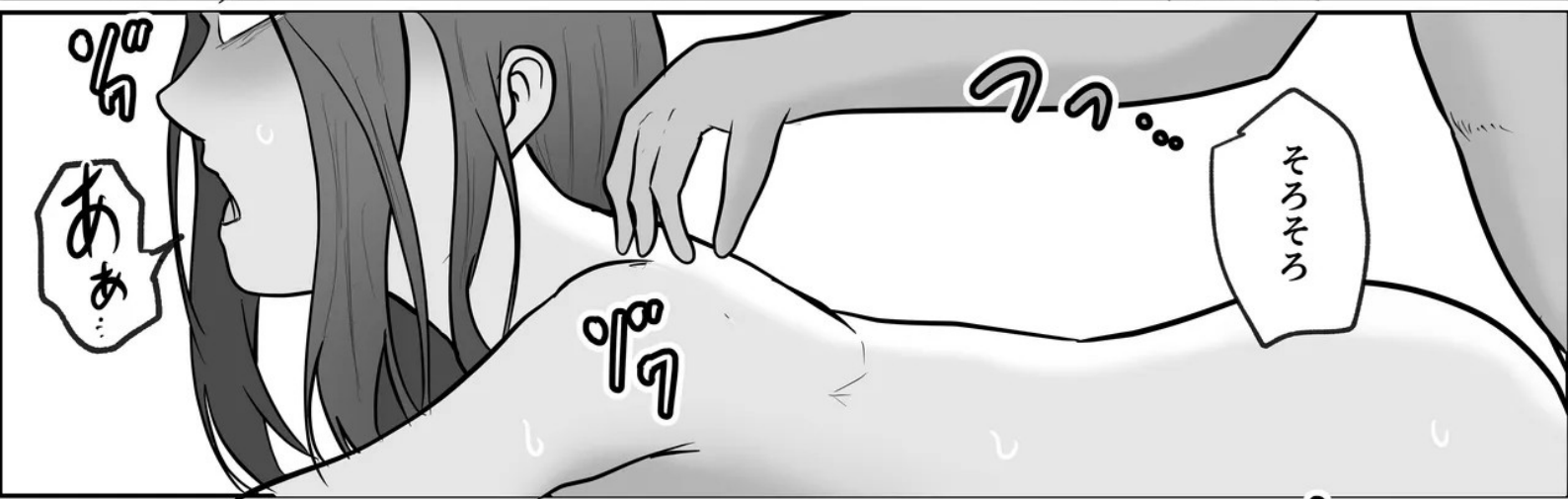
知識も

技術も

経験も

もう立派な

大人だろ？



これから先

彼女できょうが

結婚しようが

ずーっと

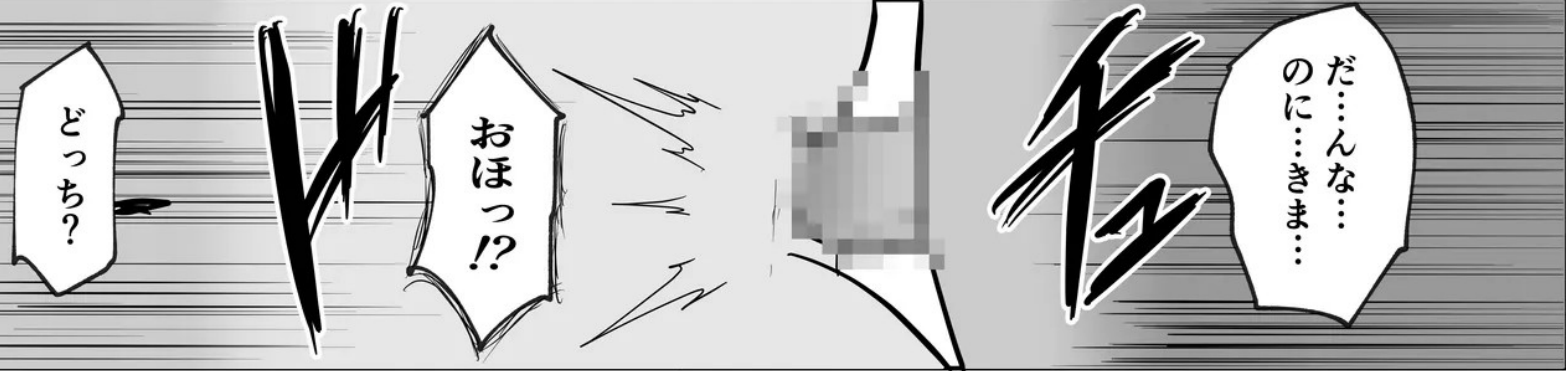
抱いてあげるから





ねえねえ
齋藤先生のちんぽと
俺のちんぽどっちが
気持ちいいの...?

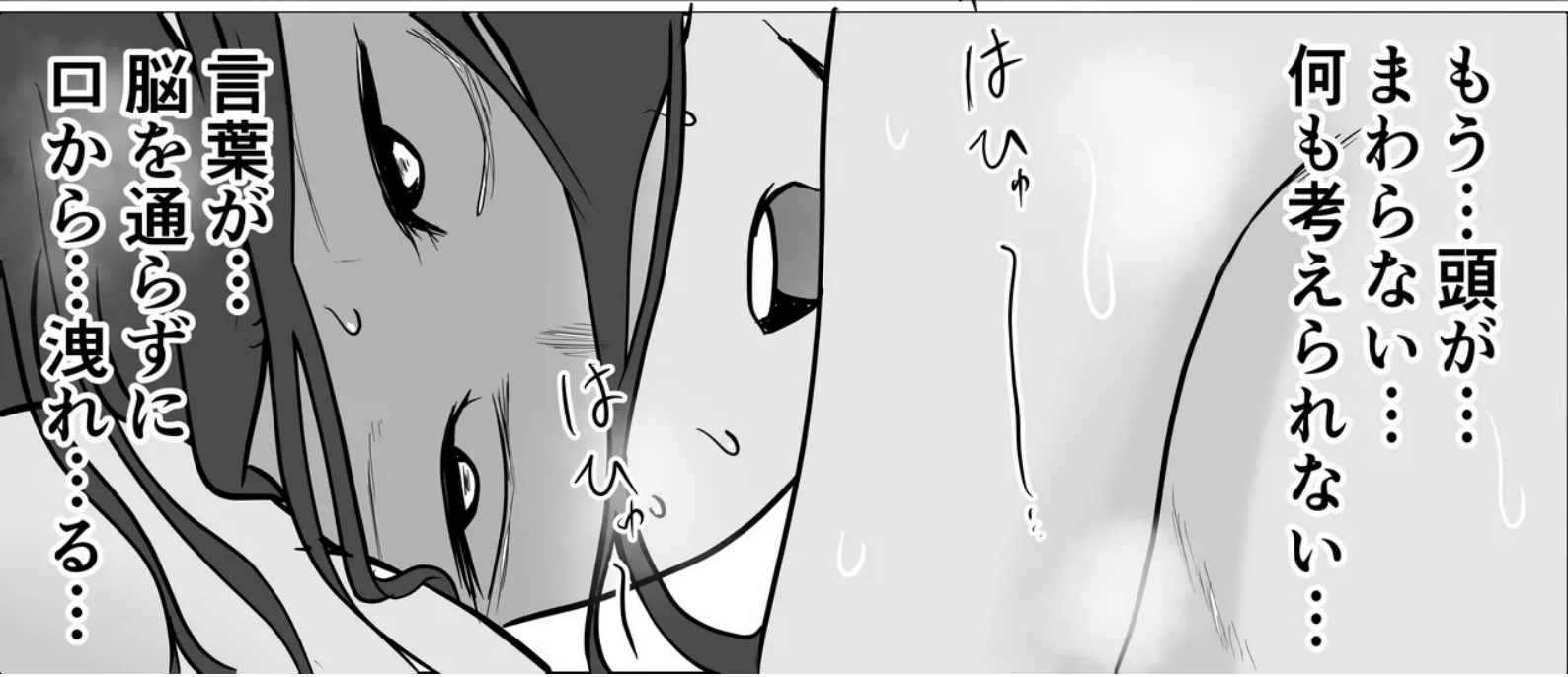
ねえってば!
答えないと突くの
やめちゃうよ?



だ...んな...
のに...さま...

おほっ!?

どっち?



もう...頭が...
まわらない...
何も考えられない...

はひゃ

言葉が...
脳を通らずに
口から...洩れ...る...

頭では…

こんな…

こんな「幸せ」を
想っているのに…

こんなに
港一くんを否定
してるのに…ッ



皮膚からは…
肌からは…
全く違う言葉が…

直接…!!



こ…港一君の…が…

え？え？なに？なに？
もう一回もう一回！

おほっ
おっ!?
ま…って

一回
止まって！

どっちなの!?

言うッッ
言うから待ってッ

もう一回ッ
もう一回言って

はっ
激しくしないでっ



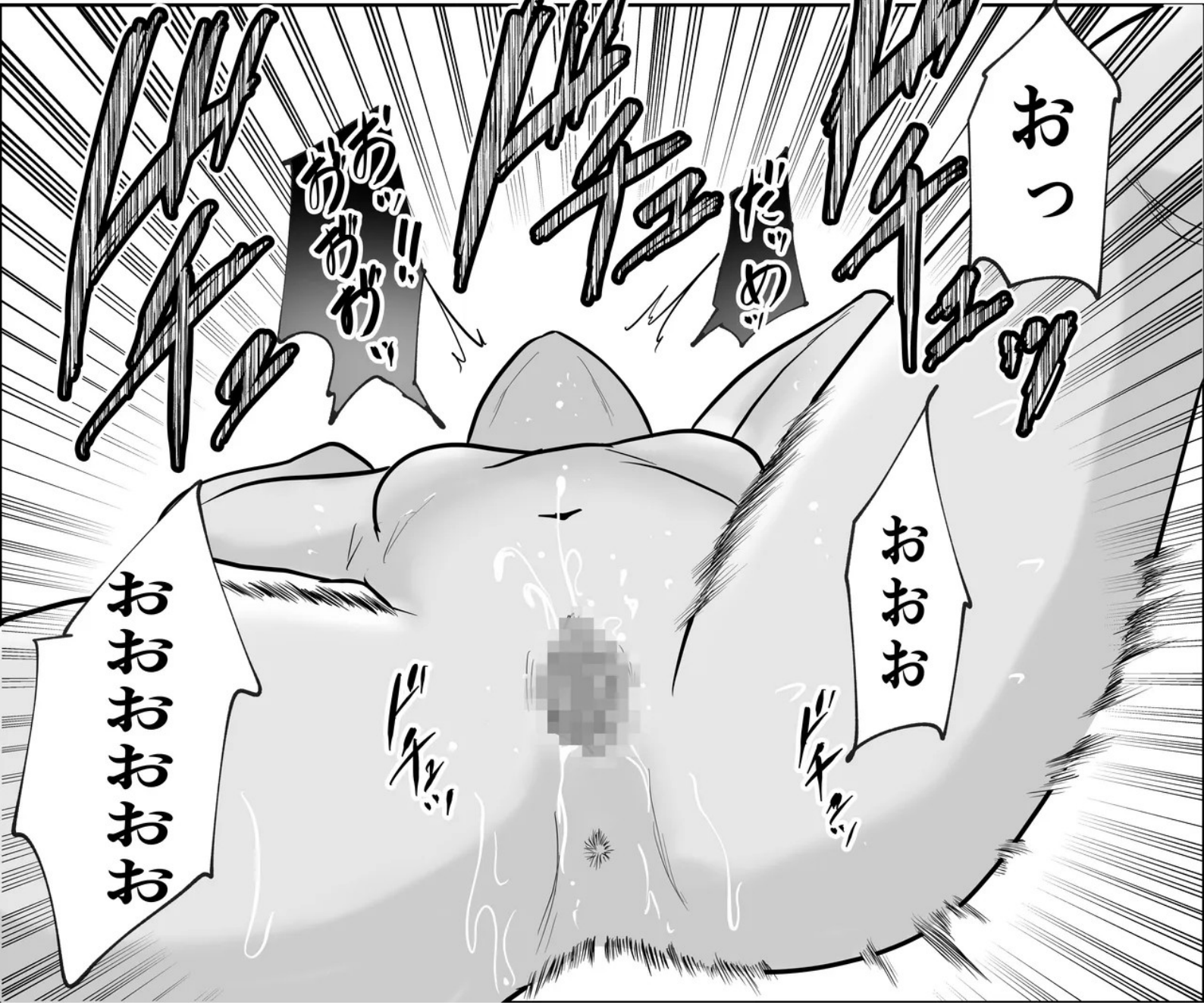


港一くんotts

違う...

港一くんのお
ちんぽの方が
気持ちいい!!

違うこれは...
こいつに早く
イって
もらうため...



おっ

おおお

おおおおお

あわ!!
あわ!!
あわ!!

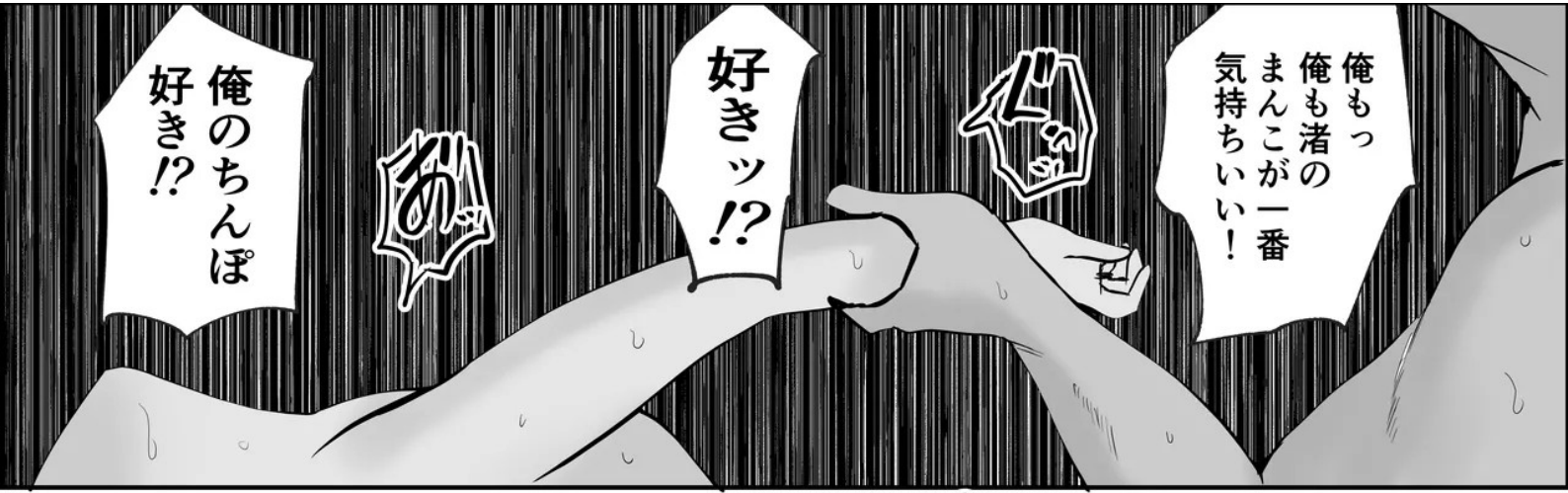
おん

おん

おん

おん

おん



俺のちんぽ好き!?

好きッ!?

俺もっ俺も渚のまんこが一番気持ちいい!

あ

んめ



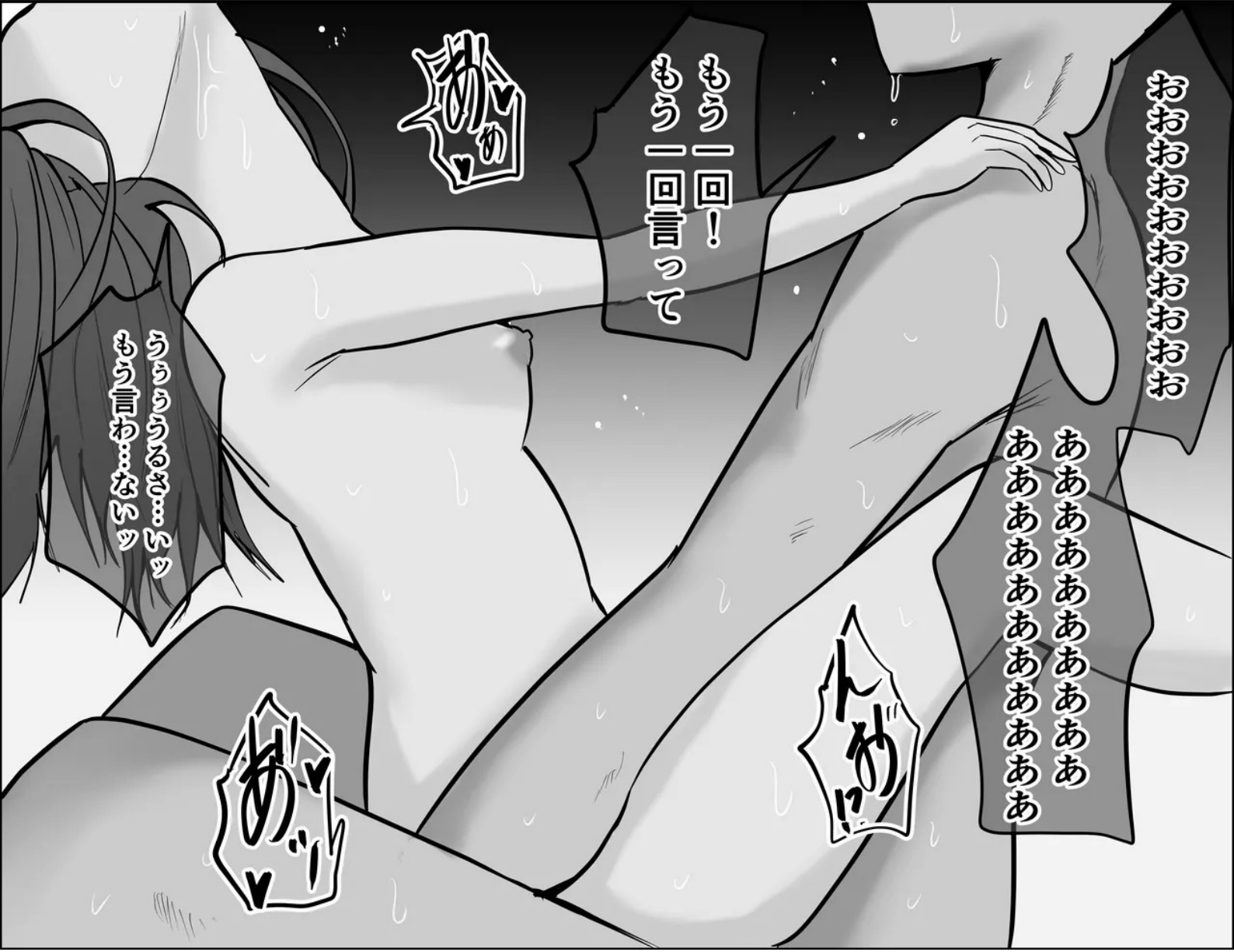
好き

本心じゃない...!!
本心じゃ...ない!!!

んめ
んめ
んめ

違う...

す
好き



もう一回!
もう一回言って

おおおおおおおお

ああああああああ
ああああああああ

んめ

あ

うんうんうん...んめ
もう言わ...ならん

なんだこれええええ
ドキドキが…
止まらなくて

苦しい…
でも心地いい
幸せ！

じゃあ俺は!?

俺は好き?

ねえ俺は?

好き?

なにっ
なんなの

こんな…
本心でもない
安い言葉を
発するだけで

ダムが決壊するかのよう

視界がぼやけて

脳が…っ
溶けていくよう…

頭が…
もう…ぜんぜん
機能しない

!?

航
…
っ
??

わ
い

わ
…
…

わ
…
…

私は今
港一くんと
セックス
して…っ

ちっ
違
う!!

わ…航っ!!
航
ッ
ッ

渚…っ
航
ッ

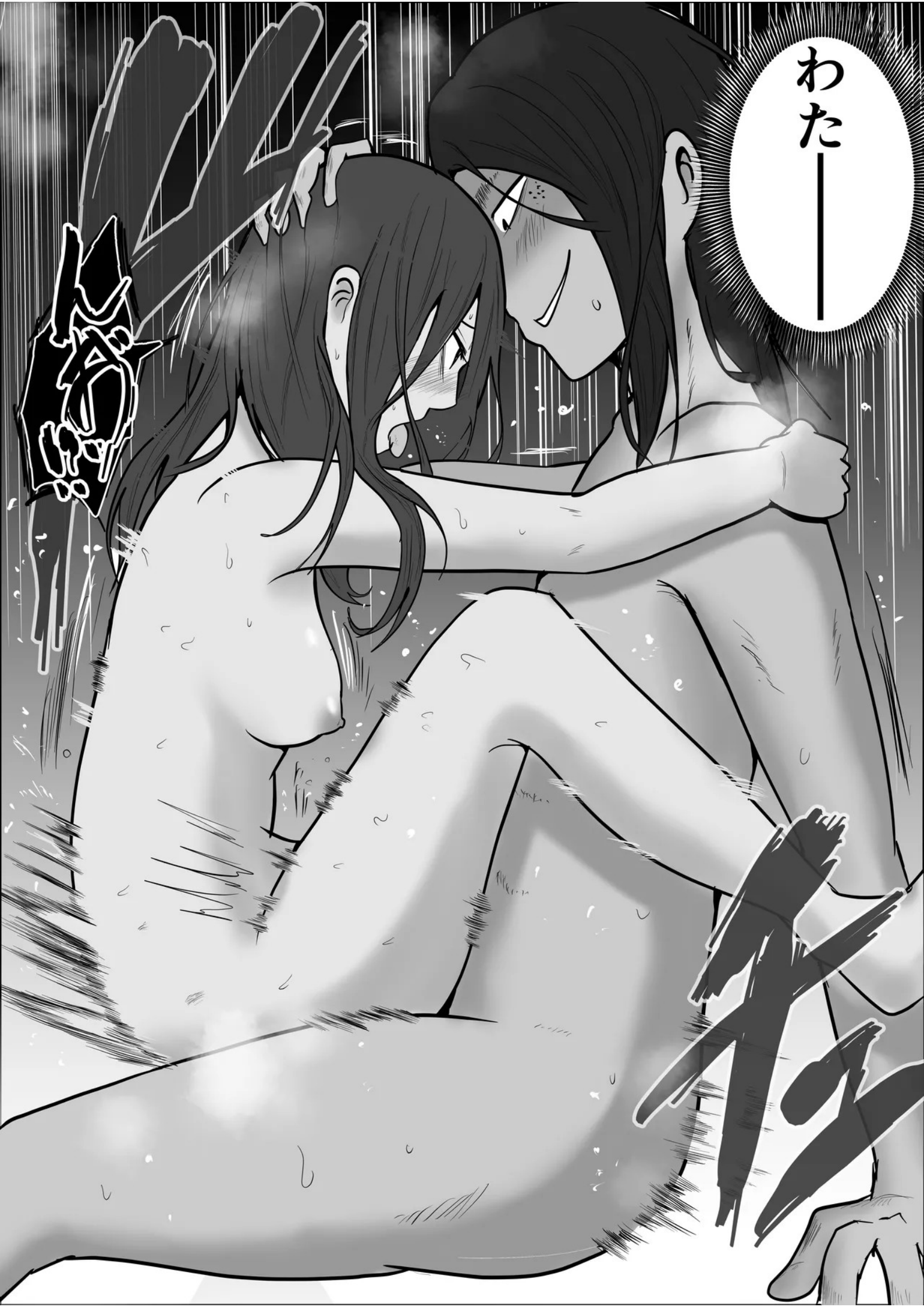
は…
…そう…そうよ…
私は…航の妻…
だから…私が
するのは航とだけ…!!

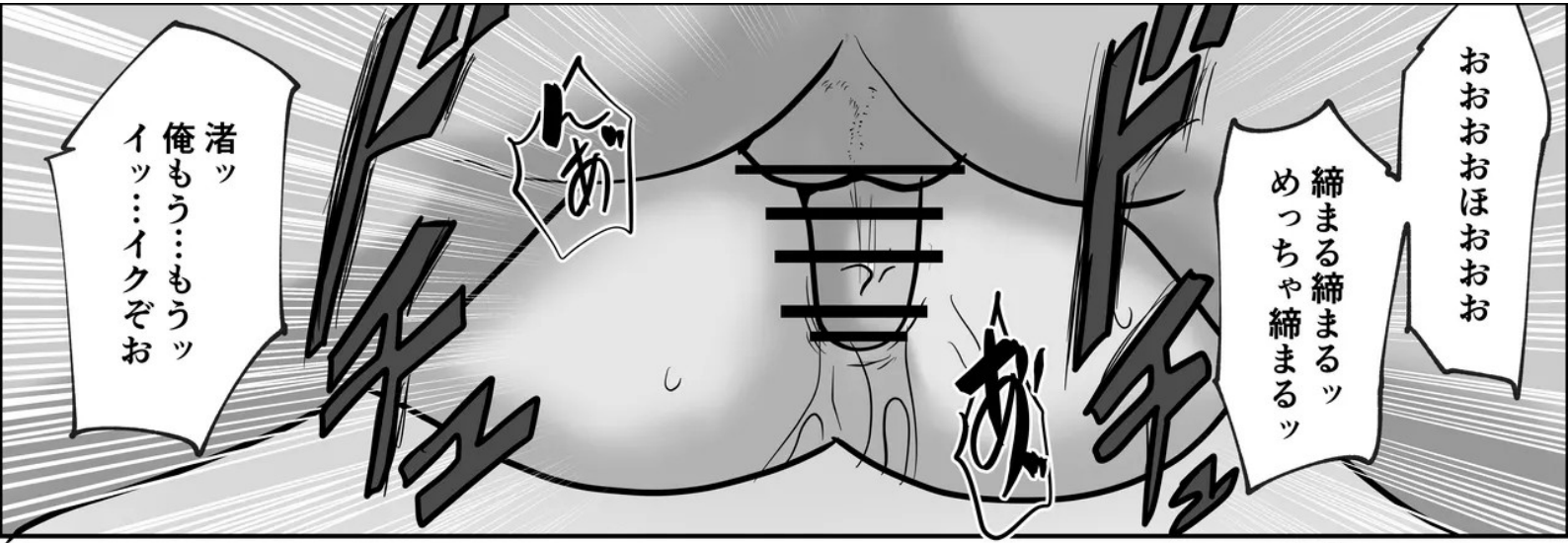
は…

渚…

港二君と…セックス…?
いや…違う…
なんで私が港一くんと
セックスするのよっ

わたし





おおおおほおお

締まる締まるッ
めっちゃ締まるッ

あ

あ

渚ッ
俺もう…もうッ
イッ…イクぞお



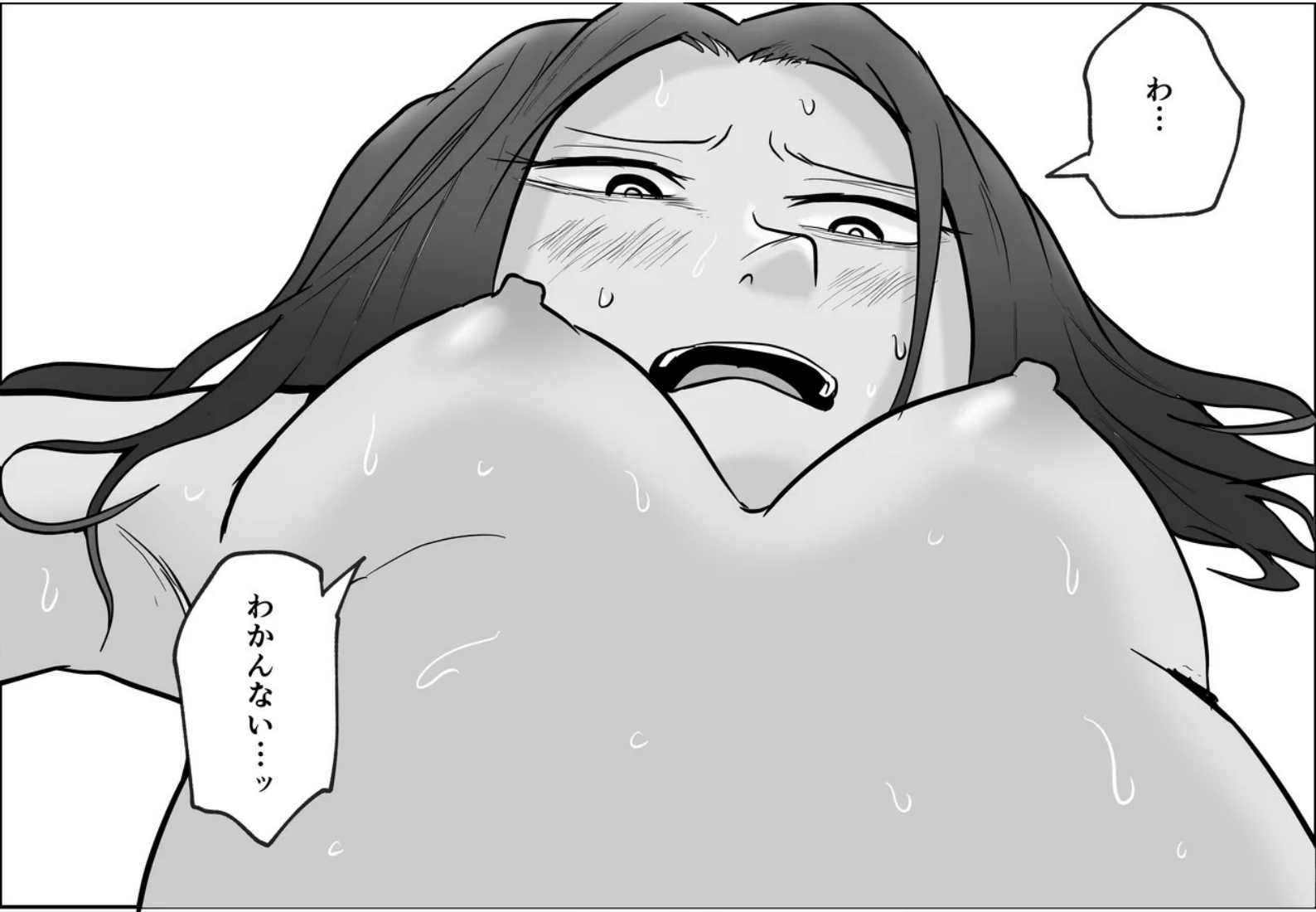
渚…ッ

俺のこと…
好き?



はっ

はっ



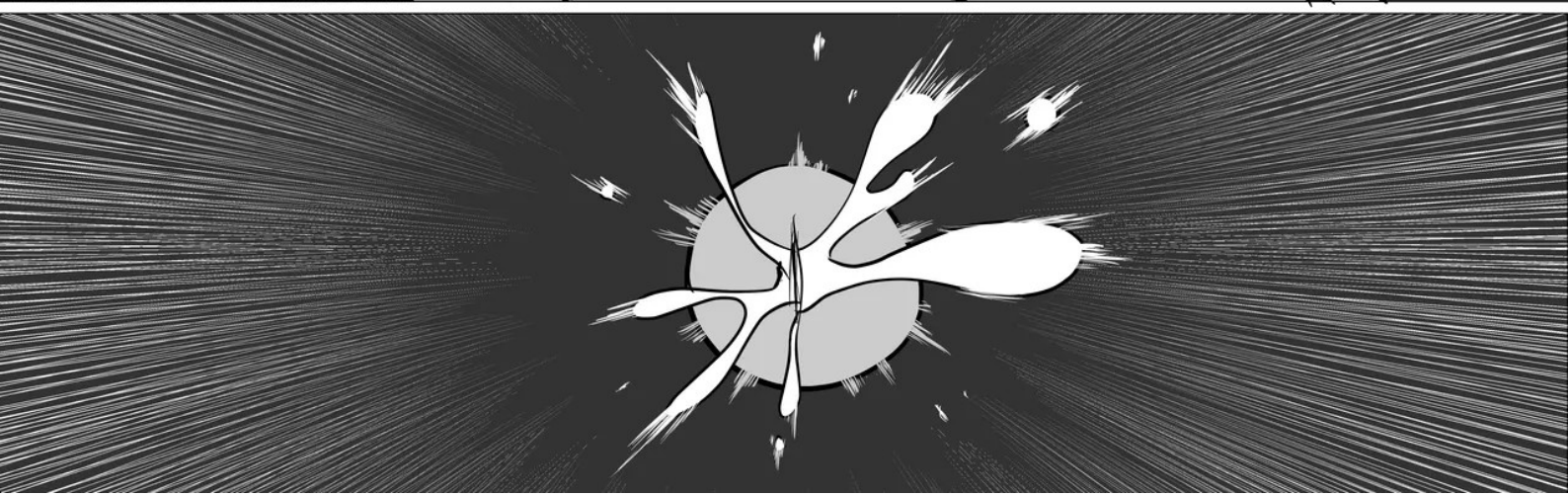
わかんない...ッ

わ...



おおおおおおお

おお...
おお...





結局ラブホテルでの行為は
その後数回続いた。

帰りの電車でも
痴漢プレイと称した
行為は続き、

はぁー！

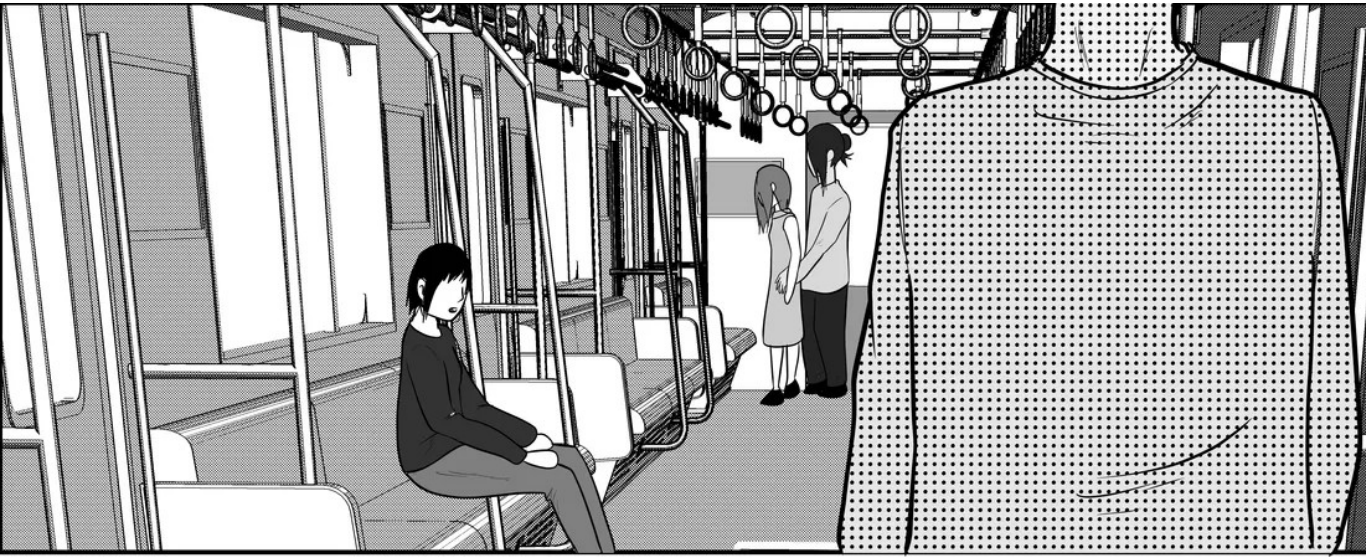
はぁー！

最寄り駅までの約40分間の内

実に30分もの間…
服の上から
ひたすら乳首を
弄ばれ
焦らされ続けた
私は…

スリ
スリ
スリ
スリ





乗客が少なくなってきた
最寄駅到着までの

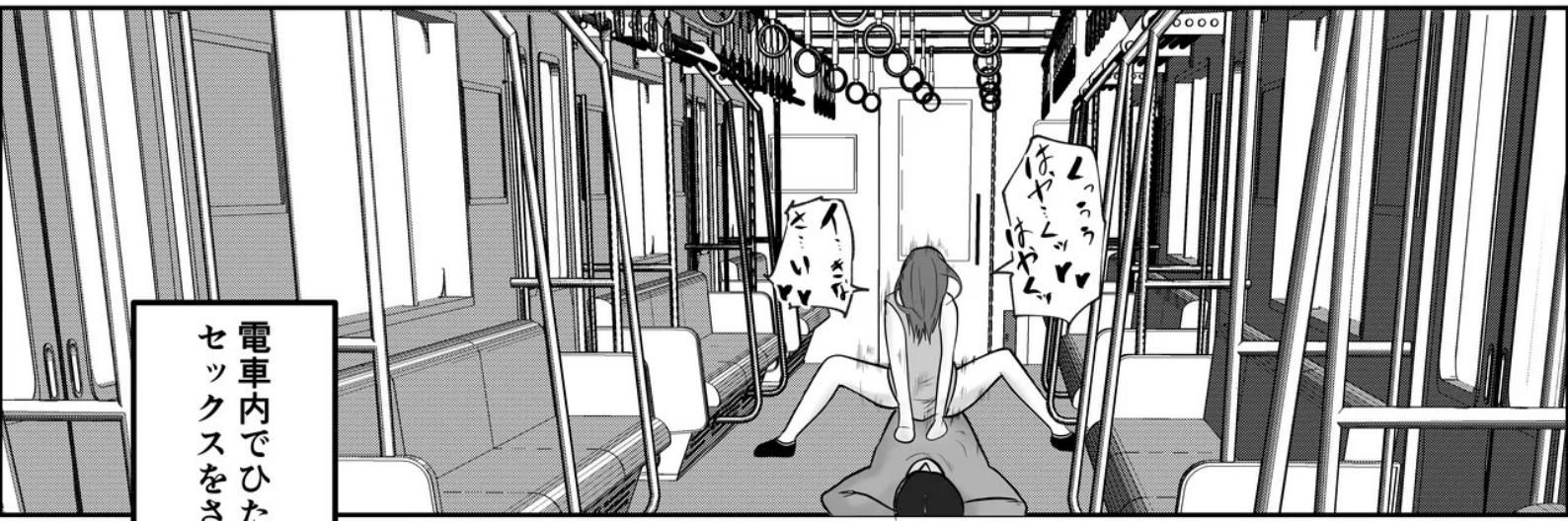


残りの10分間…

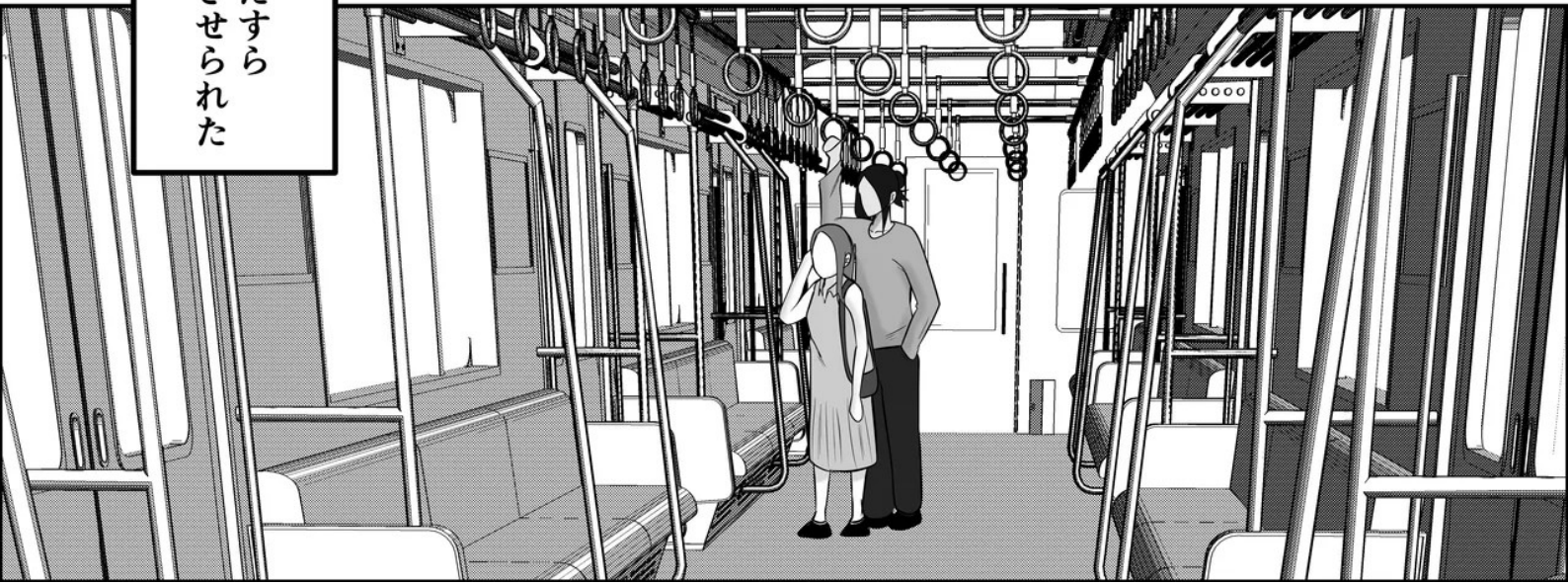




焦らされ続け
火照りきった
私の身体を
嘲笑うかのように



電車内でひたすら
セックスをさせられた





もう、しばらく
事の発端となった
不貞動画の話は
してない。

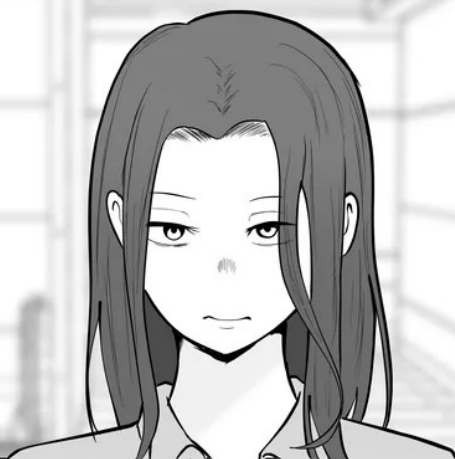


な…中にッ

中に出し

関係を持った当初は
私が嫌悪感を表に出す度に
立場をわからせるように
しつこくあの動画の話を
持ち出していた

でも
たぶんもう
あの子の方から
改めて脅してくる
ことはないと思う



………?
…「ないと思う」?
……あれ?
私…なんでそんな
確信を持つてるの…?

「少なくとも
この身体は…」



少なくともこの身体は

フッフ…

もうとっくに俺のことを
そう認めてるんだよ

もうとっくに
俺のことを
そう認めて
るんだよ」

「わかんない」

そこは否定
するところ
でしょ…

「わかんない」
って…

…なんだよ

白々しい…

「なにが
「えと、

たしか…」よ
白々しい…」

「全て…」

「知ってる
くせに」

でもほんとは優しい子なの
わかるでしょう？ 港さん！

あ、あの時…

あ、いけない！
あたしそろそろパートの
時間だ！ それじゃあまた！

なにが
「えと、たしか…」よ
白々しい…

私が港一君の
母に感じた感情と…

同じ…
感覚…？

彼女が港一君の
母親だということ…
これからパートで
しばらく家を空けること…

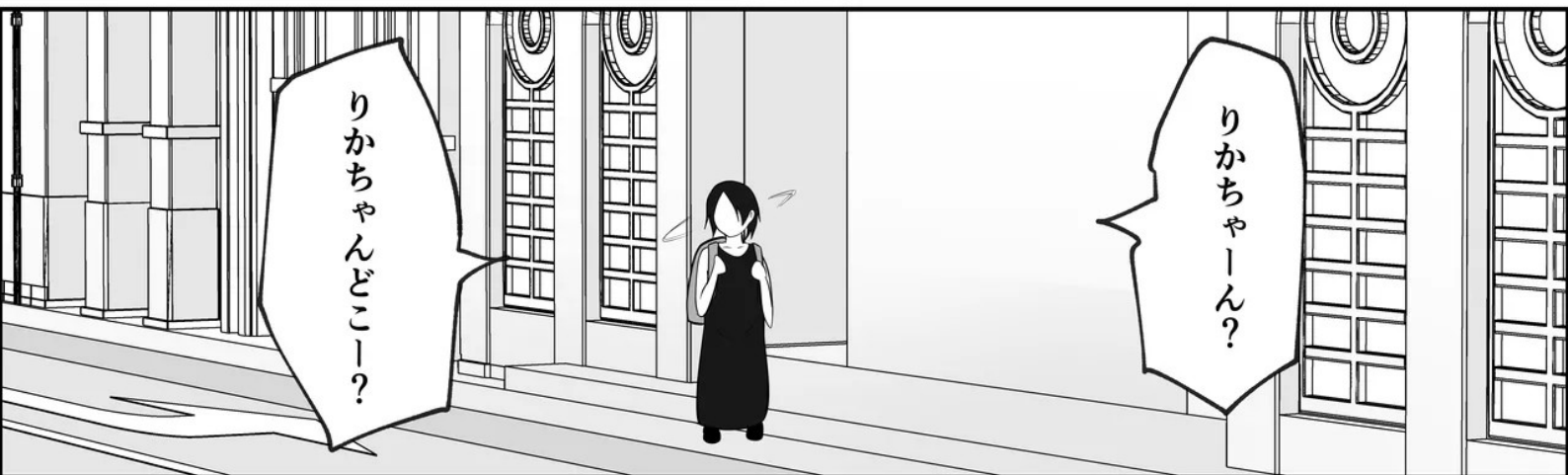
私が…

本音を
恣意的に
隠してる…

…して…？



彼が…大人…



りかちゃんどこー？

りかちゃん？



ねーねー
おばさん
おにいちゃん
それ、なにしてるの？

りかちゃん
どこいっちゃったの？



!!!
ひ、ひははん…
(りかちゃん)

ひははん…
ほへはへ…
(りかちゃん…
これはね)

じゅっぷい

じゅっぷい

じゅっぷい

じゅっぷい





…?

うるせえ



大変だよ渚さん
これが噂にでもなったら…

…あー逃げちゃった



いいから…

にちがぁ

ふっふっふ田んぼ



To Be Continued...

あとがき

この度は「旗当番の女4」をご購入いただき誠にありがとうございました！
いや～このシリーズもようやくここまで来たか…という思いです！

今作は最終回に向けて飛び立つ準備をしている感じだったので
バタバタした展開ではありましたが、比較的楽な気持ちで描くことができました！

さて、いよいよ次回の「旗当番の女5」にて、シリーズも完結となります！

はやくこの物語の**真相**をお披露目したい気持ちでいっぱいなのですが、
最終作は最終作らしく、ド派手な作品(ページ数)にする予定で、
慎重に制作を進めております…なにせネーム段階で150P超えてるので…

ですので気長にお待ちいただけると幸いです！

はたして描き切れるのだろうか…
そして描き切った後に完全燃焼してしまわないか…
今からとても不安です…笑

余談と補足

ここで、本編に関する余談を2つほど！
まず港一の彼女さんをホテルから渚に確認させた件は
最終回に繋がってきます！
今作だけ見て「なんだったんだあれ？」と
疑問に思わせてしまっていたらすみません…

あと、今作で渚は教員に復職しましたが、
「**旗当番**の女」じゃなくなったじゃないか！と
思わせていたらそれもすみません！
大丈夫です！これはちゃんと**旗当番の女**です！
最終回をお楽しみに！！

それではまた次回まで！！



待たされ続ける彼女さん

キャラ設定集 Vol.Last



齋藤 航(42-43-46)

身長：180cm

血液型：O型

容姿端麗なスポーツマン体育教師。

半面、勉学はからっきし。

自身が果たせなかったプロサッカー選手の夢を

海斗に叶えてもらうことを生きがいとしている。

新任教師だった渚を速攻寿退社に追いやったことから
学内での居場所がなくなりかけた時期もあったが
彼が感情に愚直なだけなのは周囲もわかっていたので
すぐに認められた。

渚と正反対に他人の機微に鈍感で性善説を信じているので
渚と港一の関係に全然気が付かないでいる。

齋藤 千波(11-12-14)

身長：140-147cm

血液型：O型

一家の例に漏れず容姿端麗な少女。

しかし性格は誰にも似つかず、冷静で達観している。

無邪気な面もあるが、どこか俯瞰した目を持っていて、

その目は渚も知り得なかった海斗の恋愛事情も見抜いている。

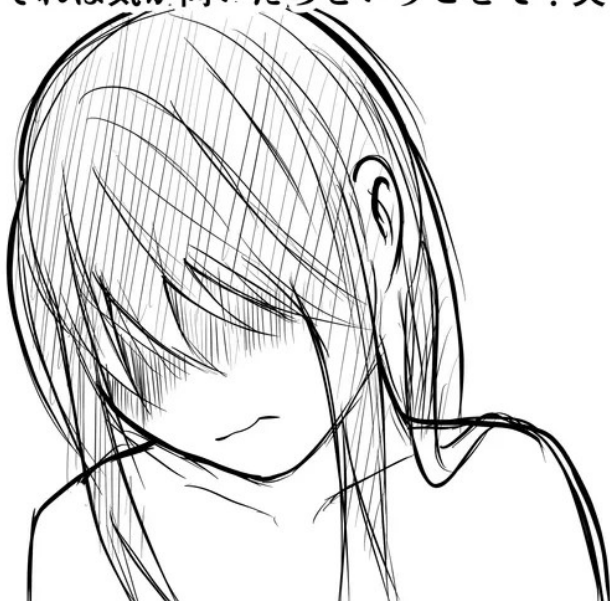
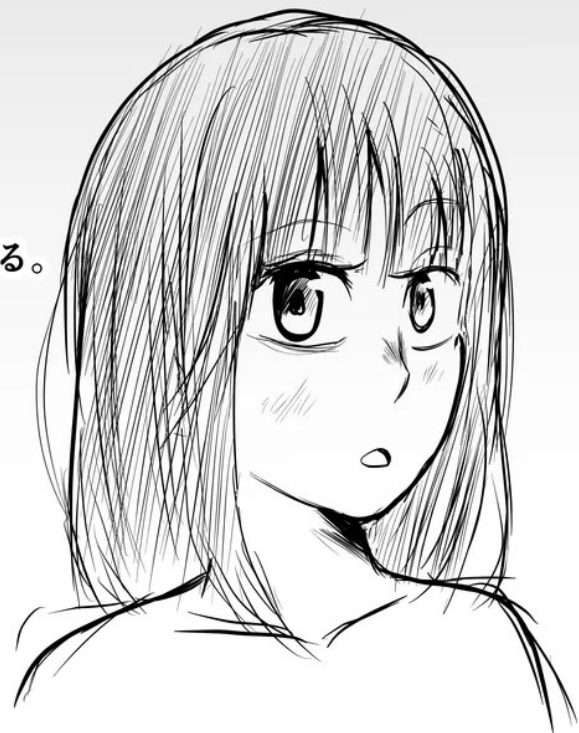
ミステリアスでここまで物語に大きく関わっていない
彼女ではあるが、彼女には大仕事が残っているので
ぜひ期待しててください！

ちなみに本作の構想を練っている段階で

彼女のスピノフまで考えていて、その伏線も

本編の邪魔にならない程度に入れてはいるのですが、

…まあ、それは気が向いたらということ！笑



港一の彼女

港一の同級生で港一に思いを寄せる。

性行為もせず、適当に扱われ、待たされ、
どこか対等な関係性には見えないが、
それは彼女の思いが一方的だからなのか…
彼女、本当に港一の彼女なのだろうか？



次回、旗当番の女

最終回

※こちらは現在制作途中の絵となり
本編とは異なる場合があります。

揺れる者は――

したくもない
こんな行為を
続けてるだけ……

なにが初心よっ
最初から同じよ！

なにが好きよ

なにが愛してる……

自分の中の

一人で盛り上がり
てむなしくないの？

恋人にでもな
ったつもり!?

ち……

何かに
気付く……

千波……

それは港二の

俺はバカで
猪突猛進だから……

掌の上か？

思ったこと
感じたことを
上手く言語化できないし

否か？

はたして彼女の選
択は……

でも……なんでかな……
いま、このタイミングで

「航海」か……

家族の絆を
深めなきゃいけないって
……そう思ったんだよ

「着港」か……？

奥付

著者：左右加だだす

X：@dadasudasusu

別シリーズも同時進行中です！
そちらもぜひご一読のほど！

最終回鋭意作成中！
進捗はXで更新してしますので
ぜひフォローお願い致します！

